

第1節 鍛冶田遺跡の地形環境

青木哲哉（立命館大学非常勤講師）

1. はじめに

人間は、自然環境に影響され、またそれを利用しながら活動してきた。中でも地形は、人間の生活舞台であり、活動の場となってきただけに、地形環境と人間生活との間には密接な関係が存在する。地形環境は、第四紀に変化を経て、現在に至っている。そのため、過去の人間生活を浮き彫りにするには、各時期の地形環境とその変化を明らかにすることが必要と考えられる。

人間生活の解明につながる地形環境は、数万年や数千年オーダーでの考察だけでなく、それより細かいオーダーで捉えなければならない。これには、考古遺跡の発掘調査区における地形・地質調査が有効な方法となる。調査区では、微地形とそれを構成する堆積物が直接観察され、堆積物については詳細な区分が行える。このため、堆積物ごとの細かいオーダーで地形環境を復原し、その変化を辿ることができる。しかも、堆積物には縦年された考古遺物がしばしば含まれる。復原された地形環境の時期はそれを通して明確にすることが可能となる。また調査区では、人間活動の痕跡である遺構が検出されるため、過去の人間生活が知られる。そこでは、地形環境と人間生活の係わりをも分析できるのである。

本稿では、鍛冶田遺跡の調査区における地形環境を明らかにし、それと人間活動との関係について考察したい。調査では、調査区付近における地形の分類と堆積物の把握を試みた。地形分類では、まず20,000分の1と5,000分の1空中写真の判読から調査区周辺の地形を区分し、ついで5,000分の1空中写真の判読と現地踏査によって調査区付近における微地形の分類を行った。堆積物に関しては、調査区での地質断面を詳細に観察した。地質断面の観察は、遺構検出面より上位だけでなく、調査区の北部と南部で掘削したトレーナーの断面によって遺構検出面以深についても行った。こうして得られた地形と堆積物の調査結果に、遺構の分布や時期などの発掘調査成果を加えて、調査区付近の地形環境ならびにそれと人間活動との係わりを考察した。

2. 調査区付近の地形

(1) 調査区周辺の地形面

本遺跡の調査区は瀬戸内海に面する播磨平野の西部に位置する。調査区の西には揖保川の最下流部に合流する林田川、東には小規模な大津茂川が概ね南流し、調査区の周辺には両河川によって形成された沖積低地が広がる。その周囲には、標高150~250mの山地が分布し、丘陵や更新世段丘は認められない。林田川と大津茂川の間にみられる沖積低地は、完新世段丘、現氾濫原、及び支流性扇状地に区分される（第4図）。各地形の特徴は次のとおりである。

〔完新世段丘〕 この段丘は調査区周辺において最も広範囲で認められる。段丘面は、多少の起伏がみられるもののほぼ平坦で、緩やかに南へ傾斜する。そこには、多くの範囲で条里地割が認められる。段丘崖は数十cmの比高をもち、とくに林田川の流域で明瞭である。大津茂川流域の段丘崖は多くの場合、道路の両岸に沿って延びる。調査区はこうした完新世段丘に位置する。

第4図 調査区周辺の地形分類図



〔現氾濫原〕 これは最も低い地形面で、そこでは河川の氾濫によって冠水する危険性が高い。地表は完新世段丘面より起伏に富み、条里地割がほとんどみられない。現氾濫原は、林田川に沿って比較的よく発達しており、小規模な大津茂川沿いでは小さい面積で断続的に分布する。

〔支流性扇状地〕 この地形は、背後の山地から堆積物が供給されてできた扇状地である。背後の山地には谷が刻まれ、この扇状地はそこから山麓にかけて発達する。調査区周辺では、支流性扇状地が北方の山麓に点在し、小規模なものが多い。複合扇状地をなすものもみられ、急な地表傾斜で完新世段丘と傾斜変換線で接している。

(2) 調査区付近の微地形と遺構の分布

調査区は段丘化した埋没扇状地上に位置し、付近には埋没した旧中州と旧河道が分布する(第5図)。調査区の南東部には埋没旧河道が北東から南西へ延び、それ以外の範囲には埋没旧中州が認められる。埋没旧中州は調査区の北西から発達するもので、調査区はその南東部末端に位置する。埋没旧河道は林田川の流路跡と考えられ、50m前後の幅をもつ。この旧河道は、調査区の北西を南北に延びるものが南西に向きを変えて調査区南東部を横切り、その後は南へやや蛇行しながら延びる。

調査区では、このような微地形上で異なる遺構が認められる。埋没旧中州上では、弥生時代中期と古



第5図 調査区付近の微地形分布

墳時代中期から後期の竪穴住居跡がそれぞれ約10棟ならびに26棟前後みられ、平安時代後期から鎌倉時代（12世紀から13世紀）の掘立柱建物跡が約30棟検出されている。他にそこでは、弥生時代中期と古墳時代中期から後期の柱穴が数多く分布し、弥生時代中期の流路跡がほぼ南北に延びる。流路跡は幅1.5～6m、深さ約55cmの小規模なものである。他方、埋没旧河道では縄文時代晩期から弥生時代前期の水田跡と複数の流路跡などが検出されている。

3. 調査区における堆積物の特徴

調査区では、下位から砂礫、細粒堆積物、旧河道堆積物、シルトを中心とする細粒堆積物、及び表土（近年の耕土と盛土）が観察される（第6図～第9図）。表土を除く堆積物は、主に林田川の洪水に伴うものである。砂礫（第6図の堆積物6・8、第7図の堆積物6、第8図の堆積物13）は、暗褐色や灰色を呈し、扇状地堆積物に相当する。これは、径4～20cmの亜角礫・亜円礫を主体とし、調査区の全域にみられる。調査区北部では、砂礫の間にシルト質砂（第4図の堆積物7）がレンズ状にはさまれ、これを境に砂礫が2層に分けられる。この砂礫は、南東部を除く調査区の範囲で旧中州を構成し、上面は北西から南東に向かって緩やかに傾斜する。調査区南東部では、砂礫の上面が2m以上低くなり、そこには扇状地形成期の旧河道が認められる。

その上位に位置する細粒堆積物は8層前後に細分され、それらは灰褐色や褐灰色などを呈する砂（第8図の堆積物11・12）やシルト質砂（第6図の堆積物3）、砂質シルト（第6図の堆積物2・4）、シルト（第6図の堆積物1、第8図の堆積物5～10）である。下部には主に砂やシルト質砂がみられ、中部から上部にはシルトが観察される。これらの堆積物は、南東部（埋没旧河道）を除く調査区の南半部や東部のように、下位の砂礫上面が低い箇所に約1.2mの厚さで分布する。

旧河道堆積物はこうした細粒堆積物を切って認められる。これは埋没旧中州上の小規模な流路跡と調査区南東部の埋没旧河道に分布する。埋没旧中州上の流路跡は灰黄褐色の砂や黄褐色のシルトなどに埋積されている。このシルトには、弥生時代中期の遺物が混入する。他方、調査区南東部では少なくともれる。埋没旧中州上では、弥生時代中期と古

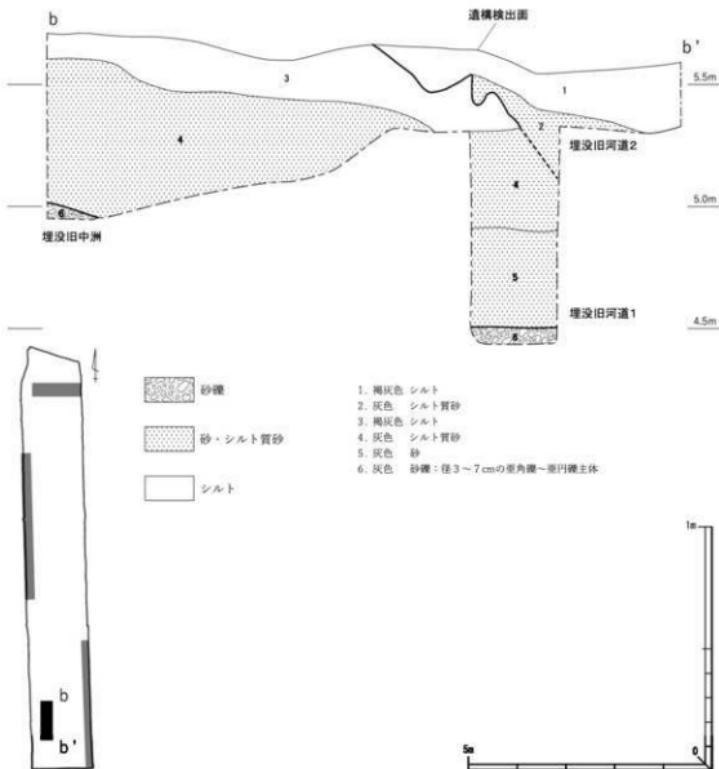
5本の旧河道が確認される。ここでは、これらを古い時期に形成されたものから順に埋没旧河道1～5（旧河道1～5）と呼ぶ。埋没旧河道1は扇状地形成期の流路跡である。これは林田川の本流跡または大規模な支流跡と考えられる。旧河道堆積物のほとんどは侵食されており、褐灰色の砂（第7図の堆積物5）のみが確認される。

他の旧河道4本は、いずれも埋没旧河道1内に認められ、それより幅が狭い。これらのうち最も古い埋没旧河道2は比較的大規模な支流跡と考えられ、30m以上の幅と1.5m以上の深さをもつ。この旧河道は少なくとも14層の堆積物によって埋積されている。これらは灰黄褐色や黄褐色、黒褐色などを呈するシルト（第9図の堆積物6～8・17～19・27～33・35）が主で、オリーブ褐色の砂（第9図の堆積物28）が1層だけみられる。

埋没旧河道2を埋積する堆積物のうち下半部で観察される灰黄褐色と黒褐色のシルト（第9図の堆積物27・30～33）には、縄文時代晩期から弥生時代前期の遺物が含まれる。中でも、最下位に位置する灰黄褐色のシルト（第9図の堆積物33）は水田土壤にあたる。また、この堆積物とほぼ同じ層位には黒褐色のシルトが3層（第9図の堆積物30～32）認められ、これは流路内が部分的に低湿化していたことを



第6図 調査区北部のトレーンチ断面図

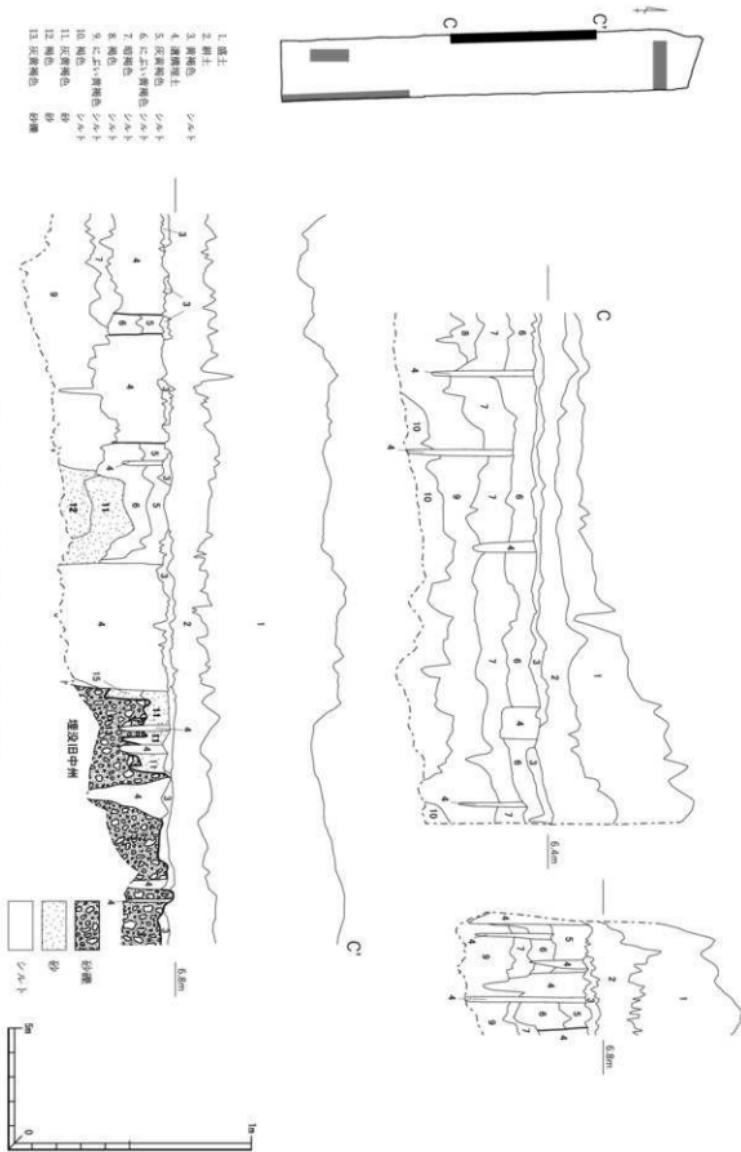


第7図 調査区南部のトレンチ断面図

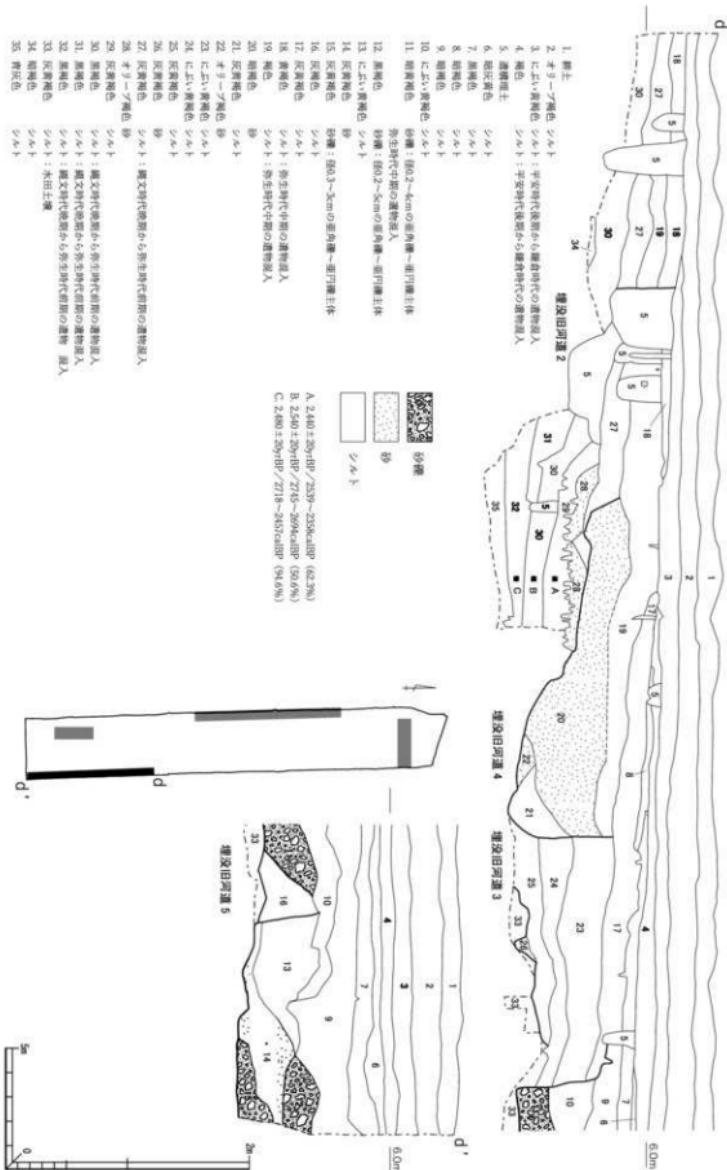
物語る。3層のうち、最下位と最上位の黒褐色シルトはそれぞれ $2,480 \pm 20$ yBPと $2,540 \pm 20$ yBPの放射性炭素年代測定値¹⁾を示し、その上位にみられる灰黄褐色のシルト（第9図の堆積物29）からは $2,440 \pm 20$ yBPの年代値²⁾が得られている。一方、旧河道堆積物の上部にみられる褐色と黄褐色のシルト（第9図の堆積物18・19）には弥生時代中期の遺物が含まれ、下面の層位からは同時期の遺構が検出される。

埋没旧河道3～5は埋没旧河道2内に存在する小規模なものである。埋没旧河道3は埋没旧河道2の下部に位置する灰黄褐色のシルト（第9図の堆積物33）を切る。この旧河道は幅が約5m、深さが25cm以上で、灰黄褐色の砂（第9図の堆積物26）とシルト（第9図の堆積物25）に埋積されている。

埋没旧河道4と5は埋没旧河道2の上部にみられる2層の灰黄褐色シルト（第9図の堆積物17・27）をそれぞれ切る。下位の灰黄褐色シルトを切る埋没旧河道4は、幅8m前後、深さ約90cmで、旧河道堆積物はオリーブ褐色と暗褐色の砂（第9図の堆積物20・22）及び灰黄褐色のシルト（第9図の堆積物



第8図 調査区中央部における造構築面付近の堆積物



第9図 調査区南部における遺構検出面以浅の堆植物

21) である。これより上位に観察される埋没旧河道5は10m以上の幅と約1mの深さをもち、旧河道内にはさらに2本の小規模な流路跡がみられる。これらは砂礫や砂、シルト(第9図の堆積物9~16)に埋積されており、砂礫を構成する礫は径5cm以下と小さい。流路跡2本のうち北の流路跡を埋積する砂礫(第9図の堆積物11)には、弥生時代中期の遺物が多く混入する。

このような旧河道堆積物の上位にみられる細粒堆積物は、約75cmの厚さで観察され、褐色、にぶい黄褐色、及びオリーブ褐色を呈するシルト(第9図の堆積物2~4、6~8)などに分けられる。これらは調査区南東部を中心に分布する。とくに、褐色とにぶい黄褐色のシルト(第9図の堆積物3・4)には平安時代後期から鎌倉時代の遺物が含まれ、下面の層位では同時期の遺構が検出される。

なお、弥生時代中期の遺物を含む褐色と黄褐色のシルト(第9図の堆積物18・19)ならびに平安時代後期から鎌倉時代の遺物が混入する褐色とにぶい黄褐色のシルト(第9図の堆積物3・4)は、調査区南東部以外に広がる埋没旧中州上に認められない。これは各堆積物が人為的に削り取られたことによると考えられる。埋没旧中州上では、扇状地堆積物である砂礫やそれを覆う細粒堆積物が耕土の下位にみられ、それらの上面から弥生時代中期、古墳時代中期から後期、ならびに平安時代後期から鎌倉時代の遺構が検出される。

4. 地形環境の変遷

調査区付近の地形環境は、これまで述べた事柄からみて次のように変遷したと考えられる。

〔ステージ1〕 調査区付近では、縄文時代晚期以前(約2,500年前以前)主に林田川によって砂礫がもたらされ、扇状地が発達した。その際、調査区南東部には林田川の本流または比較的大規模な支流が北東から南西方向へ流れ、南東部以外の範囲には砂礫の堆積によって比高2m以上の中州が形成された。

〔ステージ2〕 扇状地の形成後、調査区南東部の旧河道1が砂を中心とする堆積物に埋積され、さらに旧河道と旧中州が洪水堆積物に覆われた。その際、これらの微地形上にはまず砂が堆積し、次にシルトが数回の洪水に伴ってそれらを覆った。このため、旧中州と旧河道は1m前後の深さに埋没した。

〔ステージ3〕 微地形の埋没後、扇状地形成期の旧河道(埋没旧河道1)に沿って林田川の支流が流れた。その結果、調査区南東部に北東から南西へ延びる比較的大規模な流路が形成された。

〔ステージ4〕 縄文時代晚期以前、流路の下部にシルトが数回にわたって堆積し、縄文時代晚期から弥生時代前期にはこの流路跡(旧河道2)でシルトを土壤とする水田稲作が営まれた。水田上にはその後弥生時代前期までシルトが堆積するとともに、低湿な流路内では黒褐色のシルト(土壌)が生成された。このようにして旧河道2の下半部がほぼ埋積されるに至った。

〔ステージ5〕 旧河道2では、弥生時代前期から中期にかけて小規模な流路が形成され、その埋積後、流路跡(旧河道3)の上に砂とシルトが堆積した。そのため、旧河道2の埋積がさらに進んだ。

〔ステージ6〕 弥生時代中期になると、旧河道2内に小規模な流路が形成され、続いてそれは主に砂によって埋積された。この流路跡(旧河道4)をシルトが被覆した後、南側にはほぼ同じ規模の流路がつくりられた。このころ埋没旧中州上では、人間が居住し、堅穴住居が約10棟建てるとともに、北から南へ流れる小規模な流路が形成された。これは、調査区周辺の旧河道が概ね埋積され、地表がかなり平坦化したため、小規模な支流が埋没旧中州の末端上にまで及べるようになったことを意味する。

〔ステージ7〕 弥生時代中期以降、調査区南東部に形成された小規模な流路は砂礫や砂、シルトに埋

積され、さらに流路跡（旧河道5）の上にシルトが堆積した。これによって、扇状地形成期の埋没旧河道（埋没旧河道1）内にみられた大規模な旧河道（旧河道2）はほぼ完全に埋積された。こうした中、埋没旧中州上では古墳時代中期から後期に再び人間が居住し、堅穴住居が26棟前後建てられた。

〔ステージ8〕 古墳時代後期から平安時代後期まである時期、旧河道（旧河道2）上を中心シルトが堆積した。そのため埋没旧中州上と旧河道上面との比高は減少したものの、平安時代後期から鎌倉時代には埋没旧中州上に約30棟の掘立柱建物が建てられ、そこは居住域となった。

〔ステージ9〕 鎌倉時代以降、主に埋没旧河道上に洪水が及び、シルトの堆積がみられた。その後、調査区付近に広がる埋没扇状地は、林田川と大津茂川の下刻によって段丘化した。

5. おわりに

本遺跡の調査区は、林田川と大津茂川によって形成された沖積低地の完新世段丘に位置する。これは埋没した扇状地が段丘化したものである。扇状地の発達と埋没は縄文時代晚期以前（約2,500年前以前）のことと、段丘化の時期は鎌倉時代（13世紀）以降と考えられる。調査区では、扇状地の発達期に形成された旧中州と旧河道が埋没した状態で分布する。調査区南東部には林田川の埋没旧河道が北東から南西へ延び、それを除く範囲は北西から続く埋没旧中州の末端上に認められる。

調査区では、扇状地の埋没後、洪水による堆積と地形変化が主に埋没旧河道でみられた。そこでは、比較的大規模な流路が縄文時代晚期以前に形成され、それが洪水堆積物によって埋積される過程で小規模な流路3本の形成と堆積があった。こうした中、比較的大規模な流路跡（旧河道2）が少し埋積された縄文時代晚期から弥生時代前期には、旧河道内で水田がつくられた。これは旧河道内が低く、集水しやすいことに起因する。

他方、埋没旧中州上では弥生時代中期に小規模な流路が形成されたものの、洪水はあまり及ばず、比較的安定した環境が現出していた。加えてそこはわずかに高く、比較的高燥で排水の便がよかった。これが原因で埋没旧中州上は居住域に利用され、弥生時代中期と古墳時代中期から後期には主に堅穴住居、また平安時代後期から鎌倉時代には掘立柱建物が多数建てられた。このような地形環境には、わずかながらも変化がみられた。調査区南東部の旧河道は弥生時代中期から平安時代後期にかけて徐々に埋積と被覆が進み、埋没旧中州上と旧河道（埋没旧河道）上面との比高が減少した。そのため、調査区が位置する埋没旧中州末端上は弥生時代中期に比して高燥でなくなった。こうした地形環境に変化した平安時代後期から鎌倉時代の調査区付近では、床が地表より高い掘立柱建物での人間生活が有効であったと考えられる。

調査区では、以上のような地形環境と人間活動との関係が認められるのである。

注

1) 放射性炭素年代値は（株）加速器分析研究所によるものである。

2) 前掲1)

第2節 鍛冶田遺跡における放射性炭素年代(AMS測定)

帶加速器分析研究所

1. 測定対象試料

鍛冶田遺跡は、兵庫県揖保郡太子町糸井・竹広（北緯34° 48' 50"、東経134° 34' 50"）に所在し、揖保川左岸の沖積平野の微高地上に立地する。調査区東壁断面で採取された14層、15層、17層の土塊に含まれる炭化物片を集め、各層で1試料とした（第2表）。

2. 測定の意義

鍛冶田遺跡では、縄文時代晩期と推定される水田が検出されている。今回の試料の測定により、縄文晩期の土器を含む水田土壤層（推定）の年代を明らかにする。

3. 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸 (AAA: Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常 1 mol/l (1 M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、0.001 Mから 1 Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1 Mに達した時には「AA A」、1 M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO₂) を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。
- (6) グラファイトを内径 1 mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4. 測定方法

加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度 (¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度 (¹⁴C/¹²C) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOX II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5. 算出方法

- (1) δ¹³Cは、試料炭素の¹³C濃度 (¹³C/¹²C) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表した値である（表1）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ¹⁴C年代 (Libby Age: yrBP) は、過去の大気中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0 yrBP) として過る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。¹⁴C年代は δ¹³Cによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。¹⁴C年代と誤差は、下1桁を丸

めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMC が小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。
- (4) 历年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。历年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の历年年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が历年較正年代を表す。历年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、历年較正年代の計算に、IntCal13データベース (Reimer et al. 2013) を用い、OxCalv4.3較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。历年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。历年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

6. 测定結果

测定結果を第2、3表に示す。

試料の ^{14}C 年代は、 2540 ± 20 yrBP (試料1) から 2440 ± 20 yrBP (試料3) の間にまとまる。历年較正年代 (1σ) は、最も古い試料1が $2743 \sim 2542$ cal BPの間に3つの範囲、最も新しい試料3が $2681 \sim 2380$ cal BPの間に5つの範囲で示される。試料の年代値には相互に重なり合う範囲があり、年代差は明確でないが、全体的に層位の上下関係に矛盾しない結果である。最も古い試料1は縄文時代晚期中葉から後葉頃、最も新しい試料3は晚期後葉から弥生時代への移行期頃に相当する (小林編2008、小林2009、2017)。

なお、試料は炭化物の細片であるため、形態的な特徴は把握できないが、 $\delta^{13}\text{C}$ から試料1はC3植物、試料2、3はC4植物の可能性がある (赤澤ほか1993)。

試料の炭素含有率は、42% (試料2) から61% (試料1) のおおむね適正な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

第2表 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料 形態	処理 方法	$\delta^{13}\text{C}\%$ (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC(%)
LAAA-190359	1	渋谷区東壁断面 15層	炭化物	AaA	-24.94 ± 0.16	$2,540 \pm 20$	72.91 ± 0.22
LAAA-190360	2	渋谷区東壁断面 17層	炭化物	AaA	-14.09 ± 0.16	$2,480 \pm 20$	73.47 ± 0.22
LAAA-190361	3	渋谷区東壁断面 14層	炭化物	AaA	-10.11 ± 0.17	$2,440 \pm 20$	73.79 ± 0.23

[LAA登録番号: #9672]

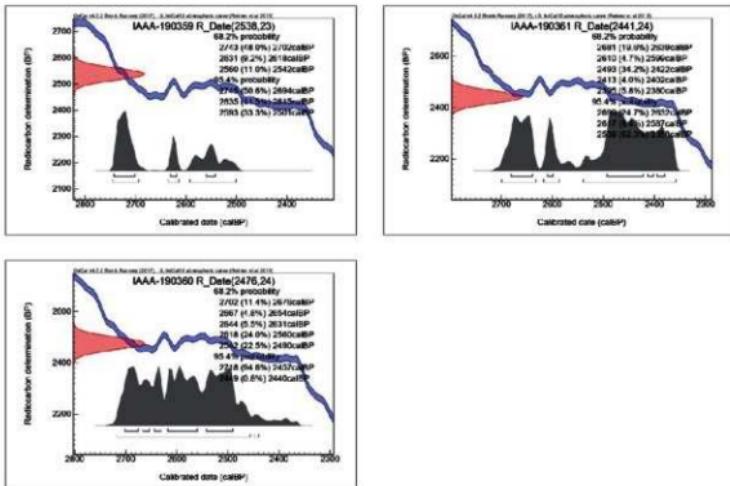
第3表 放射性炭素年代測定結果（ $\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、曆年較正用 ^{14}C 年代、較正年代）

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		曆年較正用(yrBP)	1 δ 曆年年代範囲	2 δ 曆年年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
LAAA-190359	2,540 \pm 20	72.92 \pm 0.22	2,538 \pm 23	2743calBP-2702calBP(48.0%) 2631calBP-2618calBP(9.2%) 2560calBP-2542calBP(11.0%)	2745calBP-2694calBP(50.6%) 2635calBP-2615calBP(11.5%) 2593calBP-2501calBP(33.3%)
LAAA-190360	2,300 \pm 20	75.12 \pm 0.23	2,476 \pm 24	2702calBP-2676calBP(11.4%) 2667calBP-2654calBP(4.8%) 2644calBP-2631calBP(5.5%) 2618calBP-2560calBP(24.0%) 2542calBP-2490calBP(22.5%)	2718calBP-2457calBP(94.6%) 2449calBP-2440calBP(0.8%)
LAAA-190361	2,200 \pm 20	76.07 \pm 0.23	2,441 \pm 24	2681calBP-2639calBP(19.6%) 2610calBP-2599calBP(4.7%) 2493calBP-2422calBP(34.2%) 2413calBP-2402calBP(4.0%) 2395calBP-2380calBP(5.8%)	2699calBP-2632calBP(24.7%) 2617calBP-2587calBP(8.4%) 2539calBP-2536calBP(62.3%)

〔参考値〕

文献

- 赤澤威、米田穂、吉田邦夫 1993 北村縄文人骨の同位体食性分析、中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書11 一明科町内一 北村遺跡 本文編 (財長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書14)、長野県教育委員会、(財長野県埋蔵文化財センター、445-468)
- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates. Radiocarbon 51 (1), 337-360
- 小林謙一 2009 近畿地方以東の地域への拡散、西本豊弘編、新弥生時代のはじまり 第4巻 弥生農耕のはじまりとその年代、雄山閣、55-82
- 小林謙一 2017 縄文時代の実年代 一土器型式編年と炭素14年代一、同成社
- 小林達雄編 2008 総覧縄文土器、総覧縄文土器刊行委員会、アム・プロモーション
- Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0 - 50,000 years cal BP. Radiocarbon 55 (4), 1869-1887
- Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data. Radiocarbon 19 (3), 355-363



第10図 銀治田遺跡試料の歴年較正年代グラフ

第3節 鍛冶田遺跡における花粉・植物珪酸体・珪藻分析

株式会社 古環境研究所

1. 分析の概要

鍛冶田遺跡は、兵庫県揖保郡太子町に所在する。遺跡は、揖保川左岸の沖積平野の微高地に立地する。発掘調査によって、縄文時代晩期～弥生時代前期とされる堆積層で微高地末端の斜面部から低地部にかけて、段状に造成された小区画の水田遺構が検出された。そこで、当該層における稲作の可能性ならびに古環境を推定する目的で、花粉分析、植物珪酸体（プラント・オパール）分析、珪藻分析を実施することになった。

2. 分析試料

分析試料は、調査区東壁において12層、13層、14層、15層、17層、18層より採取された6点である。試料の層相は次のとおりである。12層は、2.5Y4/3オリーブ褐色を呈する細砂～中砂で、極粗砂粒を含む洪水砂である。13層は、10YR4/2灰黄褐色を呈する砂混じりシルトである。14層は、13層とほぼ同じだが、やや暗色で一部に微粒の炭化物をレンズ状に挟む。15層は、10YR3/2黒褐色を呈する砂混じりシルトである。17層は、10YR3/2黒褐色を呈する砂質シルトで、 $\phi 1\text{ cm}$ 以下の炭化物を含む。18層は、2.5Y3/1黒褐色を呈する砂混じりシルトで、下部は淡色化し青灰色を呈する。 $\phi 5\text{ mm}$ 以下の細礫、粗砂粒を含む。

3. 花粉分析

（1）はじめに

花粉分析は、第四紀学で多く扱われ、生層序によるゾーン解析で地層を区分し、ゾーン比較によって植生や環境の変化を復原する方法である。そのため、通常は湖沼などの堆積物が対象となり、堆積盆地など比較的広域な植生・環境の復原を行う方法として用いられる。遺跡調査においては、遺構内の堆積物など局地的かつ時間軸の短い堆積物も対象となり、より現地性の高い植生・環境・農耕の復原もデータ比較の中で行える場合もある。さらに遺物包含層など、乾燥的な環境下の堆積物も対象となり、その分解性も環境の指標となる。また、風媒花や虫媒花などの散布能力などの差で、狭い範囲の植生に由来する結果を得ることも可能であり、陸域の堆積物も分析の対象になる。

（2）分析方法

花粉の分離抽出は、中村（1967）の方法をもとに、以下の手順で行った。

- 1) 試料から1cmを採量
- 2) 0.5%リン酸三ナトリウム(12水)溶液を加え15分間湯煎
- 3) 水洗処理の後、0.25mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈殿法で砂粒を除去
- 4) 25%フッ化水素酸溶液を加えて30分放置
- 5) 水洗処理の後、冰酢酸によって脱水し、アセトトリス処理(無水酢酸9:濃硫酸1のエルドマン氏液を加え1分間湯煎)
- 6) 再び冰酢酸を加えて水洗処理
- 7) 沈渣にチール石炭酸フクシン染色液を加えて染色しグリセリンゼリーで封入してプレパラート作成

第4表 錫治田遺跡における花粉分析結果

分類群(学名・和名)	樹木花粉	東層断面					
		12層	13層	14層	15層	17層	18層
Arboreal pollen							
<i>Salix</i>	ヤナギ属			1			
<i>Fagus</i>	ブナ属					1	
<i>Quercus subgen. Lepidobalansus</i>	コナラ属コナラ亜属		1	1	1	1	
<i>Quercus subgen. Cyclobalanopsis</i>	コナラ属アカガシ亜属	2	2			3	
Arboreal-Nonarboreal pollen	樹木・草本花粉						
Moraceae-Urticaceae	クワ科-イラクサ科		2		1		
Nonarboreal pollen	草本花粉						
Gramineae	イネ科		13	3	15	12	
<i>Oryza</i> type	イネ属型					1	
Cyperaceae	カヤツリグサ科					1	
Chenopodiaceae-Amaranthaceae	アカザ科-ヒユ科					1	
Caryophyllaceae	ナデシコ科			1			
Apioidae	セリ亜科					1	
Asteroideae	キク亜科			2			
<i>Artemisia</i>	ヨモギ属	16	15	6	15		
Fern spore	シダ植物胞子						
Monolate type spore	单柔溝胞子		4	4	3	5	
Trilate type spore	三柔溝胞子		7	3		1	
Arboreal pollen	樹木花粉	0	0	4	3	1	5
Arboreal-Nonarboreal pollen	樹木・草本花粉	0	0	2	0	1	0
Nonarboreal pollen	草本花粉	0	0	30	20	23	29
Total pollen	花粉总数	0	0	36	23	25	34
Pollen frequencies of 1cm ²	試料1cm ² 中の花粉密度			2.8 ×10 ³	1.4 ×10 ³	1.7 ×10 ³	2.1 ×10 ³
Unknown pollen	未同定花粉	0	0	4	0	3	1
Fern spore	シダ植物胞子	0	0	11	7	3	6
Parasite eggs	寄生虫卵	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
Stone cell	石細胞	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
Digestion rimeins	明らか消化残渣	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
Charcoal-woods fragments	微細炭化物・微細木片	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
微細植物遺体 (Charcoal-woods fragments) : 単位 (×10 ³)							
未分解遺体片							
分解質遺体片		4.1	11.3	14.6	29.1	26.9	19.4
炭化遺体片 (微細炭)				0.4			

8) 検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって300~1000倍で行った。花粉の分類は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン(-)で結んで示した。同定分類には所有の現生花粉標本、島倉(1973)、中村(1980)を参照して行った。イネ属については、中村(1974, 1977)を参考にして、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して同定しているが、個体変化や類似種もあることからイネ属型とする。なお、花粉分類では樹木花粉(AP)および非樹木花粉(NAP)となるが非樹木花粉(NAP)は草本花粉として示した。

(3) 結果

産出した花粉化石の分類群は、樹木花粉4、樹木花粉と草本花粉を含むもの1、草本花粉8、シダ植物胞子2形態の計15である。分析結果を第4表に示す。花粉密度が低いため、参考として実数による花粉ダイアグラムを第11図に示す。また、各分類群の顕微鏡写真を写真2に示した。なお、同時に寄生虫卵についても観察したが検出されなかった。以下に、産出した分類群と花粉群集の特徴を記載する。

[樹木花粉]

ヤナギ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属

[樹木花粉と草本花粉を含むもの]

クワ科-イラクサ科

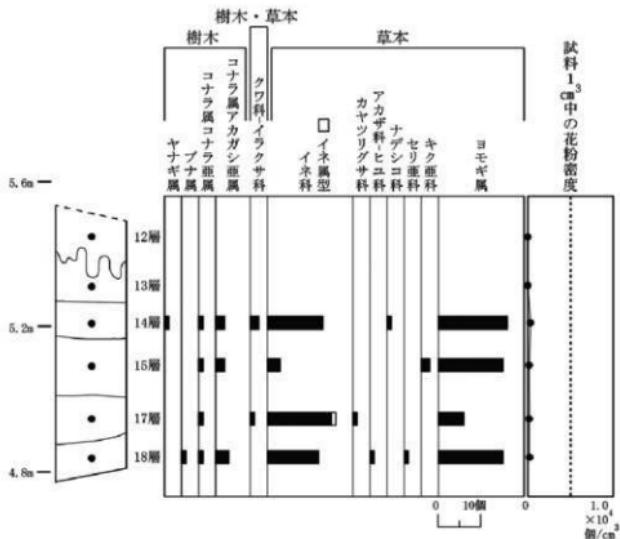
[草本花粉]

イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、アカザ科-ヒユ科、ナデシコ科、セリ亞科、キク亜科、ヨモギ属

[シダ植物胞子]

単条溝胞子、三条溝胞子

いずれも花粉化石の密度が低く、上位の12層と13層では花粉は産出しない。14層、15層、17層、18層の花粉化石群集は概ね類似する。いずれも乾燥ないし多様な環境に生育する草本のヨモギ属とイネ科を中心に、コナラ属アカガシ亜属、コナラ属コナラ亜属、ブナ属、ヤナギ属の樹木、クワ科-イラクサ科、カヤツリグサ科、アカザ科-ヒユ科、ナデシコ科、セリ亞科、キク亜科、イネ属型の草本が少量で産出する。



第11図 銀治田遺跡における花粉ダイアグラム (参考)

(4) 考察

下位より18層、17層、15層、14層の時期は、周辺はイネ科とヨモギ属を主要素とし、他にヨモギ属に加えアザメ科・ヒユ科、ナデシコ科、キク亜科などの乾燥した人為改変地に生育する草本が分布していた。こうしたことから、調査地周囲は開地化されていたとみなされる。水田域も湛水時以外の期間はやや乾燥した環境であったと推定され、本遺跡における水田形態は乾田が想定される。なお、土壌生成が進行するような乾湿を繰り返す環境下では、花粉などの有機物は分解されやすい（中村、1967など）。このことから、上位の12層や13層の時期の調査地は、乾燥か乾湿を繰り返す環境であったと推定される。

4. 植物珪酸体（プラント・オパール）分析

(1) はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸（ SiO_4 ）が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山、2000, 2009）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山、1984）。

(2) 分析方法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスピーズ法（藤原、1976）を用いて、次の手順で行った。

- 1) 試料を105°Cで24時間乾燥（絶乾）
- 2) 試料約1gに対し直径約40μmのガラスピーズを約0.02g添加（0.1mgの精度で秤量）
- 3) 電気炉灰化法（550°C・6時間）により脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）により土壌を分散
- 5) 沈底法により20μm以下の微粒子を除去
- 6) 乾燥後、封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成

検査は、400倍の偏光顕微鏡下で行う。同定は、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象とする。計数は、ガラスピーズ個数が500以上になるまで行う。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1g中の植物珪酸体個数は、試料1gあたりのガラスピーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスピーズ個数の比率を乗じて算出する。また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重）を乗じて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出する。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる（杉山、2000）。

(3) 分析結果

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を第5表および第12図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を写真4に示す。

[イネ科]

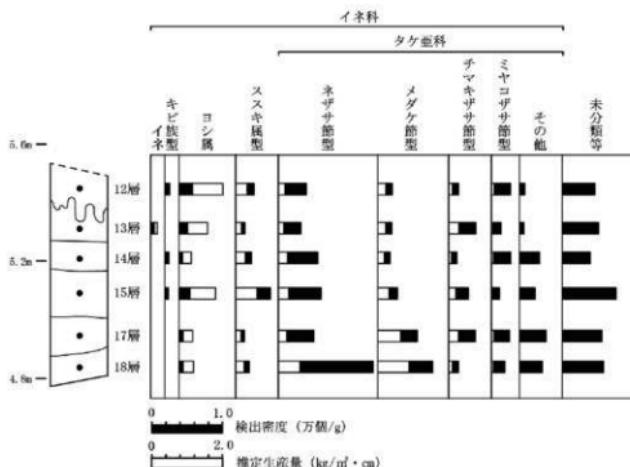
イネ、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型（おもにススキ属）

第5表 錫冶田遺跡における植物珪酸体（プラント・オバール）分析結果

分類群	学名	東壁断面					
		12層	13層	14層	15層	17層	18層
イネ科	Gramineae						
イネ	<i>Oryza sativa</i>			6			
キビ族型	<i>Panicace type</i>		7	6	5		
ヨシ属	<i>Phragmites</i>	20	13	6	16	6	6
ススキ属型	<i>Miscanthus type</i>	26	13	22	49	12	19
タケ亜科	Bambusoideae						
ネザサ節型	<i>Pleioblastus sect. Nezasa</i>	39	32	55	60	50	135
メダケ節型	<i>Pleioblastus sect. Nipponoca lamus</i>	20	19	17	27	56	77
チマキザサ節型	<i>Sasa sect. Sasa etc.</i>	13	38	11	27	37	13
ミヤコザサ節型	<i>Sasa sect. Crassinodi</i>	26	13	28	11	25	19
その他	<i>Others</i>	7	6	28	22	37	32
その他のイネ科	Others						
未分類等	Unknown	46	51	39	76	56	58
(海綿骨針)	Sponge				6	6	
植物珪酸体粒数	Total	204	191	212	293	279	359

おもな分類群の推定生産量（単位：kg/m²·cm）：試料の仮比重を1.0と仮定して算出

イネ	<i>Oryza sativa</i>	0.19
ヨシ属	<i>Phragmites</i>	1.24
ススキ属型	<i>Miscanthus type</i>	0.32
ネザサ節型	<i>Pleioblastus sect. Nezasa</i>	0.19
メダケ節型	<i>Pleioblastus sect. Nipponoca lamus</i>	0.23
チマキザサ節型	<i>Sasa sect. Sasa etc.</i>	0.10
ミヤコザサ節型	<i>Sasa sect. Crassinodi</i>	0.08



第12図 錫冶田遺跡における植物珪酸体（プラント・オバール）ダイアグラム

[イネ科－タケ亞科]

メダケ節型（メダケ属メダケ節・リュウキユウチク節、ヤダケ属）、ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節）、チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、その他未分類等

[イネ科－その他]

未分類等

以下に、各試料における植物珪酸体の検出状況を記す。

上位より12層では、スキ属型、ネザサ節型、ミヤコザサ節型が比較的高い密度であり、他にキビ族型、ヨシ属、メダケ節型、チマキザサ節型、タケ亞科（未分類）などが検出された。13層では、ネザサ節型とチマキザサ節型が比較的高い密度であり、他にイネ、ヨシ属、スキ属型、メダケ節型、ミヤコザサ節型、タケ亞科（未分類）などが検出された。14層では、ネザサ節型が高い密度であり、スキ属型やミヤコザサ節型も比較的高い密度である。他にはキビ族型、ヨシ属、メダケ節型、チマキザサ節型、タケ亞科（未分類）などが検出された。15層も14層と概ね類似する状況であるが、ここではスキ属型も高い密度である。17層では、ネザサ節型とメダケ節型が高い密度であり、チマキザサ節型とミヤコザサ節型が比較的高い密度である。他にはヨシ属、スキ属型、タケ亞科（未分類）などが検出された。18層では、ネザサ節型が非常に高い密度であり、メダケ節型も高い密度である。他にはヨシ属、スキ属型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型、タケ亞科（未分類）などが検出された。なお15層と17層では、植物珪酸体以外に海綿骨針が低密度で検出された。

（4）考察

1) 稲作跡の検討

植物珪酸体分析において稲作跡の探査や検証を行う場合、通常、イネの植物珪酸体（プラント・オペール）が試料1gあたり5,000個以上の密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している（杉山、2000）。なお、最近の調査では密度が3,000個/g程度であっても水田遺構が検出された事例が報告されていることから、ここでは判断の基準を3,000個/gとして検討を行う。

本調査地点では、13層においてイネの植物珪酸体が600個/gの低密度で検出されている。稲作跡の検証や探査を行う場合の判断基準とされている3,000個/gには満たないことから、本地点の当該層で稲作が行われていた可能性を積極的に支持することはできない。ここで検出されたイネの植物珪酸体は、調査地の周辺など他所から混入したものと推定される。仮にここで稲作が行われていたとすると、耕作期間（年数）は極めて短いものであったと思われる。その他の12層、14層、15層、17層、18層からはイネの植物珪酸体は検出されなかった。このことから、これらの層準では調査地において稲作が行われていた可能性を否定することはできない。また、近傍において稲作が行われていた可能性も考えにくい。

2) イネ科栽培植物の検討

植物珪酸体分析で同定される分類群のうち栽培植物が含まれるものには、イネ以外にもムギ類、ヒエ属型（ヒエが含まれる）、エノコログサ属型（アワが含まれる）、キビ属型（キビが含まれる）、ジユズダマ属型（ハトムギが含まれる）、オヒシバ属（シコクヒエが含まれる）、モロコシ属型、トウモロコシ属型などがある。本遺跡の試料からはこれらの分類群はいずれも検出されなかった。

イネ科栽培植物の中には検討が不十分なものもあるため、その他の分類群の中にも栽培種に由来する

ものが含まれている可能性がある。これらの分類群の給源植物の究明については今後の課題である。なお、植物珪酸体分析で同定される分類群は主にイネ科植物に限定されるため、根菜類、葉菜類などの畑作物は分析の対象外となっている。

3) 植物珪酸体分析から推定される植生と環境

上記以外の分類群の推定生産量と、そこから推定される植生・環境について検討を行う。12層では、ヨシ属が高密度ではないものの優勢であり、ススキ属型が比較的多い。他にはキビ族型、メザサ節型、メダケ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節などが認められるが、いずれも少量である。こうしたことから、12層堆積時の調査地付近では、ヨシなどの生育する湿地あるいはそれに近い環境の時期があり、周辺の比較的乾いたところにはススキやササ類が生育していたと推定される。13層は、キビ族型が検出されないことを除けば12層とほぼ類似する植物珪酸体組成であり、12層と同様の環境が推定される。14層では、優勢種は無いがヨシ属、ススキ属型、メザサ節型が比較的多く、キビ族型、メダケ節型、ミヤコザサ節型などが少量認められる。こうしたことから、調査地周辺の湿ったところにはヨシが、比較的乾いたところにはススキやササ類が生育していたと推定される。15層は、12層とほぼ類似する植物珪酸体組成であることから、調査地付近ではヨシなどの生育する湿地あるいはそれに近い環境の時期があり、周辺の比較的乾いたところにはススキやササ類が生育していたと推定される。17層では、メダケ節型が優勢であり、ヨシ属、メザサ節型、メダケ節型が比較的多い。こうしたことから、調査地周辺の湿ったところにはヨシが、比較的乾いたところにはススキやササ類が生育していたと推定される。18層でもメダケ節型が優勢であり、次いでメザサ節型、ヨシ属が多い。こうしたことから、調査地周辺は乾いた環境であり、ササ類やススキなどが生育しており、ヨシなどが生育する湿ったところもみられたと推定される。

5. 珪藻分析

(1) はじめに

珪藻は、珪酸質の被殻を有する单細胞植物であり、海水域や淡水域などの水域をはじめ、湿った土壤、岩石、コケの表面にまで生息している。珪藻の各分類群は、塩分濃度、酸性度、流水性などの環境要因に応じて、それぞれ特定の生息場所を持っている。珪藻化石群集の組成は、当時の堆積環境を反映しており、水域を主とする古環境復原の指標として利用されている。

(2) 分析方法

以下の手順で、珪藻の抽出と同定を行った。

- 1) 試料から 1cm³を採量
- 2) 10%過酸化水素水を加え、加温反応させながら 1 晚放置
- 3) 上澄みを捨て、細粒のコロイドを水洗（5～6回）
- 4) 残渣をマイクロビペットでカバーグラスに滴下して乾燥
- 5) マウントメディアによって封入し、プレパラート作製
- 6) 検鏡、計数

検鏡は、生物顕微鏡によって600～1500倍で行った。計数は珪藻被殻が200個体以上になるまで行い、少ない試料についてはプレパラート全面について精査を行った。

(3) 結果

産出した珪藻は、中塩性種（汽水生種）1分類群、貧塩性種（淡水生種）8分類群である。破片の計数は基本的に中心域を有するものと、中心域がない種については両端2個につき1個と数えた。分析結果を第6表に示す。なお、珪藻密度が低いため、参考として実数による珪藻ダイアグラムを図1に示す。珪藻ダイアグラムにおける珪藻の生態性はLowe (1974) の記載により、陸生珪藻は小杉 (1986) により、環境指標種群は海水生種から汽水生種は小杉 (1988) により、淡水生種は安藤 (1990) による。各分類群の顕微鏡写真を写真3に示した。以下に産出した分類群と珪藻群集の特徴を記載する。

〔中塩性種〕

Achnanthes brevipes

〔貧塩性種〕

Aulacoseira canadensis, *Aulacoseira distans*(Ringleisten), *Cymbella cistula*, *Gomphonema acuminatum*, *Gomphonema gracile*, *Hantzschia amphioxys*, *Navicula mutica*, *Pinnularia microstauron*

いずれの試料も密度が極めて低く、珪藻は産出しないか、産出しても極わずかであった。下位の18層から15層では、低密度であるが真・好止水性種で沼沢湿地付着生種や湖沼沼沢湿地付着生種の環境指標種が含まれる*Aulacoseira canadensis*, *Aulacoseira distans*(Ringleisten), *Cymbella cistula*, *Gomphonema acuminatum*, *Gomphonema gracile*, *Pinnularia microstauron*が、他に陸生珪藻の*Hantzschia amphioxys*, *Navicula mutica*、中塩性種（汽水生種）の*Achnanthes brevipes*が産出する。上位の12層、13層では、珪藻化石は産出しなかった。

（4）考察

いずれの層準も珪藻密度が低く、珪藻の生育できない乾燥した堆積環境であったか、堆積速度が速く珪藻が集積できなかつたことなどが考えられる。また、集約性の高い水田では、珪酸濃度低下のため珪藻殻の形成不全が起こり、珪酸殻が溶脱して残存しないこともある。下部の15層、17層、18層の層準では、わずかに検出される珪藻は、真・好止水性種であり、湛水時は水域となる低湿な環境が示唆される。

6. まとめ

鍛冶田遺跡において、稲作の可能性ならびに古環境を推定する目的で、花粉分析、植物珪酸体（プラント・オバール）分析、珪藻分析を行った。その結果、13層でイネの植物珪酸体が検出されたもの低密度であり、調査地で稲作が行われていた可能性を肯定することはできなかった。稲作が行われていたならば、耕作期間は極めて短かったと推定された。

各層準とも花粉など有機物が分解されやすく、珪藻の生育しにくい乾燥ないし乾湿を繰り返すような環境が推定された。中下部の14層、15層、17層、18層の時期の調査地周辺は、イネ科とヨモギ属がわずかであるが主要に産出し、乾湿を繰り返す環境が示唆された。なお、15層、17層、18層の時期の調査地は、湛水時は水域となる比較的低湿な環境が示唆された。水田域も、湛水時以外は比較的乾燥する環境であり、水田の形態は乾田が想定された。

参考文献

【花粉分析】

金原正明 (1993) 花粉分析法による古環境復原。木下正史編「新版古代の日本 第10巻 古代資料研究の方法」、角川書店。
p. 248-262.

- 中村 純 (1967) 「花粉分析」。古今書院, 232p.
- 中村 純 (1974) イネ科花粉について、とくにイネ (*Oryza sativa*)を中心として。第四紀研究, 13, p. 187–193.
- 中村 純 (1977) 稲作とイネ花粉。考古学と自然科学, no. 10, p. 21–30.
- 中村 純 (1980) 日本産花粉の標識。大阪自然史博物館収蔵目録第13集, 91p.
- 島倉巳三郎 (1973) 日本植物の花粉形態。大阪市立自然科学博物館収蔵目録, 5, 60p.

【珪藻体分析】

- 藤原宏志 (1976) プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）－数種イネ科植物の珪藻体標本と定量分析法－。考古学と自然科学, 9, p. 15–29.
- 藤原宏志・杉山真二 (1984) プラント・オパール分析法の基礎的研究（5）－プラント・オパール分析による水田址の探査－。考古学と自然科学, 17, p. 73–85.
- 杉山真二 (2000) 植物珪藻体（プラント・オパール）。考古学と植物学。同成社, p. 189–213.
- 杉山真二・藤原宏志 (1986) 機動細胞珪藻体の形態によるタケア科植物の同定－古環境推定の基礎資料として－。考古学と自然科学, 19, p. 69–84.
- 杉山真二・松田隆二・藤原宏志 (1988) 機動細胞珪藻体の形態によるキビ族植物の同定とその応用－古代農耕追及のための基礎資料として－。考古学と自然科学, 20, p. 81–92.

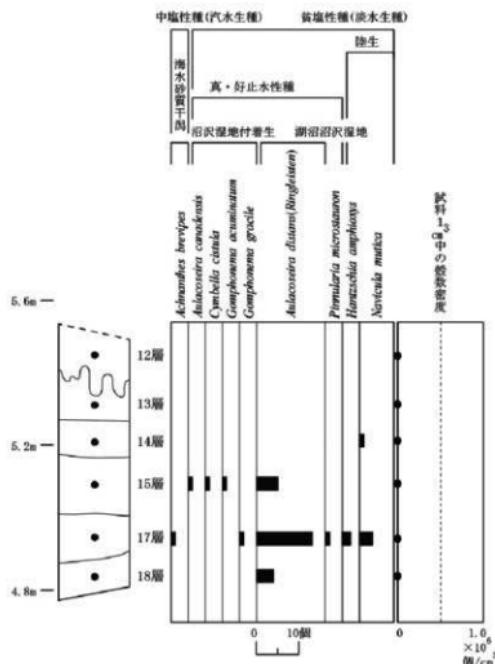
【珪藻分析】

- 安藤一男 (1990) 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復原への応用。東北地理, 42, p. 73–88.
- Asai,K.& Watanabe,T.(1995) Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,p.35-47.
- Hustedt,F.(1937–1938) Systematische und ökologische Untersuchungen über die DiatomeenFlora von Java,Bali und Sumatra nach dem Material der Deutschen Limnologischen Sunda-Expedition. Arch.Hydrobiol.Supp15, p.131–506.
- 伊藤良永・堀内誠示 (1991) 陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用。珪藻学会誌, 6, p. 23–45.
- 小杉正人 (1986) 陸生珪藻による古環境解析とその意義－わが国への導入とその展望－。植生史研究, 第1号, 植生史研究会, p. 29–44.
- 小杉正人 (1988) 珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用。第四紀研究, 27, p. 1–20.
- K. Krammer·H.Lange-Bertalot(1986-1991) Bacillariophyceae.vol.2,no.1-no.4
- Lowe,R.L.(1974) Environmental Requirements and pollution tolerance of fresh – water diatoms. 333p. National Environmental Reserch.Center.
- 渡辺仁治 (2005) 淡水珪藻生態図鑑。群集解析に基づく汚濁指数DAIpo, pH耐性能。内田老舗園, 666p.

第6表 錫冶田遺跡における珪藻分析結果

分類群	東壁断面					
	12層	13層	14層	15層	17層	18層
貧塩性種 (淡水生種)						
<i>Aulacoseira canadensis</i>				1		
<i>Aulacoseira distans(Ringleisten)</i>				5	13	4
<i>Cymbella cistula</i>				1		
<i>Gomphonema acuminatum</i>				1		
<i>Gomphonema gracile</i>					1	
<i>Hantzschia amphioxys</i>					2	
<i>Navicula mutica</i>			1		3	
<i>Pinularia microstauron</i>					1	
中塩性種 (汽水生種)						
<i>Achnanthes brevipes</i>					1	
合 計	0	0	1	8	21	4
未同定	0	0	0	0	0	0
破片	0	0	8	8	16	4
試料 1 cm ³ 中の個数密度			20 ×10 ²	16 ×10 ²	42 ×10 ²	00 ×10 ²

完形殻保存率 (%)

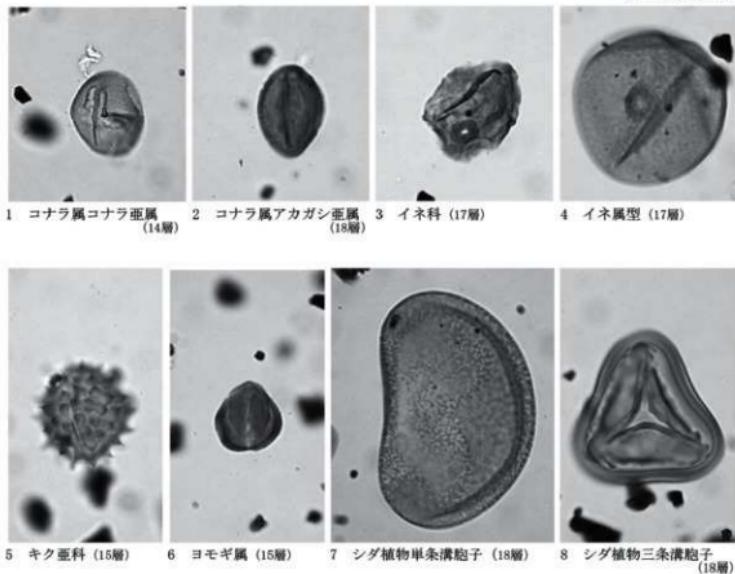


第13図 錫冶田遺跡における珪藻ダイアグラム (参考)

写真2・3 花粉・珪藻

鍛冶田遺跡の花粉

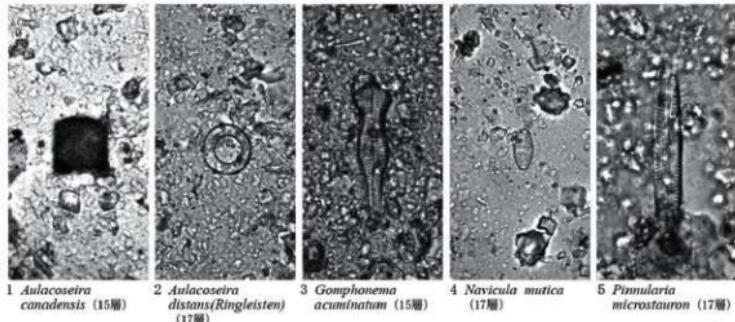
※○内は、検出箇所



— 10 μm

鍛冶田遺跡の珪藻

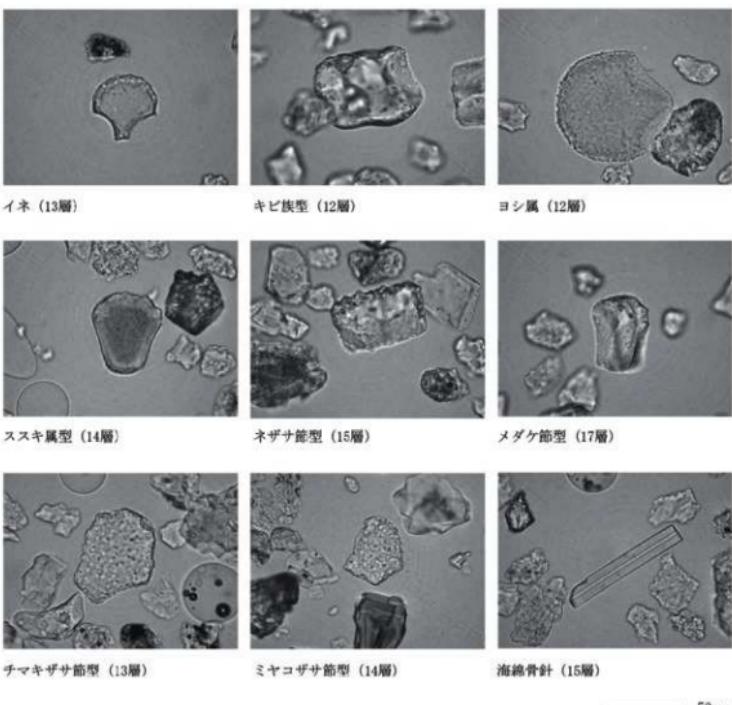
※○内は、検出箇所



— 10 μm

写真4 植物珪酸体

銀治田遺跡の植物珪酸体（プラント・オパール）



— 50 μ m

第4節 鍛治田遺跡出土のサヌカイト製石器の産地推定

竹原弘展(バレオ・ラボ)

1. はじめに

掛保郡太子町糸井に所在する鍛治田遺跡より出土した弥生時代のサヌカイト製石器について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

2. 試料と方法

分析対象は、遺跡より出土したサヌカイト製石器6点である(第7表)。時期は、弥生時代とみられている。石器はいずれも風化層に覆われていたため、サンドブラストを用いて風化層を一部除去し、新鮮面を露出させて測定箇所とした。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウム(Rh)、X線検出器はSDD検出器である。測定条件は、測定時間100sec、照射径8mm、電圧50kV、電流1000μA、試料室内雰囲気は真空中に設定し、一次フィルタにPb測定用を用いた。

分析方法は、黒曜石産地推定法として用いられている蛍光X線分析によるX線強度を用いた判別図法(望月, 1999など)を用い、分析対象をサヌカイトに置き換えて適用した。本方法では、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム(K)、マンガン(Mn)、鉄(Fe)、ルビジウム(Rb)、ストロンチウム(Sr)、イットリウム(Y)、ジルコニウム(Zr)の合計7元素のX線強度(cps/count per second)について、以下に示す指標値を計算する。

$$1) \text{Rb分率} = \text{Rb強度} \times 100 / (\text{Rb強度} + \text{Sr強度} + \text{Y強度} + \text{Zr強度})$$

$$2) \text{Sr分率} = \text{Sr強度} \times 100 / (\text{Rb強度} + \text{Sr強度} + \text{Y強度} + \text{Zr強度})$$

$$3) \text{Mn強度} \times 100 / \text{Fe強度}$$

$$4) \log (\text{Fe強度} / \text{K強度})$$

そして、これらの指標値を用いた2つの判別図(横軸Rb分率 - 縦軸Mn強度 × 100 / Fe強度の判別図と横軸Sr分率 - 縦軸log (Fe強度 / K強度)の判別図)を作成し、各地の原石データと遺跡出土遺物のデータを照合して、産地を推

第7表 分析対象一覧(サヌカイト)

試料No.	調査番号	ネーミングNo.	地区	遺構	土層
1	2015150	2758	No.5-6 西側		下層掘削
2	2015150	32	No.13-14間		包含層(暗褐色砂)
3	2015150	577		SP25	一段下げ
4	2015150	1869		SH-1422 3区	検出面-5cm
5	2015150	1869		SH-1422 3区	検出面-5cm
6	2015150	1808		SH-1250	床面精査

第8表 サヌカイト産地の判別群

都道府県	エリア	判別群	原石採取地(試料点数)
奈良	二上山	春日山	春日山みかん畑内(10)、株山(61)
	国分台1		自南隣演習場付近(2)、神谷神社付近(8)、高産雲神社谷(1)、国分台下みかん畑(4)、蓮光寺山南東麓(1)
	国分台2		神谷神社付近(3)、高産雲神社谷(4)
	国分台3		自南隣演習場付近(1)、神谷神社付近(2)、高産雲神社谷(7)、国分台下みかん畑(1)、蓮光寺山南東麓(25)、出雲神社周辺(5)
	赤子谷		赤子谷第1地点(5)、赤子谷第2地点(5)
	法印谷		法印谷(10)
	金山1		北峰道路脇(10)、金山南麓(31)、金山北東部(27)
	金山2		北峰道路脇(10)、金山南麓(31)、金山北東部(27)
	城山		城山南側(5)、城山北側(5)
	東奥1		雄山(5)、雄山(5)、神谷神社付近(4)、出雲神社周辺(23)、奥池付近(11)
	東奥2		神谷神社付近(3)、出雲神社周辺(2)、奥池付近(5)
	双子山		双子山南嶺(10)
	香色山		佐伯神社付近(30)、宮ヶ尾古墳周辺(1)
	大森山北麓		宮ヶ尾古墳周辺(2)

定する。原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。第8表に判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を示す。

3. 分析結果

第9表に石器の測定値および算出された指標値を、第14図と第15図にサスカイト原石の判別図に石器の指標値をプロットした図を示す。視覚的にわかりやすくするため、図では各判別群を指円で取り囲んだ。

測定した石器6点のうち、4点が金山1の範囲にプロットされた。試料No.3とNo.5の2点は、合致する判別群がなく、産地不明であった。第9表に産地推定結果を示す。

第9表 測定値および産地推定

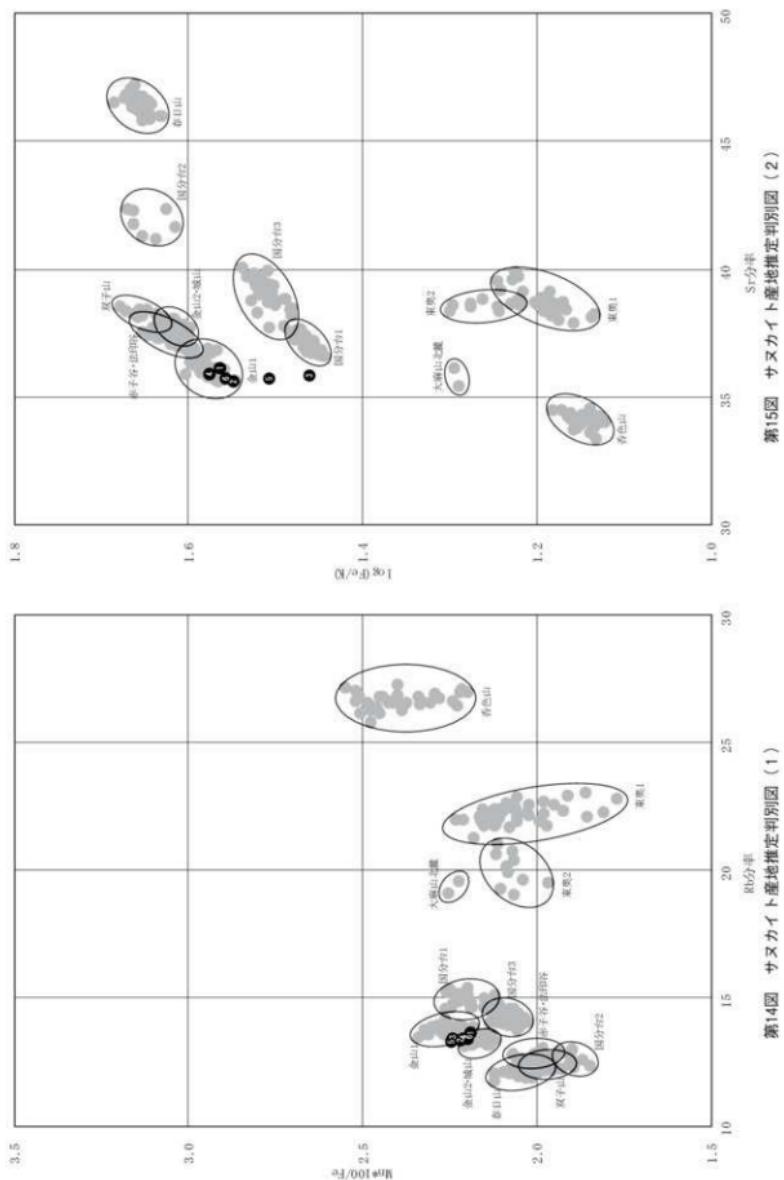
試料 No.	K強度 (cps)	Mn強度 (cps)	Fe強度 (cps)	Rb強度 (cps)	Sr強度 (cps)	Y強度 (cps)	Zr強度 (cps)	Rb分率	Mn^{100}/Fe	Sr分率	$\log \frac{Fe}{K}$	判別群	エリア	試料 No.
1	2375	190.4	8699.0	575.7	1525.7	303.3	1818.5	13.63	219	36.13	1.56	金山1	讃岐	1
2	2074	162.7	7334.5	543.5	1448.0	294.7	1781.5	13.36	222	35.60	1.55	金山1	讃岐	2
3	2711	175.4	7828.4	5672	1516.8	304.6	1840.8	13.41	224	35.86	1.46	?	不明	3
4	2295	190.9	8639.8	607.7	1628.0	323.8	1977.1	13.40	221	35.89	1.58	金山1	讃岐	4
5	2581	186.4	8296.0	603.2	1623.1	325.8	1989.2	13.28	225	35.74	1.51	?	不明	5
6	2272	180.2	8191.6	579.0	1544.5	313.8	1887.9	13.39	220	35.71	1.56	金山1	讃岐	6

4. おわりに

鍛冶田遺跡より出土したサスカイト製石器6点について、蛍光X線分析を用いた判別図法による産地推定を行った結果、2点は産地不明だったものの、残り4点はいずれも讃岐地方産と推定された。

引用文献

望月明彦（1999）上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定。大和市教育委員会編「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書2—上和田城山遺跡篇—」:172-179。大和市教育委員会。



第14図 サムカイト産地推定判別図（1）

第15図 サムカイト産地推定判別図（2）

第5節 鍛冶田遺跡の蛍光X線分析

竹原弘展（パレオ・ラボ）

1. はじめに

掛保郡太子町糸井に所在する鍛冶田遺跡より出土した古墳時代中期の須恵器について、波長分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行った。

2. 試料と方法

分析対象は、堅穴住居跡より出土した須恵器5点である。

（第10表）

蛍光X線分析には、須恵器よりガラスピードを作製し、分析

第10表 分析対象一覧（須恵器）

分析 No.	番号	器種	調査番号	出土遺構	層位	備考
1	実250	壺蓋	2015050	SH0047,4区	二段下げ～床面	
2	実329	器台	2015050	SH0974,3区	検出面～一段下げ	
3	実331	器台（口縁）	2015050	SH0974,2区	検出面～一段下げ	
4	実396	はそう	2015050	SHB424,1区	埋土	SH1423の下層
5	実472	高坏（脚）	2015050	SH1302,1区		

試料とするガラスピード法を用いた。試料採取には、岩石カッターを使用した。採取した須恵器は、表面の汚れ等の影響を排除するため、岩石カッターで表面や破断面を削った後、さらに精製水で超音波洗浄を行った。試料をアルミナ製乳鉢で粉末にして、るつぼに入れ、電気炉で750°C、6時間焼成した後、デシケータ内で放冷し、18000g秤量した。これを無水四ホウ酸リチウムLi₂SiO₃と、メタホウ酸リチウムLiBO₂を8:2の割合で調製した融剤3.6000gと十分に混合し、白金製るつぼに入れ、ビードサンプラーにて約750°Cで250秒間予備加熱、約1100°Cで150秒間溶解させ、約1100°Cで450秒間掻動加熱してガラスピードを作製した。

分析は、フィリップス社製波長分散型蛍光X線分析装置MagiX（PW2424型）にて、検量線法による定量分析を行った。標準試料には、独立行政法人産業技術研究所地質調査総合センターおよび米国標準技術研究所（NIST）の岩石標準試料計15種類を用いた。定量元素は、ナトリウム（Na₂O）、マグネシウム（MgO）、アルミニウム（Al₂O₃）、ケイ素（SiO₂）、リン（P₂O₅）、カリウム（K₂O）、カルシウム（CaO）、チタン（TiO₂）、マンガン（MnO）、鉄（Fe₂O₃）、の主成分10元素と、ルビジウム（Rb）、ストロンチウム（Sr）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）の微量元素4元素、計14元素である。

3. 結果

第11表に、蛍光X線分析の測定結果を示す。

分析の結果、ナトリウム（Na₂O）が0.40～0.87%、マグネシウム（MgO）が0.43～0.74%、アルミニウム（Al₂O₃）が18.7～23.2%、ケイ素（SiO₂）が66.3～73.3%、リン（P₂O₅）が0.024～0.060%、カリウム（K₂O）が1.56%～23.0%、カルシウム（CaO）が0.11～0.44%、チタン（TiO₂）が0.68～0.84%、マンガン（MnO）が0.011～0.028%、鉄（Fe₂O₃）が3.61～6.33%、ルビジウム（Rb）が92～146ppm、ストロンチウム（Sr）が48～96ppm、イットリウム（Y）が21～40ppm、ジルコニウム（Zr）が193～294ppmであった。

第11表 蛍光X線分析結果 (mass%)

分析 No.	Na ₂ O (%)	MgO (%)	Al ₂ O ₃ (%)	SiO ₂ (%)	P ₂ O ₅ (%)	K ₂ O (%)	CaO (%)	TiO ₂ (%)	MnO (%)	Fe ₂ O ₃ (%)	Total (%)	Rb (ppm)	Sr (ppm)	Y (ppm)	Zr (ppm)
1	0.87	0.64	23.2	66.3	0.055	1.93	0.11	0.79	0.016	6.33	100.2	94	65	29	294
2	0.67	0.72	21.2	70.7	0.024	2.30	0.36	0.68	0.017	3.61	100.3	146	90	38	193
3	0.71	0.74	21.6	69.9	0.027	2.25	0.44	0.68	0.028	3.76	100.1	143	96	40	194
4	0.82	0.46	18.7	73.3	0.060	1.96	0.21	0.70	0.013	4.13	100.4	100	59	21	257
5	0.40	0.43	19.7	73.2	0.049	1.56	0.11	0.84	0.011	4.07	100.4	92	48	23	259
最小	0.40	0.43	18.7	66.3	0.024	1.56	0.11	0.68	0.011	3.61	100.1	92	48	21	193
最大	0.87	0.74	23.2	73.3	0.060	2.30	0.44	0.84	0.028	6.33	100.4	146	96	40	294

4. 結果

第16図に、各元素の分布図を示す。

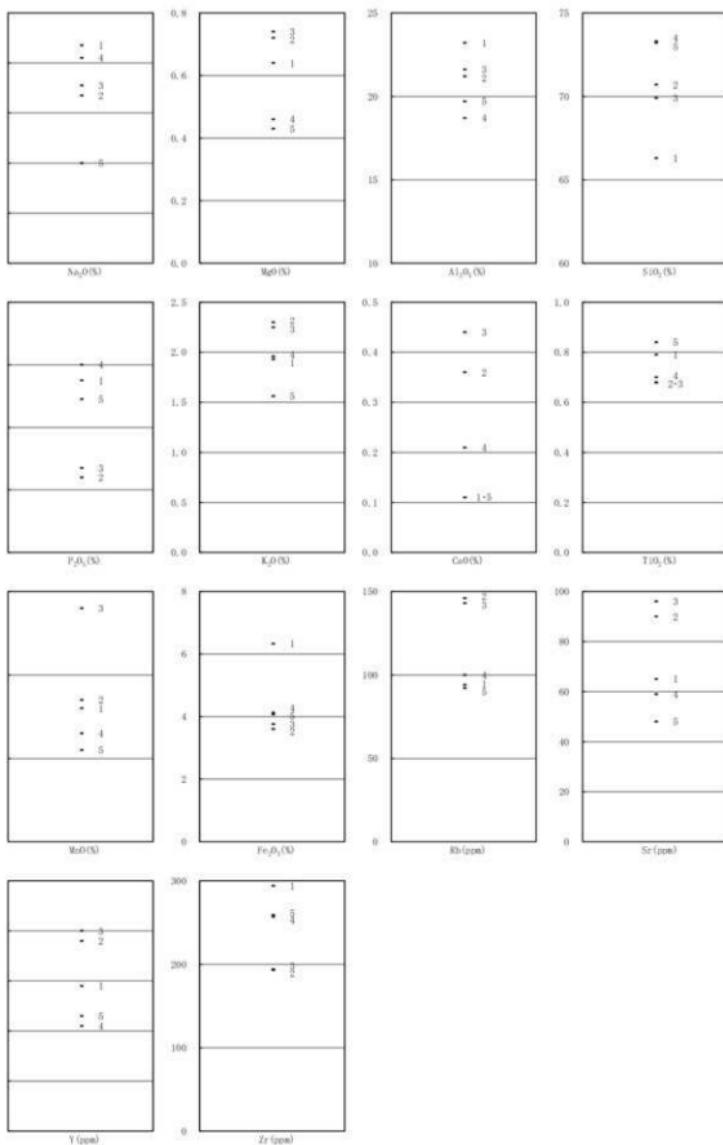
今回分析した5点の試料間を比較すると、分析No.2と分析No.3は、マンガン（MnO）以外の元素で比較的似た化学組成を示した。また、分析No.4と分析No.5も、分析No.2と分析No.3ほどではないものの、多くの元素で比較的似た化学組成を示した。これら須恵器は、胎土材料的に非常に近い関係にあると考えられる。

参考文献

中井 泉編（2005）蛍光X線分析の実際。242p.朝倉書店

写真5 須恵器分析試料写真





第16図 須恵器各元素分布図

第5章 鍛冶田遺跡調査のまとめ

第1節 鍛冶田遺跡の形成過程

今回の調査により、縄文時代晚期後半～弥生時代前期・弥生時代中期前半～後半・古墳時代中期～後期・古墳時代後期以降～平安時代前半・平安時代後期～鎌倉時代の、大別5時期にわたって遺跡が形成されたことが明らかとなった。第4章第1節で示されたとおり、この間、起伏が顕著であった沖積平野はしだいに平坦化し、それに伴って居住域が拡大し、また耕作地も変化するに至った。掛保川下流域において、2千年超の時間にわたる地理的変遷と人間活動の変遷が明らかになったことは、中播磨の地域史上に重要な成果である。以下で、鍛冶田遺跡の集落形成過程について概略を述べておく。

【第1段階：縄文時代晚期後半～弥生時代前期】

この段階までに、調査区北部には扇状地性の微高地が形成され、調査区南部は低地となっていた。鍛冶田遺跡周辺に人の居術が開始されたのは、縄文時代晚期後半に遡る。今回の調査で出土した縄文土器は、凸壺の位置と形態から、長原式よりやや古い段階から始まつたものと言えよう。本文中でも触れたように、微高地末端部から低地部にかけては、等高線に沿う形で小区画の水田が構築されたのは、弥生時代前期に至る時期であったと推定される。第4章第1節青木氏によるステージ4～5に相当する。

調査区東壁で採取した土壤試料からは、安定的な水田経営を示す花粉・植物珪酸体は見いだされなかつたが、これは①試料採取場所が水田造営の直近ではなかつたこと、②当該期には、微高地側から低地部に向かって複数の河道が錯綜するように形成されているため、水田造営はされたものの短期間のうちに洪水等で遺棄されたこと、などを可能性として考慮しておきたい。

この時期の古土壤層は調査区南部にのみ遺存しており、調査区中央部～北部では全く検出されていない。また遺構も遺存していない。これは調査区中央部～北部が、古墳時代以降の開墾、水田造営によつて広範囲に削平を受けたことも原因と考えられる。

【第2段階：弥生時代中期】

弥生時代中期前半（II様式～III様式前半）段階において、調査区付近に集落が成立していた可能性は高いが、明確に当該期に属する堅穴建物等は検出されていない。今回検出された堅穴建物より出土した遺物からは、III様式後半～IV様式前半期に成立したものと考えられる。この時期には、調査区中央部～北部を中心にして集落が形成され、少なくとも9棟の堅穴建物跡、土器棺、土坑が構築された。方形周溝遺構が幕とするならば、接近した時期に堅穴建物の至近に共存したこととなるため、些か疑問が残る。

当該期には調査区北端から南端にかけて、蛇行しながらのびる旧河道（SD100）が埋没過程にあり、周辺から多量の遺物が投棄され、または流入した。青木氏によるステージ6に相当する時期である。

鍛冶田遺跡では、弥生時代後期に属する遺物はまったく見いだされていないことから、弥生時代中期IV様式期の間に、集落が縮小～廃絶へと向かったものと考えられる。

【第3段階：古墳時代中期～後期前半】

古墳時代中期に入り、鍛冶田遺跡では新たな集落が形成された。方形堅穴建物の重複状況と方位性から、集落は少なくとも3期にわたって形成された可能性がある。この段階の堅穴建物跡は、調査区北端から中央部南寄りにかけて、合計25棟が認められる。青木氏によるステージ7～8に相当する。

出土した須恵器の型式からみるならば、最も新しいものはSH1422より出土した坏身で、TK10段階と考えられる。SH047・1088・1423はTK23～TK47段階、SH800・1289・1302はTK208段階、SH319・910・1247はTK216段階に、それぞれ相当するだろう。SH974などで出土した、特異な施文と透かしをもつ器台は、所属時期の判断が難しいが、上記よりやや古い可能性も考慮しておきたい。

調査区中央部東側において、古墳時代の方形堅穴建物跡を切る状況で、縦柱式の掘立柱建物跡2棟が検出されている。この2棟は方位をそろえて構築されていることから、おおむね同時期に属すると思われる。柱穴内からの出土遺物が極めて少數で、所属時期を確定し難かったが柱穴内から古墳時代後期の須恵器小片が出土し、それより後の遺物を含まないことから、古墳時代後期に属すると判断される。

【第4段階：平安時代中期～鎌倉時代前半】

調査区北端から南部に至るまで、調査区の広い範囲に分布する、掘立柱建物跡群がこれにあたる。建物跡の方位は若干のぶれがあるものの、基本的には現地表にみられる条里型地割に沿った方位を見せる。建物跡は調査区内では複数の群を形成する群構造を見せることから、一定の企画性に基づいた集落の形成が考慮される。確実な考古学的証拠は得られていないが、当該時期、鍛冶田遺跡周辺に形成されていた莊園と関連する可能性は高いだろう。青木氏によるステージ8に相当する段階である。

以上のような遺構群の形成と調査区内における分布状況を概観すると、沖積扇状地の末端付近に相当する調査区付近においては、当初、低地部に水田造営がなされ、その後の低地部、旧河道の埋没過程で弥生時代中期の集落が形成された。古墳時代以降も低地部の埋積は進行したが、同時に微高地部の削平がおこなわれたため、弥生時代の遺構群は、調査区北端付近においてはほとんど遺存しない。

平安時代中期以降には条里型地割が構築され、これに則った集落が形成されるとともに、微高地部の削平はさらに進行した。このころまでに低地部の埋積はほぼ終了しており、平坦化した領域は耕地（水田）化されたと考えられる。調査区での断面観察によれば、以降現代に至るまで、複数回の洪水堆積を経ながら、調査区周辺の広い範囲が水田として利用され続けたと思われる。（久保弘幸）

第2節 土器からみた古墳時代の鍛冶田遺跡

【土器からみた鍛冶田遺跡の変遷】

当遺跡では堅穴建物をはじめとする遺構に伴う遺物が多数出土した。陶邑編年（田辺1981ほか）や近年の研究成果（中久保2017）を参考として、出土した須恵器から時期を判断しうるものを列挙すると、SH319・910・1247がTK216型式期（5世紀中葉）、SH16・880がTK216型式期あるいはTK208型式期（5世紀後葉）、SH800・1289・1302がTK208型式期、SH1268がTK208型式期あるいはTK23・TK47型式期（5世紀後葉～末）¹、SH47・1088・1423がTK23・TK47型式期、SH1422がTK10型式期（6世紀前葉～中葉）に相当するとみられる。TK23・TK47型式とTK10型式の間に位置づけられるMT15型式期の遺物は確認できない。土師器のみ出土した遺構については、多くが古墳時代中期に位置づけることは可能だが、さらに詳細な年代比定は困難である。しかしながら、例えばSH2148は出土した土師器壺の形態や高杯の製作技法（杯部内側から中空の脚部に粘土を充填する）に他の土器群よりも古い様相が読み取れる。また、同じ器種でも時期差を示す要素がみられるもの²も多数存在することから、器形や製作技法といった諸特徴と土器の組み合わせに注目することで相対的な配列は可能であり、今後検討すべき課題である。いずれにせよ、今回の調査成果からは、集落が継続的に営まれた様子がうかがえ、そ

の中でも古墳時代中期、5世紀中葉から末頃にかけて最も栄えたと評価できる。

なお、建物の方位に注目する。正方位のもの、僅かに東側に振るもの、僅かに西側に振るもの3つのグループに大別できるが、これらの方位の差異は出土遺物にみえる時期差とは対応しない。

【土器からみた銀治田遺跡の性格】

当遺跡を評価する上で注目すべきは、韓式系軟質土器（中久保2017）をはじめとする渡来系遺物や初期須恵器が出土している点であろう。渡来系要素の受容、在来土器との関わりにも目を配りつつ、当遺跡の性格について論じる。

韓式系軟質土器と定着型軟質土器 韓式系軟質土器と定着型軟質土器が出土した竪穴建物は調査区北半に偏る。韓式系軟質土器は、SH958から出土した縦位平行タタキを施す壺（報告番号780）、SH1043から出土した外面に沈線を有し、把手を内側から挿入したとみられる瓶（報告番号802）、外面に縦位平行タタキを施す壺（報告番号1002）などが挙げられる。なお、SH1043出土の瓶にみられる製作技法は全羅南道地域の特徴とされるものである（寺井編2017）。

またSH16などから出土した小型平底鉢（報告番号658ほか）、SH055から出土した鍋（報告番号675・676）、口縁部と頭部との境の屈曲が明瞭でない壺（報告番号716ほか）、折り曲げ口縁の壺（報告番号720）、SH955などから出土した移動式壺（報告番号778・979・992）などは器形をみれば韓式系軟質土器に類似するものとして評価できる。ただし、表面調整などは全く異なり、在来の技術（外面にハケ調整、内面にハケ調整あるいは指ナデなど）によるものである。これらの特徴から、折衷土器あるいは定着型軟質土器として捉えられ、渡来系文化定着の様子を示すものと評価できる。

また、竪穴建物の中で最も新しいTK10型式併行期のSH1422では、唯一羽釜が出土した。羽釜は5世紀後葉に出現、6世紀以降増加する煮炊具で（中久保2017）、当地域でも新たな器種が受容されたことが分かる。

初期須恵器 出土したものの中でもとりわけ古い年代を想定できるのが繩唐文タタキの壺破片（報告番号757・797・1001）、格子文タタキの壺破片（報告番号806・867）、甌（報告番号999）などである。これらは、先に竪穴建物の時期比定の参考にした須恵器などよりも古いものとみられる。繩唐文タタキの破片は、出土場所がそれぞれ異なるが、胎土や部分的にやや赤みがかる点、器壁が極めて薄い点、幅約2mmの沈線を数条めぐらせる点、内面にナデあるいは板ナデを施す点が共通しており、同一個体の可能性が高い。器種としては、肩部とみられる破片（報告番号1001）の繩唐文タタキをナデ消していることから、短頭壺の類が想定できる。なお、当個体は上述の特徴から陶質土器の可能性もあり、肩部のタタキ痕をナデ消すのは韓半島全羅南道地域の特徴とされる（定森2006）。甌（報告番号999）は口縁部が直線的に外反するもので、類例は少ないが、陶邑TG232号窯跡（4世紀末？～5世紀初頭）でも出土している。当遺跡出土の初期須恵器の中で最も古いものの可能性がある。SH880・974から出土した器台脚部（報告番号737・795）は方形と円形を組み合わせた健穴のような形状の透かしが特徴的であり、阿羅加那（或安）に特徴的な火炎形透かしと類似する。同様の透かしを有する筒形器台が韓式系軟質土器や初期須恵器が出土した東沢1号墳（加古川市、TK73型式期）でみつかっており、注目される。

兵庫県下では、有年原・田中遺跡（赤穂市）、出合窯跡（神戸市）等、初期須恵器の窯跡が知られており、当遺跡出土の初期須恵器が未発見の在地窯産か搬入品かも今後検討すべきであろう。

銀治田遺跡の性格 特徴的な遺物に注目しすぎたきらいはあるが、土器からは、当遺跡に渡来系集団あるいはその系譜を引く集団が居住した可能性が想定できる。韓式系土器などの渡来系遺物の出土が少数

第12表 建物跡出土遺物の様相

遺構		須恵器				土器						縦式系・定着型 軽質土器				備考		
名	建物方位					その他							直 接手 断面 ・指 内形	要 素 類 似 度	小 型 平 底 盆	移 動 式 竈	羽 釜	
		身 高 杯	身 高 杯	身 高 杯	身 高 杯		高杯		無 接 外 反	無 接 直 口	椭 形	有 棱	大 形	不 明	蓋	瓶		
SH16	正方位?	△	△											○			○	
SH47	西に振る		○											○		○		SH55-438を切る
SH55	東に振る	△												○	○	○	○	○
SH219	東に振る	△				要、蓋								○				
SH236	東に振る	○							○					○	○	○	○	△
SH438	東に振る								○					○	○	○	○	
SH800	正方位	△	○			要			○					○	○	○	○	SH1423を切る。 移動式竈を使用か
SH804	東に振る								○					○	○	○	○	
SH880	東に振る	△	○			要穴形透かしの器 台脚部、要			○					○				
SH910	東に振る	○	○			要破片(模唐文タ タキ)			○					○	○	○	○	
SH955	東に振る																○	
SH958	東に振る								○					○	○	○	○	SH910とSH1043を 切る
SH974	東に振る	△				要台脚部、要穴形 透かしの器台脚部								○	○			床面に焼土足めら れる
SH1043	東に振る	○				要破片(模唐文タ タキ) 要								○	○	○	○	△
SH1088	東に振る		△			要破片(格子タ タキ)			○					○	○	○	○	
SH1105	東に振る								○	○	○							
SH1245	西に振る								○	○				○	○	○		
SH1247	正方位	△	○						○	○				○	○	○		
SH1268	正方位	△	△	△					○	○				○	○	○		
SH1269	東に振る	○												○				
SH1302	正方位		○											○	○	○	○	
SH1422	正方位	○			○				○					○			○	
SH1423	正方位	○		○		要破片(格子タ タキ)								○	○	○	○	
SH2033	西に振る	○							○					○	○	○		
SH2148	東に振る													○	○			
SB13	西に振る								○	○					○	○		SH247-1245を切 る

※表の△は確定しましないが可能性があるものを示す。

※土器高杯は中野2010を参考に、杯部の形態によって「無接外反」、「無接直口」等に細分した。

※脚部や口縁のみの出土で、杯部の形態を判断しえない土器高杯は「不明」の項に入れている。

※把手のみしか出土していないものについては瓶の項に記載したが、瓶や甕に伴っていた可能性もある。

に留まらず、複数の器種がそろう点も重要である。ただし、渡来系遺物は土器群全体からすれば主体的なものではなく、あくまで多数を占めるのは在來の土師器高杯、甕である。渡来系集団やその生活様式に影響を受けて外來の土器を受容しつつも、在來の土器と組み合わせながら使用していた様子がうかがえる。以上のことと渡来系遺物の出土地点が偏る点などを鑑み、当遺跡は在來の集団を主体とする集落、すなはち「在來集団主体型集落」（中久保2017）であったと評価したい。

【周辺の遺跡と鍛冶田遺跡】

揖保川流域、特に西岸域（たつの市）は古墳時代の渡来系遺物が多くみられる地域として注目されてきた。これに対し、当遺跡が位置する東岸域では、韓半島洛東江以東（加耶でもみられるが多くの新羅地域に分布）に系譜が求められる須恵器角杯（6世紀）が出土した亀田遺跡（太子町）が知られるくらいであった。しかしながら近年、東岸域でも、前田遺跡（姫路市）から初期須恵器やコンパス文が施された器台が出土しており、鍛冶田遺跡にやや先行する時期の集落として注目されるなど、資料が蓄積されている。鍛冶田遺跡や前田遺跡の調査成果は、当該地域における渡來人の実態、渡來系文化の定着と展開を解明する糸口となるであろう。今後はこれらを別個に検討するのではなく、先後する時期の遺跡も踏まえつつ、当該地域における集落動態を検討する視点が求められる。

以上、鍛冶田遺跡出土の古墳時代の土器から若干の考察をおこなった。詳細な検討はしえなかつたが、造構の切り合い、土器群の様相、細かな表面調整や製作技法を合わせて検討するミクロな視点、周辺遺跡の中での鍛冶田遺跡の位置付けといったマクロな視点、双方からの検討が可能であり、播磨における古墳時代土器研究と渡來人研究の良好な資料となることは間違いない。（稻本悠一）

- i TK23型式とTK47型式は別型式だが、ここでは両型式を細分せずに包括する中久保氏の年代観（中久保2017）に拠る。
- ii 古墳時代中・後期の土師器の変化については中久保2017や中野2010などが参考となる。甕・高杯の形態や製作技法、瓶の把手断面形状（円形から楕円形のものに変化）など時期差を示す要素が多数提示されている。
- iii 中久保氏はいわゆる「韓式土器」という用語の使用が、軟質の土器について言及する際に限られることから、「韓式系軟質土器」という用語を用いる。また、「韓式系軟質土器」の系譜にありながらも、器表面調整等が異なるなど、従来の製作技術から変容したものを「定着型軟質土器」と定義する（中久保2017）。

【主要参考文献】（紙幅の都合上、報告書については割愛した）

- ・亀田修一2012『渡來人のムラを考える』『日韓集落の研究－弥生・古墳時代および無文土器～三国時代－』、日韓集落研究会、pp.559-571
- ・亀田修一2020『列島各地の渡來系文化・渡來人』吉村武彦・吉川真司・川尻秋生編『渡來系移住民 半島・大陸との往来』（シリーズ 古代史をひらく）岩波書店、pp.143-200
- ・定森秀夫2006『日本列島出土朝鮮陶質土器の研究』平成15~17年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書
- ・田沼昭三1981『須恵器大成』角川書店
- ・寺井誠編2017『特別展 渡來人いざこより』大阪歴史博物館
- ・中久保辰夫2017『日本古代国家の形成過程と対外交渉』大阪大学出版社
- ・中野2010『古墳時代中・後期における奈良盆地の土師器編年とその特質』『櫻原考古学研究所紀要 考古学論叢』第33冊、奈良県立櫻原考古学研究所、pp.45-75

第3節 平安時代中期～鎌倉時代の土器・陶磁器

鍛冶田遺跡から出土した平安時代以降の土器の中で、土師器には供膳具である椀や皿・杯、小皿、托があり、煮炊具としては鍋、羽釜、足鍋などがある。瓦器には椀、小皿の他に瓦質土器の鉢がある。和泉産瓦器椀が認められるが、器表面が風化しているため一部のみの確認である。須恵器には供膳具の

椀、小皿の他、調理具の鉢、貯蔵具の壺がある。輸入陶磁器の青磁・白磁には碗のみが見られる。その他に瓦・土鍤・硯が出土している。

青磁碗は1点と極めて少ない。龍泉窯系の外反する口縁部を有するものである。

白磁碗は15点出土しており、玉縁を有する口縁部で、大きな玉縁と小さな玉縁のものがあり、底部は厚い基底を呈する。他に外反する口縁部を持つものも見られ、細く直立する高台をもつ。概ね11世紀の中頃から13世紀初頭頃のものであろう。

瓦・土鍤等を除いて今回図示して報告できたものは171点あるが、この内、供膳具が123点、貯蔵具が6点、煮炊具が17点、調理具の鉢が10点、その他、青磁・白磁碗が15点ある。貯蔵具は須恵器の壺を専ら用いている。調理具も少数の瓦質のものを除くと須恵器の鉢を用いている。

【土師器】

土師器の供膳具では、椀には糸切り平高台の見込みが窺むもの（1016）、糸切り平底のもの（1117）がある。皿では糸切りのもの（1091）、小皿にヘラ切り（1052・1089）のものがあるが少ない。手づくねのものには丁寧に作られ京都系土師器を模したと考えられるもの（1014・1015・1030・1031等）が見られ、播磨でも特殊である。杯（1176～1179）はヘラ切り平高台のもので、4点がまとまって出土しており、歪んだものも見られる。あまり類例がなく須恵器工人製作のものか。祭祀などに用いられたものであろう。托は筒状の糸切り高台のものではなく、小皿に脚台を付けた形態のもの（1119・1157・1160）が出土している。1119は皿部と脚部の粘土が異なっている。

煮炊具は、土師器の口縁部が屈曲して真っ直ぐ開く鍋と、直立する口縁部の直下に太く短い鈎を付けた羽釜に限られており、足鍋は脚部の破片が2点出土している。この脚部も浅い鍋形のものに付くものと思われる。

鍋の口縁部は铸造の鐵鍋を模倣した受け口状のものではなく、単純に屈曲して開くものに限られる。全容がわかるものはないが、器壁が厚く直立する胴部に続くものと、鉢状の浅い胴部をもつものがある。胎土に黒雲母を含んだもの（1038）など別の地城からもたらされたものがある。

羽釜は器壁が非常に厚く、砂粒を多く含んでいるものである。全容がわかるものはあまりないが、長胴で丸底を有する。外面は上半部が縱方向のハケ、下半部は粗いハケで仕上げる。鍋1038でも上半部と下半部のハケの粗密が異なっている。口縁部や鈎の断面が四角いもの（1181）が包含層から出土している。他の羽釜は鈎が口縁部のすぐ下に付けられており、鈎が上方に尖らせてある。

【須恵器】

須恵器の椀には、糸切り平高台で見込みが窺んでいるもの（1042）と、あまり窺まないものがある。また、糸切り平底のものもある。その他にヘラ切り平底のものや糸切り底部に輪高台を貼り付けたものが出土している。体部内面に強くロクロ目を残した1104・1105や内外面にロクロ目を残した1108や1162がある。須恵器鉢には片口がつくものが見られ、口縁端部は四角いもの、丸く取めるもの、上方を摘み上げるものがある。

【陶器】

六古窯に代表される備前焼や丹波焼・常滑などはまだ見られず、東播系の須恵器が一部入ってきていくようである。須恵器は峰相山窯跡群や相生窯跡群が比較的近くに存在しており、椀や鉢などは竹原窯址などの相生窯跡群のものが搬入されている可能性が高い。

【瓦器】

この遺跡の中世を特徴付けるのは瓦器の一定量の出土である。須恵器・瓦器・土師器の出土比率は、碗では須恵器70%、瓦器15%、土師器15%であり、小皿では須恵器0%、瓦器37%、土師器63%となる。

瓦器については、瀬戸内海を利用した交通・商業活動により、瓦器出土遺跡は海岸沿いに集中する傾向があることが指摘されており、播磨の東に接する揖津の垂水・日向遺跡（神戸市）では瓦器は全体の22%を占めている。須恵器の比率が大きい播磨においては東端部の明石川中流域の玉津田中遺跡・居住遺跡（神戸市）では瓦器は全体の3%未満となる。

鍛治田遺跡と同じく揖保川流域の宝林寺北遺跡IIのA地区SD01での口縁部破片数では、須恵器38.4%、瓦器11.9%、土師器48.8%、輸入陶磁器0.9%の比率である。碗類に限れば須恵器76.3%、瓦器22.1%、輸入陶磁器1.6%。小皿では須恵器0.4%、瓦器3.3%、土師器96.3%を占めており、鍛治田遺跡とよく似た傾向を示している。宝林寺北遺跡の場合は他地区では瓦器の比率は2%、近隣の宮脇遺跡では0.5%に過ぎないことから、特定の居館に居住した階層の瓦器へのきわめて強い志向を示すものと捉えている。

宝林寺北遺跡より瀬戸内海に近い鍛治田遺跡の中世の住人は、瓦器や京都系土師器への強い志向が窺われ、煮炊具にも播磨の特長は現れていない。輸入陶磁器は少なく下手がほとんどであり、宝林寺北遺跡のように九州産の石鍋を多く保有することもない。地元や西の方よりは、東の方を向いている人々であろうか。

検出された遺構には掘立柱建物址や土坑があり、掘立柱建物址には同じ場所に複数回の建て替えが行われていることからも、一定期間の集落の存続があったものと思われる。一方、際だった墓址が見られないことや、建物群を開む溝や堀等の施設が伴わないことからより格が上の莊園領主の屋敷などは含まれていないようである。但し、数は少ないものの、墨書き土器や硯の出土は文書事務が行われていたことを伺わせる。出土した土器の年代観からしても長く見て、10世紀の前半から13世紀の前半まで集落が営まれていたことが窺われるが、中世後半にまでは継続しない。（別府洋二）

【参考文献】

- 橋本久和1984 「瀬戸内・北部九州出土の畿内窯瓦器」『古文化談叢』第14集 九州古文化研究会
甲斐昭光2002 「遺物の検討」『宝林寺北遺跡II』兵庫県文化財調査報告第223冊 兵庫県教育委員会
山田清潮2010 「遺物」「大野遺跡」兵庫県文化財調査報告第380冊 兵庫県教育委員会

第4節 弥生時代中期の石器

【石材選択】

鍛治田遺跡で出土した打製石器は、総数1600点を超えるが、原位置を遺離して後世の遺構内から出土したものも多い。原位置を遺離したものを含む打製石器類の99%超がサスカイト製であり、その他の石材は1%を下回る。出土したサスカイト製遺物を肉眼的に観察すると、概ね4群に分けることができる。これら4群のサスカイトは、それぞれ自然科学的手法による原産地分析を実施しており、その結果は本書第IV章に収録している。

- A 風化が浅く暗灰色を呈し、白色のフィッシャーが目立つもの
- B 風化が浅く暗灰色を呈し、白色のフィッシャーを生じるが、0.5mm以下の白色の斑晶を多く含む
- C 風化が進行し、灰白色を呈する。全体にやや緻密な印象を受ける。
- D 風化が強く進行し、黄灰色を呈する。

これまでに兵庫県下の弥生時代遺跡でサスカイト製品を分類し、また、その原産地分析結果と比較検討した結果から、A・B群については、四国の大岐地域産ないしは淡路島岩屋産のサスカイト、C群については二上山周辺産、Dについても二上山周辺産の可能性が高いと推定していたが、自然科学的分析では、C・D群が「原産地不明」とされたことは意外であった。

さて、鍛冶田遺跡で最も多數が用いられているのは、A群のサスカイトで、C群がこれに次ぐが、その数量的な差は歴然としている。B・D群はわずかに組成されるのみで、鍛冶田遺跡にあってはほとんど無視しうる程度のものである。

大岐地域のサスカイトは、弥生時代には大型剥片の形で、本州の瀬戸内沿岸地域の遺跡にもたらされ、そこからさらに分割されて内陸部の遺跡に移動されている。掛保川の存在を考慮するなら、鍛冶田遺跡は「海岸地域の遺跡」と評価できようが、これまでの事例にもれず、大型の剥片が持ち込まれていたことを想起させる資料も出土している。

【石器組成】

鍛冶田遺跡で出土した石器の大部分は、弥生時代中期のⅢ様式期～Ⅳ様式前半期に属するものと思われる。本来であれば多角的な分析を実施すべきではあるが、時間的制約と紙数の制約もあるため、ここでは弥生時代の石器の分類と、組成の特徴についてまとめておきたい。

今回の報告にあたり、図化掲載した312点の弥生時代の打製石器類を、下記の13器種に分類した。

石鎌・石錐・石剣・打製石包丁・石鏃・削器・石匙・楔形石器

二次加工のある剥片・使用痕のある剥片

剥片・石核・碎片

石鎌は掲載した81点中、未完成4点を除く77点中、平基式が30点、凹基式が28点、円基式が8点を占め、有茎式ないしは尖基式が3点、他は折損等により不明である。また打製石剣は5点が出土しているが、完形を保つものはない。大型の有茎式石鎌が皆無であり、武器としての打製石剣も貧弱と言える状況である。

鍛冶田遺跡の石器組成の特色として、磨製石器の少なさも挙げる必要がある。特に、磨製石斧は少なく、太形始刃石斧が2点あるのみで、柱状片刃石斧、扁平片刃石斧はまったく見られない。磨製石包丁のように、打製石器で機能が代替できる器種ではないことから、多少のボトルネック効果を考慮しても、鍛冶田遺跡では石斧の組成率は、元来ごく低かった可能性が高い。

伐採斧が見られないのは、集落周辺での伐採が非常に低调であったためと推察しうる。沖積平野上の遺跡であるため、積極的な森林伐採の必要がなかった、伐採は近隣の山塊でおこなわれたため、調査区付近は石斧を使用する場ではなかった等の理由も想起される。しかし加工斧である柱状片刃石斧や扁平片刃石斧が見られない点に、合理的な理由を探すことは今のところできない。

第17図に、鍛冶田遺跡の石器組成を示した。これを見ると、数量比では碎片が75%を占め、剥片の11%と合わせて86%を占め、遺跡内で活発な石器製作がおこなわれていたことを示唆するが、明瞭な石核は1%程度にとどまる。これは石核自体が大型剥片素材で、剥離の進行によって破碎し、剥片との識別が困難となっているためであろう。二次加工のある剥片を含めた製品の割合は、23%である。最も多數を占めるのは二次加工のある剥片で5%、石鎌3%、楔形石器2%の順で続く。

出土した石器を出土状況ごとに集計したグラフを、第17図に示す。

- ①堅穴建物跡
- ②旧河道SD100
- ③堅穴建物以外の遺構（土坑・SD100を除く溝等）
- ④包含層～遺構検出面

組成の中で二次加工のある剥片が中心的位置を示すことから、サヌカイトを刃物として使用する際に、定型的な製品を企図するのではなく、臨機的に製作、使用をおこなった可能性もある。

SD100は弥生時代中期の遺物のみを包含しており、当該期に河道周辺から投棄ないしは流入した石器が出土したと評価される。今回図化報告した資料のうち、99点をSD100出土の資料が占めている。

その組成を見ると、楔形石器が37%を占め、二次加工のある剥片22%、石鏃17%が続く。他の遺構、包含層等と異なるのは、打製石包丁が10%と組成中の比率が高い点である。

【打製石包丁】

他器種の定義については省略するが、打製石包丁については分類の根拠を示しておく。報告で打製石包丁としたものは、次のような特徴をもって分類した。

- (1) 構ね長方形をなし、その相対する縁辺に表裏から二次加工を施す。
- (2) 相対する縁辺のうち一側縁は、二次加工で作出された鋭利な刃部をなし、相対する縁辺の二次加工は、多くの場合縁辺を潰す、鈍化させる加工となる。
- (3) 刃部および器表面の棱線に、摩耗が観察される。

打製石包丁は時に楔形石器と紛らわしく、分類に苦慮するものも存在したが、特に(2)の特徴を基礎として分類をおこなっている。なお鍛冶田遺跡では磨製石包丁は出土していない。

打製石包丁には完形をとどめるものなく、平均的な長さは不明であるが、掲載したもののうち計測可能な25点で幅をみると平均34mm程度である。ただし打製石包丁としたものの刃部を子細に観察すると、摩耗が生じた稜線を切って、新たな二次加工を施している例があることから、刃部の摩耗に伴う再加工は、頻繁に行われていた可能性が高いと考えられ、その点を考慮する必要がある。また組成比率、数量についても、破碎した打製石包丁と、削器、楔形石器を確実に区分することは不可能である点も、考慮される必要があろう。(久保)

第5節 後期旧石器時代の石器

今回の調査で唯一見いだされた後期旧石器時代の翼状剥片は、本遺跡周辺で当該期の人類活動がおこなわれていたことを明示するものとなった。第1章でも述べた通り本地域で原位置を保って出土した後期旧石器時代の石器群は、近畿地方の第Ⅲ期に位置付けられるたつの市御津町の碇岩南山遺跡の石器群のみである。鍛冶田遺跡の資料からは、ただちに瀬戸内技法の存在を論ずることはできないが、近隣で出土した資料の中にも、亀田遺跡出土の国府型ナイフ形石器が存在することを考えるなら、揖保川流域に、瀬戸内技法を基盤とした第Ⅱ期の石器群が展開していた可能性は高いと言えよう。また今後は、亀田遺跡でも出土している台形石器を含む第Ⅰ期の石器群の存在にも注意を払うべきである。(久保)

1. 報告では背面無の剥離痕の構成から、国府型ナイフ形石器とは言えないとされているが、当該資料の背面構成で複数の剥離痕とされたものは、むしろ打面縁の調整剥離と判断される。よって筆者はこれを国府型ナイフ形石器と認定する。亀田遺跡では他に、台形石器も出土している（原位置遺跡）



第17図 鍛冶田遺跡の石器組成

第13表 掘載遺物一覧 土器類（1）

番号	固有 名	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 形	法 算 (cm)					重 (g)	
							口径	器高	底径 ＊=腹径	長	幅	厚	
1	85 89	山区	东北部		下層 軽色砂質	陶文土器 直鉢	(27.4)	(3.3)					
2	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(7.9)					
3	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(5.4)					
4	85 89	山区		SDE2518	陶文土器 直鉢			(7.2)					
5	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(4.75)					
6	85 89	山区		SDE2518	陶文土器 直鉢			(2.45)					
7	85 89	山区		SDE2521	陶文土器 直鉢			(2.6)					
8	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(3.2)					
9	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(5.6)					
10	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(3.3)					
11	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(2.35)					
12	85 89	山区		SDE2518	陶文土器 直鉢			(4.6)					
13	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(5.5)					
14	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(5.2)					
15	85 89	山区		SDE2521	陶文土器 直鉢			(5.6)					
16	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(3.6)					
17	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(9.1)					
18	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(5.1)					
19	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(3.75)					
20	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(3.0)					
21	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(7.45)					
22	85 89	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(4.25)					
23	85 89	山区		SDE251	陶文土器 扁鉢			(2.1)		(8.4)			
24	86 90	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(32.1)	(8.4)				
25	86 90	山区		SDE251	陶文土器 直鉢			(18.6)	4.8				
26	86 90	山区	中央西半	包含層	陶文土器 直鉢			(1.8)					
27	86 90	山区	中央東半	包含層	陶文土器 直鉢			(2.5)					
28	86 90	山区	中央	陶文土器 直鉢			(3.1)						
29	86 90	山区	中央西半	包含層	陶文土器 直鉢			(5.2)					
30	86 90	山区	中央西半	包含層	陶文土器 直鉢			(3.2)					
31	86 90	山区	北西	檢出前上	陶文土器 直鉢			(2.9)					
32	86 90	山区		檢出前上	陶文土器 直鉢			(4.5)					
33	86 90		SH1246 南手		陶文絕縁	直鉢	(25.9)	(5.95)					
34	86 90		SH1246	上部前進	陶文絕縁	直鉢		(2.8)					
35	86 90		SH1466 3区		陶文絕縁	直鉢 (口縁部)		(3.0)					
36	86 90	山区	SH2148 朱面		陶文土器 直鉢			(2.9)					
37	86 90	山区	SH2148	朱面	陶文土器 直鉢			(3.5)					
38	86 90		SK1249 南手	SH2148	陶文土器 直鉢			(6.4)					
39	86 90		SP1119	安瓶	陶文土器 直鉢			(2.8)					
40	86 90		SP1063	一段下f	陶文土器 直鉢			(5.2)					
41	86 90	山区	SP21232	SH2148上部	陶文土器 直鉢			(6.5)					
42	86 90	山区	SP21232	SH2148上部	陶文土器 直鉢			(1.5)					
43	87 91		SH1070 2区	-床面	泥生土器 口口直 (口縁部)		(23.5)	(1.35)					
44	87 91		SH1070 東西附		泥生土器 突 (口縁部)		(16.35)	(1.4)					
45	87 91		SH1070 2区	側面凹~5cm	泥生土器 突 (口縁部)		(22.6)	(2.8)					
46	87 91		SH1070 3区	-床面	泥生土器 突 (口縁部)		(19.75)	(3.6)					
47	87 91		SK1054 (SH1070)		泥生土器 突 (口縁部)		(11.7)	(4.4)					
48	87 91		SH1246 4区	側面凹~5cm	泥生土器 突 (口縁部)			(5.5)					
49	87 91		SH1246 2区	側面凹~10cm	泥生土器 口口直 (口縁部)		(17.2)	(1.9)					
50	87 91		SH1246 4区	側面凹~10cm	泥生土器 口口直 (口縁部)		(22.2)	(4.0)					
51	87 91		SH1246 4区	側面凹~10cm	泥生土器 口口直 (口縁部)			(6.4)					
52	87 91		SH1249 4区	朱面	泥生土器 突		(9.6)	(5.0)					
53	87 91		SP1365 (SH1250)	一段下f	泥生土器 突		(16.3)	(4.7)					
54	87 91		SP1406 (SH1250)	一段下f	泥生土器 突		(15.5)	(4.0)					
55	87 91		SH1246 4区	-5cm~床面	泥生土器 突		(13.8)	(7.35)					
56	87 91		SH1246 4区	側面凹~5cm	泥生土器 突		(14.7)	(9.6)	◆(18.8)				
57	87 91		SH1246 2~3区	床面凹~5cm	泥生土器 突		(25.7)	(6.6)					
58	87 91		SH1246 3区	側面凹~5cm	泥生土器 突		(30.4)	(5.3)					
59	87 91		SH1246 2区	側面凹~5cm	泥生土器 突		(3.5)			つまみ棒 2.65			
60	87 91		SH1246 3区	-5cm~床面	泥生土器 楊柳草?			(8.05)	4.2	4.4	0.8		
61	87 91		SH1246 1区	-5cm~床面	泥生土器 楊柳草?		(11.0)	(7.95)					
62	88 91		SH1246	床面精整	泥生土器 台付鉢?			(8.2)					
63	88 91		SH1246 1区		泥生土器 台付鉢		(22.65)	(18.2)	9.65 ◆(21.0)				
64	88 91		SP1328 (SH1250)		泥生土器 高环 (縁部)			(2.05)					
65	88 91		SH1246 3区	側面凹~5cm	泥生土器 高环 (縁部)		(18.7)	(2.0)					
66	88 91		SH1246 1区	-5cm~床面	泥生土器 高环 (縁部)		(21.2)	(4.2)					
67	88 91		SH1246 2区	床面	泥生土器 突 (底部)			(4.95)	(6.5)				
68	88 91		SH1246 2~3区	床面	泥生土器 突 (底部)			(2.7)	(5.2)				
69	88 91		SH1246 3区	-5cm~床面	泥生土器 突 (底部)			(5.2)	5.75				

第13表 掘載遺物一覧 土器類（2）

番号	固有 名	実質	地区	出土遺物	層位	種別	器種	法 算 (cm)					重 (g)	
								口径	器高	底径 ■ = 腹径	長	幅	厚	
70	88	91		SH1250	4区	陶器	盆(底部)		(3.95)	(6.3)				
71	88	91		SH1250	1区	陶器面～5cm	盆(上部)(付底)		(5.35)	(8.2)				
72	88	92		SH1251	1区	陶土	盆							
73	88	92		SH1251	床面	盆(上部)	甕		(13.45)	(23.5)	(6.0)			
74	88	92		SH1251	2区	盆(上部)	甕		(16.7)	(6.7)				
75	88	92		SH1251	埋土	盆(上部)	台付鉢?			(4.6)				
76	88	92		SH1252	2区	陶器面～10cm	盆(上部)	付(底)		(6.8)				
77	88	92		SH1252	4区	埋土	盆(上部)	高环(环型)		(4.8)	(12.15)			
78	89	92		SK1448 (SH1254)		陶器	甕(底部)		(14.05)	(4.2)				
79	89	92		SH1254	2区	陶器	盆(底部)			(4.15)				
80	89	92		SK1448 (SH1254)		陶器	台付鉢?		(18.6)	(15.0)				
81	89	92		SK1448 (SH1254)		陶器	甕(底部)			(5.95)	5.5			
82	89	92		SH1254	床面	陶器	盆(上部)		(3.45)	(6.7)				
83	89	93		SP1527 (SH1241)	下層	陶器	甕(底部)	CD口	(14.3)	(12.6)				
84	89	93		SH1241	4区	陶器面～5cm	盆(上部)	直口	(17.2)	(5.85)				
85	89	92		SH1241	4区	陶器面～5cm	盆(上部)	直口	(16.5)	(5.35)				
86	89	92		SP1527 (SH1241)		陶器	盆(底部)		(13.6)	(7.0)				
87	89	93		SP1527 (SH1241)		陶器	甕		(10.6)	5.35				
88	89	92		SH1241	3区	陶器面～5cm	盆(上部)	甕(底部)	(5.45)	(6.0)				
89	89	92		SH1241	4区	陶器面～5cm	盆(上部)	甕(底部)	(4.45)	6.2				
90	89	92		SH1241	3区	陶器面～15cm	盆(上部)	無底甕(鉢?)	(28.0)	(6.85)				
91	89	92		SP1527 (SH1241)		陶器	盆		(16.45)	(3.7)				
92	89	92		SH1241	2区	陶器	盆		(18.6)	(6.3)				
93	89	93		SP1540 (SH1241)		陶器	盆(底部)		(20.1)	17.2				
94	89	93		SP1538 (SH1241)		陶器	台付鉢(台部)		(11.7)	(13.15)				
95	89	93		SP1535 (SH1241)		陶器	台付鉢(台部)		(8.85)	10.8				
96	90	93		SH1425		陶器	CD口		(17.45)	(14.6)				
97	90	94		SH1425		陶器	CD口	(付体)	(16.1)	■ (28.8)				
98	90	94		SH1425		陶器	甕		(17.5)	(18.3) ■ (18.4)				
99	90	94		SH1425		陶器	盆(底部)		(6.8)	6.75				
100	90	94		SH1425		陶器	盆(底部)			(5.9)	(7.35)			
101	90	94		SH1425		陶器	CD口		(43.6)	(47.8) ■ (49.7)				
102	91	95		SH1425		陶器	高环(底部)			(8.35)	(16.2)			
103	91	95		SH1425		陶器	高环(底部)			(3.7)	(17.0)			
104	91	95		SH1466	4区	陶器	CD口	(直縁)	(22.65)	(1.7)				
105	91	95		SH1466	3区	陶器	甕(底部)		(20.5)	(5.05)				
106	91	95		SH1466	2区	陶器	高环(底部)	?	(24.3)	(3.2)				
107	91	95		SH1536	1・2区	陶器	甕(底部)		(18.6)	(3.6)				
108	91	95		SH1524	1区	陶器	甕			(4.6)				
109	91	95		SH1524	1区	陶器	甕(底部)		(2.3)	(4.1)				
110	91	95		SH1528	1区	陶器	CD口	(直縁)	(30.0)	(2.25)				
111	91	95		SH1528		陶器	CD口	(付体)		(16.7)	■ (26.0)			
112	91	95		SH1538	1区	陶器	盆(体)	?			(7.85)	(5.6)	0.6～0.8	
113	91	95		SH1538		陶器	甕			(12.75)	6.0			
114	91	95	B区	SP2951		陶器	甕(底部)		(27.7)	(2.85)				
115	91	95	B区	SH2090		陶器	CD口	(直縁)		(6.5)			直縁	(13.0)
116	91	95	B区	SH2090		陶器	盆(体)			(8.5)				
117	92	96	B区 北東	SH2090	下面一括	陶器	土器	但	(13.8)	7.2				
118	92	96	B区 北東	SH2090	下面一括	陶器	甕		(17.7)	(28.3)	■ 6.65 ■ 19.5			
119	92	96	B区	SH2090		陶器	甕		(22.5)	(7.25)				
120	92	96	B区	SP2938-261 (SB2990)		陶器	盆		(24.8)	(7.6)				
121	92	96	B区 北東	SH2090	下面一括	陶器	甕(底部)			(5.2)	5.95			
122	92	96	B区 北東	SH2090	下面一括	陶器	盆(底部)			(3.7)	7.75			
123	92	97		SK0037		陶器	台付鉢(台部)			(5.3)	9.21			
124	92	97		SK0086		陶器	土器類			(3.9)	3.55			
125	92	97		SK0085		陶器	CD口	(直縁)		(7.4)			直縁9.0	
126	92	97		SK0085		陶器	甕(底部)		(17.9)	(5.2)				
127	92	97		SK0085		陶器	甕(底部)		(26.6)	(4.75)				
128	92	97		SK0085		陶器	盆(底部)			(9.0)	9.0			
129	92	97		SK0061		陶器	甕(底部)		(19.7)	(3.0)				
130	92	97		SK0061		陶器	甕(底部)			(5.55)	(6.0)			
131	92	97		SK0061		陶器	高环(底部)			(3.95)	(13.2)			
132	93	97		SK169	土器類	陶器	甕		(22.0)	(37.5)	8.0			
133	93	98		SK169	土器類	陶器	盆		(30.9)	20.4	■ (21.3)			
134	93	98		SK290		陶器	甕(底部)		(28.2)	(3.0)				
135	93	98		SK290		陶器	甕(底部)			(6.55)	(6.2)			
136	93	98		SK437		陶器	甕		(15.7)	28.95	■ (18.9)			
137	93	98		SK437		陶器	甕		(21.3)	(10.1)	■ 22.45			
138	93	98		SK437		陶器	甕(底部)			(4.5)	5.6			
139	93	98		SK437		陶器	甕(底部)			(6.15)	(12.0)			

第13表 掘藏遺物一覧 土器類（3）

番号	固有	文真	地区	出土遺物	層位	種別	器種	法算(cm)					重(g)
								口径	器高	底径	幅	幅	
140	94	98		SK677		弦生土器	広口壺	(15.2)	(7.5)				
141	94	99		SK677		弦生土器	広口壺(体部)		(11.4)	* (18.0)			
142	94	99		SK677		弦生土器	甕	(18.9)	(7.55)				
143	94	98		SK677		弦生土器	甕	(19.7)	(23.2)	* (24.8)			
144	94	99		SK677		弦生土器	高环(脚部)	(38.6)	(9.8)				
145	94	99		SK677		弦生土器	高环(脚部)		(14.35)	(15.05)			
146	94	99		SK677		弦生土器	台付甕(台部)		(6.95)	10.7			
147	94	99	南半	SK690		弦生土器	甕(底部)	(3.7)	(5.5)				
148	94	99		SK690		弦生土器	甕(底部)	(8.27)	8.35				
149	94	99		SK690		弦生土器	甕(体部)	(30.15)	8.5				
150	95	100		SK690		弦生土器	広口壺	21.6	44.2	11.0			
151	95	100		SK690		弦生土器	甕	13.8	31.25	* 27.5			
152	95	100		SK690		弦生土器	甕(口縁部)	(14.0)	(5.0)				
153	95	100		SK690		弦生土器	甕	(17.0)	(14.05)	* (19.0)			
154	95	100		SK690		弦生土器	甕		(20.9)	* (17.5)			
155	95	100	南半	SK690		弦生土器	甕(口縁部)	(21.1)	(5.1)				
156	95	100		SK690		弦生土器	甕	(24.8)	(31.0)	8.6			
157	96	101		SK690		弦生土器	甕(底部)	(4.9)	(8.0)				
158	96	101		SK690		弦生土器	甕(底部)		(5.1)				
159	96	101		SK690		弦生土器	甕(底部)		(9.3)	(6.0)			
160	96	101		SK690		弦生土器	甕(底部)		(10.5)	(6.15)			
161	96	102		SK761		弦生土器	高环	(14.3)	14.3	10.1			
162	96	101	南	SK768		弦生土器	甕	(15.6)	(7.95)				
163	96	101		SK768		弦生土器	甕(口縁部)	(17.6)	(3.85)				
164	96	101		SK768		弦生土器	甕(足部)		(3.1)	(6.4)			
165	96	101	北	SK768		弦生土器	甕(体部)			(5.05)	(6.0)		
166	96	101	南	SK768		弦生土器	椭圓瓶(脚部) ?		(8.5)				
167	96	101		SK783		弦生土器	甕(底部)		(2.7)	(7.0)			
168	96	101		SK876		弦生土器	甕(口縁部)	(29.7)	(3.05)				
169	96	101		SK905	1号	弦生土器	甕(口縁部)	(10.8)	(2.5)				
170	96	101		SK905	1号	弦生土器	甕(底部)		(5.2)	(9.2)			
171	96	101		SK967		弦生土器	甕(口縁部)	(24.3)	(1.8)				
172	96	101		SX992	北岬	弦生土器	甕(口縁部)	(24.9)	(2.15)				
173	96	101		SX992	棺内	弦生土器	高环(脚部)			(3.85)	(9.7)		
174	96	101		SX992	棺内方	弦生土器	甕(底部)		(3.3)	(5.0)			
175	96	101		SK994	棺内	弦生土器	広口壺(口縁部)	(15.1)	(2.3)				
176	96	101		SK994	棺内	弦生土器	甕(底部)		(2.9)	(11.7)			
177	96	101		SK994		弦生土器	甕(底部)			(4.15)	(6.5)		
178	97	102		SX1004	2区 - 5cm - 10cm	弦生土器	広口壺(口縁部)	(17.8)	(6.65)				
179	97	102		SK1009	下層	弦生土器	広口壺(口縁部)	(18.9)	(5.35)				
180	97	102		SX1008	1-4回窓	弦生土器	広口壺(体部)		(19.0)	* (45.0)			
181	97	102		SX1008	2-3回窓	弦生土器	甕	(12.6)	4.8				
182	97	102		SK1004	棺内埋土	弦生土器	甕	(14.4)	(10.5)				
183	97	103		SX1004	北岬	弦生土器	杯	(6.8)	4.5				
184	97	103		SX1004	北岬	弦生土器	不明(脚部)		(6.75)	(9.0)			
185	97	102		SX1004	床面	弦生土器	甕(底部)		(6.45)	(6.6)			
186	97	102		SK1007		弦生土器	甕(底部)		(4.45)	(7.0)			
187	97	103		SK1045	北堀	弦生土器	広口壺	(21.6)	(11.3)				
188	97	102		SK1045	覆土	弦生土器	甕(底部)		(5.3)	(9.0)			
189	97	102		SK1099	南半	弦生土器	広口壺(口縁部)	(15.6)	(2.25)				
190	97	102		SK1099	北岬	弦生土器	広口壺(口縁部)	(12.2)	(3.4)				
191	97	102		SK1099	北半	弦生土器	高環(脚部)		(13.6)	(6.1)			
192	97	102		SK1099	南半	弦生土器	甕(口縁部)	(12.7)	(2.35)				
193	98	103		SK1081	北岬	弦生土器	高环(脚部)	(18.2)	(1.8)				
194	98	103		SK1081	北岬	弦生土器	台付甕(台部) ?			(6.85)			
195	98	104		SX1089	4区	弦生土器	広口壺(口縁部)	(15.4)	(3.8)				
196	98	103		SX1089	2区	弦生土器	甕(口縁部)	(19.9)	(1.3)				
197	98	103		SX1089	棺内埋土	弦生土器	甕(口縁部)	(21.15)	(4.0)				
198	98	104		SX1089	4区	弦生土器	高环(脚部) ?	(8.8)	9.3				
199	98	103		SX1089	南半	弦生土器	甕(底部) ?	(3.9)	(6.3)				
200	98	103		SX1089	南半	弦生土器	杯(口縁部)	(15.6)	(4.0)				
201	98	103		SK1099		弦生土器	甕(口縁部) ?	(17.4)	(6.5)				
202	98	103		SK1099		弦生土器	広口壺(口縁部)	(13.2)	(1.95)				
203	98	103		SX1101	被出前 - 5cm	弦生土器	甕(口縁部)	(23.7)	(3.8)				
204	98	103		SX1101	3区	弦生土器	甕(底部)	(3.0)		(5.5)			
205	98	104		SX1104	西半	弦生土器	広口壺	(15.4)	(7.7)				
206	98	104		SK1113	3号	弦生土器	広口壺(口縁部)	(27.6)	(4.6)				
207	98	104		SK1113		弦生土器	広口壺(体部)		(9.5)	* (28.4)			
208	98	104		SP1113	4号	弦生土器	甕	(12.1)	(6.1)				
209	98	104		SK1113	西半	弦生土器	甕(口縁部)	(14.9)	(3.6)				

第13表 掘藏遺物一覧 土器類（4）

番号	固有	文真	地区	出土遺物	層位	種別	器種	法算(cm)					重(g)
								口径	器高	底径	幅	厚	
210	98	104		SK1113	2層	泥生土器	甕(口縫部)	(15.4)	(2.8)				
211	98	104		SK1113		泥生土器	瓶形壺	(17.2)	(4.2)				
212	98	104		SK1113	5層	泥生土器	壺(底部)		(3.85)	(8.0)			
213	99	104		SK1113		泥生土器	甕		(10.6)	6.5			
214	99	105		SK1113		泥生土器	甕(底部)		(4.4)	(6.2)			
215	99	105		SP1113	4層	泥生土器	甕(底部)	(3.15)	5.4				
216	99	105		SK1115		泥生土器	甕(口縫部)	(13.9)	(2.95)				
217	99	105		SK1115		泥生土器	匁(口縫部)	(21.6)	(6.3)				
218	99	105		SK1115		泥生土器	甕(口縫部)	(25.4)	(4.1)				
219	99	105		SK1115		泥生土器	壺(底部)		(3.4)	(5.0)			
220	99	105		SK1115		泥生土器	甕(底部)		(5.5)	(6.0)			
221	99	105		SK1258		泥生土器	匁(口縫部)	(17.6)	(5.9)				
222	99	106		SK1258	下層	泥生土器	匁(口縫部)		17.1	(6.9)			
223	99	105		SK1258	下層	泥生土器	甕(口縫部)	(20.6)	(1.8)				
224	99	105		SK1258		泥生土器	甕	(16.0)	(7.65)				
225	99	105		SK1258		泥生土器	匁(体部)		(8.9)	♦ (28.95)			
226	99	106		SK1258	下層	泥生土器	高环(脚部)		(4.75)	(16.8)			
227	99	105		SK1290	一段下汎	泥生土器	匁(口縫部)	(21.7)	(1.35)				
228	100	106		SK1258		泥生土器	甕	(28.4)	(6.8)	♦ (32.2)			
229	100	106		SK1344		泥生土器	甕(口縫部)	(25.2)	(2.3)				
230	100	106		SK1344		泥生土器	甕(底部)		(3.15)	(6.2)			
231	100	106		SK1363	昭1層	泥生土器	甕合?		(6.75)				
232	100	106		SK1383	昭1層	泥生土器	甕(底部)		(5.4)	(6.4)			
233	100	106		SK1383		泥生土器	甕(底部)		(3.3)	5.65			
234	100	106		SK1420	南手	泥生土器	高环		(17.45)	(4.05)			
235	100	106		SK1492		泥生土器	匁(口縫部)	(19.6)	(1.8)				
236	100	106		SK1492		泥生土器	不規?		(14.4)	(2.5)			
237	100	106		SK1498		泥生土器	甕(口縫部)	(25.6)	(3.0)				
238	101	108		SP1696	全觀	泥生土器	匁(口縫部)	(15.7)	(7.6)				
239	101	108		SP1697	柱底	泥生土器	匁(脚部)		(9.05)	13.8			
240	101	107		SP1697	柱底	泥生土器	匁(口縫部)	(22.0)	(11.0)				
241	101	107		SK1708		泥生土器	匁(口縫部)	(16.0)	(6.7)				
242	101	107		SK1708		泥生土器	匁(口縫部)		(11.9)				
243	101	107		SK1708		泥生土器	匁(口縫部)		(21.4)	(11.9)			
244	101	107		SK1708		泥生土器	匁(口縫部)	(24.3)	(9.45)				
245	101	108		SK1708	1層	泥生土器	短腹甕(口縫部)	(10.9)	(4.7)				
246	101	108		SK1708	3層	泥生土器	匁(口縫部)	(17.7)	(5.0)				
247	102	108		SK1708	2層	泥生土器	匁(体部)		(17.4)	♦ (58.8)			
248	102	108		SK1708		泥生土器	甕(底部)			(26.8)	(12.4)		
249	102	109		SK1708	1層	泥生土器	甕(口縫部)	(17.5)	(5.0)				
250	102	109		SK1708	3層最下層	泥生土器	甕(口縫部)	(18.0)	(4.1)				
251	102	109		SK1708		泥生土器	甕(口縫部)	(17.4)	(4.15)				
252	102	109		SK1708		泥生土器	甕(口縫部)	(15.6)	(4.15)				
253	102	109		SK1708	1層	泥生土器	甕(口縫部)	(23.7)	(4.0)				
254	102	108		SK1708		泥生土器	甕	(14.4)	22.9	♦ (7.0)			
255	103	109		SK1708	3層最下層	泥生土器	高环(坏部)?	(25.0)	(5.0)				
256	103	109		SK1708		泥生土器	匁		(24.5)	(6.3)			
257	103	109		SK1708	2層	泥生土器	匁(底部)		(4.5)	9.95			
258	103	109		SK1708	3層最下層	泥生土器	匁(底部)		(5.6)	(8.65)			
259	103	110		SK1708		泥生土器	甕(底部)		(12.0)	(9.85)			
260	103	109		SK1708		泥生土器	甕(底部)		(5.5)	(7.2)			
261	103	109		SK1708	3層最下層	泥生土器	甕(底部)		(5.5)	(7.35)			
262	103	109		SK1708	3層	泥生土器	甕(底部)		(4.1)	6.6			
263	103	109		SK1708	3層最下層	泥生土器	甕(底部)		(4.9)	(5.2)			
264	103	109		SK1708	3層	泥生土器	甕(底部)		(4.6)	(5.6)			
265	103	110		SK1708	3層最下層	泥生土器	高环(脚部)		(12.2)	(15.1)			
266	103	110		SK1719		泥生土器	匁(口縫部)	(17.2)	(4.5)				
267	103	110		SK1719		泥生土器	甕	(13.6)	(12.5)	(18.6)			
268	103	110		SK1719		泥生土器	甕(底部)		(5.05)	(8.0)			
269	103	110	A区	SX3038		泥生土器	匁(体部)		(26.4)	♦ (30.1)			
270	104	111	B区	SK2093		泥生土器	匁	(29.6)	(9.0)				
271	104	111	B区	SK2093		泥生土器	匁(体部)		(6.0)				
272	104	111	A区	SX2211		泥生土器	甕(底部)		(8.9)	(5.4)			
273	104	111	B区	SK2233		泥生土器	甕(口縫部)	(17.3)	(3.0)				
274	104	111	B区	SK2263		泥生土器	甕(口縫部)		(4.75)				
275	104	111	B区	SK2412	黒灰色シット	泥生土器	甕(底部)		(5.15)	11.7			
276	104	111	B区	SK2467		泥生土器	甕	(15.45)	(13.6)	♦ (20.8)			
277	104	111	B区	SK2467		泥生土器	甕	(11.2)	20.7	5.2			
278	104	111	B区	SK2467		泥生土器	甕	(12.75)	(7.0)	♦ (13.2)			
279	104	111	B区	SK2467		泥生土器	甕(底部)		(3.9)	6.45			

第13表 掘載遺物一覧 土器類（5）

番号	固有	文 真	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 形	法 尺 (cm)					重 (g)
								口径	器高	底径	幅	厚	
280	104	112	B区	SK2071		泥生土器	広口壺 (口縫部)	(19.4)	(7.5)				
281	104	111	B区	SK2471		泥生土器	広口壺 (口縫部)	(17.8)	(2.0)				
282	104	112	B区	SK2471		泥生土器	広口壺	(15.8)	(25.3)	■(25.5)			
283	105	113	B区	SK2471		泥生土器	甕	(16.1)	(17.35)	■(34.2)			
284	105	113	B区	SK2471		泥生土器	広口壺 (口縫部)	(22.0)	(2.85)				
285	105	112	B区	SK2471		泥生土器	甕	(13.8)	22.5	6.15			
286	105	112	B区	SK2471		泥生土器	甕 (底部)		(7.2)	(9.7)			
287	105	113	B区	SK2471		泥生土器	甕 (底部)		(4.85)	6.2			
288	105	113	B区	SK2471		泥生土器	甕 (底部)		(3.5)	7.95			
289	105	112	B区	SK205	土器類 (?)	褐色砂 (擦面)	泥生土器	広口壺 (体部)	(20.8)	8.2			
290	105	113		SK005	南半	泥生土器	甕	(12.25)	(6.3)				
291	105	113		SK005	北半	泥生土器	甕 (底部)		(2.8)	(5.6)			
292	105	113		S066 (万形縫部1)	上層	泥生土器	縫形	(13.4)	(8.3)				
293	105	113		S066 (万形縫部1)	下層	泥生土器	広口壺 (口縫部) ?	(20.8)	(3.2)				
294	105	113		S066 (万形縫部1)	褐色砂	泥生土器	甕	(17.7)	(4.5)				
295	105	113		S066 (万形縫部1)	褐色砂	泥生土器	甕	(30.4)	(8.9)				
296	106	114		S066 (万形縫部1)		泥生土器	甕 (底部)		(6.0)	9.9			
297	106	114		S066 (万形縫部1)	一段下	泥生土器	甕 (底部)		(7.15)	(7.95)			
298	106	114		S066 (万形縫部1)	二段下	泥生土器	甕 (底部)		(5.6)	6.3			
299	106	114		SD100	北端部	堆土	泥生土器	広口壺 (口縫部)	(17.1)	(4.2)			
300	106	114		SD100	北端部	堆土	泥生土器	広口壺 (口縫部)	(18.2)	(2.3)			
301	106	114		SD100	北端部	堆土	泥生土器	広口壺 (縫部)		(5.7)			
302	106	114		SD100	北端部	堆土	泥生土器	広口壺 (縫部)		(7.8)			
303	106	114		SD100	北端部	堆土	泥生土器	広口壺 (口縫部)	(14.7)	(3.85)			
304	106	114		SD100	北端部	堆土	泥生土器	広口壺 (口縫部)	(24.2)	(2.95)			
305	106	116		SD100	北端部	堆土	泥生土器	広口壺 (口縫部)	(30.6)	(8.2)			
306	106	116		SD100	北端部	堆土	泥生土器	甕 (体部)		(9.5)			
307	106	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	広口壺	(12.25)	(11.15)			
308	106	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	甕 (口縫部)	(15.65)	(5.4)			
309	106	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	甕	(33.35)	(7.9)	■(13.3)		
310	106	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	甕 (縫部)	(18.9)	(5.3)	■(18.8)		
311	106	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	甕 (口縫部)	(24.6)	(4.45)			
312	106	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	甕 (口縫部)	(29.6)	(5.0)			
313	106	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	甕 (底部)		(4.7)	(8.5)		
314	107	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	高环 (縫部)		(5.6)	(14.2)		
315	107	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	高环 (縫部)		(5.8)	(16.5)		
316	107	115		SD100	北端部	堆土	泥生土器	高环 (縫部)	(10.85)	(21.4)			
317	107	115		SD007		泥生土器	広口壺		(10.0)	(5.5)			
318	107	116		SD007		泥生土器	広口壺 (口縫部)		(14.4)	(5.0)			
319	107	116		SD007	東半	泥生土器	広口壺 (体部)		(14.7)	■(26.0)			
320	107	116		SD007	東半	泥生土器	高环 (縫部)		(10.3)				
321	107	116		SD007	東半	泥生土器	高环 (縫部)		(14.7)	(12.9)			
322	107	116	A区	SD1042	北半	2号	泥生土器	広口壺 (口縫部)	(23.2)	(6.4)			
323	107	116	A区	SD1042	北半	2号	泥生土器	広口壺 (口縫部)	(11.9)	(7.25)			
324	107	117	A区	SD1042	北半	2号	泥生土器	広口壺 (体部)		(34.2)	12.4		
325	108	117	A区	SD1042	北半	2号	泥生土器	甕 (口縫部)	(15.85)	(4.7)			
326	108	117	A区	SD1042	北半	2号	泥生土器	甕 (底部)	(27.9)	(11.0)	■(30.2)		
327	108	117	A区	SD1042	北半	2号	泥生土器	甕 (底部)		(9.3)	(12.6)		
328	108	117	A区	SD1042	北半	2号	泥生土器	高环		(13.6)			
329	108	117	A区	SD1042	北半	2号	泥生土器	高环 (底部)		(5.75)	6.15		
330	108	117	B区	SD094	洋芋形縫部2		泥生土器	甕 (底部)		(9.95)	(14.0)		
331	108	117	B区	SD094	洋芋形縫部2		泥生土器	甕 (底部)		(5.3)	(13.4)		
332	108	118	B区	SD1091	万形縫部2		泥生土器	広口壺 (口縫部)	(15.1)	(2.45)			
333	108	118	B区	SD1091	万形縫部2		泥生土器	広口壺 (縫部)		(5.3)			
334	108	118	B区	SD1091	万形縫部2		泥生土器	盆	(19.0)	(6.85)	■(19.8)		
335	108	118	B区	SD1091	万形縫部2		泥生土器	高环	(19.4)	(12.95)	(12.8)		
336	108	118	B区	SD1091	万形縫部2		泥生土器	高环 (縫部)		(5.75)	(14.4)		
337	108	118	B区	SD2202	東半	泥生土器	甕 (口縫部)	(17.4)	(4.5)				
338	109	118	B区	SD2222		泥生土器	甕 (口縫部)	(24.8)	(5.25)				
339	109	119	B区	SD2258	万形縫部2	側面凹～10cm	泥生土器	甕 (口縫部)	(12.4)	(3.7)			
340	109	118	B区	SD2258	万形縫部2	側面凹	泥生土器	甕 (底部)		(14.3)	8.0 ■(18.2)		
341	109	119	B区	SD2258	万形縫部2	側面凹～10cm	泥生土器	甕	(22.5)	(8.8)			
342	109	119	B区	SD2258	万形縫部2	側面凹～10cm	泥生土器	甕	(25.6)	(7.75)			
343	109	119	B区	SD2258	万形縫部2	側面凹	泥生土器	甕 (底部)		(6.7)	(5.3)		
344	109	119	B区	SD2258	万形縫部2	側面凹	泥生土器	高环 (底部)	(16.8)	(3.4)			
345	109	118	B区 南端	SD2458		下端色小塊	泥生土器	縫形	(5.4)	(9.8)			
346	109	119	B区 南端	SD2458		下端色小塊	泥生土器	甕 (口縫部)	(19.7)	(2.85)			
347	109	119	B区 南端	SD2458		下端色小塊	泥生土器	甕	(21.2)	(6.95)			
348	109	119	B区 南端	SD2458		下端色小塊	泥生土器	甕 (口縫部)	(22.6)	(3.9)			
349	109	119	B区 南端	SD2458		下端色小塊	泥生土器	甕 (口縫部)	(27.1)	(4.3)			

第13表 掘載遺物一覧 土器類（6）

番号	部類	文真	地区	出土遺物	層位	種別	器種	法算 (cm)					重(g)		
								口径	器高	底径 ■=腹径	長	幅	厚		
350	109	119	B区 南端	SD2458	下層 黄色小腰 -柄部	陶生土器	甌(底部)		(5.25)	(10.25)					
351	109	119	B区 南端	SD2458	下層 黄色小腰 -柄部	陶生土器	甌(底部)		(7.05)	(14.15)					
352	110	120	B区 南端	SD2507	束腰 中・下層	陶生土器	甌(口縁部)	(19.1)	(7.6)						
353	110	120	B区 南端	SD2507	束腰 中・下層	陶生土器	甌(口縁部)	(18.8)	(6.9)						
354	110	120	B区 南端	SD2507	束腰 中層	陶生土器	甌(口縁部)	(19.4)	(8.2)						
355	110	120	B区 南端	SD2507	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(18.8)	(11.0)						
356	110	120	B区 南端	SD2507	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(17.2)	(4.35)						
357	110	120	B区 南端	SD2507	下層 砂覆	陶生土器	甌形甌	(4.9)	(20.1)	■ (19.9)					
358	110	120	B区 南端	SD2507	上・中層	陶生土器	甌	18.0	27.0		6.0		18.5		
359	110	121	B区 南東	SD2507	上層 砂覆	陶生土器	甌	25.5	35.6	■ (27.8)	8.0				
360	110	121	B区	SDB00-2506 合流	下層 -砂覆	陶生土器	甌(体部)	(9.3)			6.85				
361	111	121	B区 南東	SD2507	中・上層 (砂覆) 119	陶生土器	甌(底部) ?	(6.0)			5.5				
362	111	120	B区 南端	SD2507	下層 砂覆	陶生土器	甌(底部)	(6.0)			6.6				
363	111	121	B区 南端	SD2507	下層 砂覆	陶生土器	台付甌(台部)	(8.1)	(9.0)						
364	111	120	B区 南西	SD2519	下層	陶生土器	甌(口縁部)	(27.2)	(2.2)						
365	111	120	B区 北端	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部) ?	(23.9)	(2.1)						
366	111	121	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部) ?	(40.4)	■ (30.1)	7.05	■ 22.5				
367	111	121	B区	SD100	中層	陶生土器	甌口甌	(19.1)	35.2						
368	112	122	B区	SDB00	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(16.3)	(7.2)						
369	112	122	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部)	(15.45)	(4.9)						
370	112	122	No. 11-12	SDB00	屢土	陶生土器	甌(口縁部)	(8.8)	(2.85)						
371	112	122	No. 9-10	SDB00	埋土	陶生土器	甌(口縁部)	(19.4)	(2.05)						
372	112	122	No. 12-13	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部)	(21.6)	(6.35)						
373	112	122	A区	SDB00	北半	陶生土器	甌(口縁部)	(21.0)	(8.4)						
374	112	122	B区 北半	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部)	(15.0)	(7.0)						
375	112	122	B区 北端	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部)	(17.6)	(3.9)						
376	112	122	B区 北端	SDB00	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(22.2)	(8.05)						
377	112	122	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(体部)	(44.2)	(10.3)	■ (37.4)					
378	112	123	A区	SDB00	北半	陶生土器	甌(体部)	(5.6)							
379	112	123	No. 9-10	SDB00	屢土	陶生土器	甌(体部)	(2.9)							
380	112	123	No. 9-4-10	SDB00	埋土	陶生土器	甌(体部)	(5.6)							
381	113	123	B区 北端	SDB00	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(28.6)	(12.4)						
382	113	123	SDB00	中層	陶生土器	甌(口縁部)	(20.05)	(19.8)							
383	113	123	B区 北端	SDB00	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(19.45)	(14.85)						
384	113	123	No. 11-12	SDB00	埋土上部	陶生土器	甌(口縁部)	(15.7)	(4.3)						
385	113	123	B区 北端	SDB00	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(18.3)	(7.35)						
386	113	123	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部)	(22.4)	(10.4)						
387	113	124	No. 10-11	SDB00	埋土	陶生土器	甌(口縁部)	(16.2)	(6.4)						
388	113	124	No. 10-11	SDB00	埋土	陶生土器	甌(口縁部)	(21.0)	(5.6)						
389	113	124	No. 11-12	SDB00	埋土上部	陶生土器	甌(口縁部)	(21.6)	(6.35)						
390	113	123	A区	SDB00	北半	陶生土器	甌(口縁部)	(32.2)	(9.45)						
391	113	124	No. 10-11	SDB00	埋土	陶生土器	甌(底部)	(6.6)							
392	113	123	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部)	(16.6)	(10.8)						
393	114	124	A区	SDB00	北半	陶生土器	甌(口縁部)	(17.5)	(3.6)						
394	114	124	A区	SDB00	粘土ライン1号	陶生土器	甌(口縁部)	(18.9)	(7.6)						
395	114	124	No. 11-12	SDB00	埋土上部	陶生土器	甌(口縁部)	(23.8)	(8.4)						
396	114	125	No. 9-5-10	SDB00	埋土上部	陶生土器	甌(口縁部)	(16.1)	(2.8)						
397	114	125	A区	SDB00	北半	陶生土器	甌(口縁部)	(24.95)	(11.45)						
398	114	125	B区	SDB00	中層	陶生土器	甌(底部)	(10.85)	(10.9)						
399	114	125	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(底部)	(13.5)	(7.6)						
400	114	125	No. 12-13	SDB00	上層	陶生土器	甌(底部)	(15.2)	(6.9)						
401	114	125	No. 12-13	SDB00	上層	陶生土器	甌(底部)	(8.5)							
402	114	125	B区 北端	SDB00	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(17.7)	(5.9)						
403	114	125	A区	SDB00	北半	陶生土器	甌(底部)	(15.3)	(5.6)						
404	115	125	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(底部)	(14.2)	(25.3)						
405	115	125	B区	SDB00	中・上層	陶生土器	甌(底部)	(19.3)	(20.2)						
406	115	126	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(底部)	(30.4)	(12.7)						
407	115	126	A区	SDB00	北半	陶生土器	甌(口縁部)	(31.0)	(10.8)						
408	116	126	A区	SDB00	北半	陶生土器	甌(口縁部)	(11.3)	(4.2)						
409	116	126	B区	SDB00	中・上層	陶生土器	甌(口縁部)	(16.6)	(10.6)						
410	116	126	No. 12-13	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部)	(15.9)	(4.6)						
411	116	126	No. 9-10	SDB00	埋土	陶生土器	甌(口縁部)	(19.4)	(2.85)						
412	116	126	B区	SDB00	上層	陶生土器	甌(口縁部)	(20.2)	(8.5)						
413	116	127	B区	SDB00	下層	陶生土器	甌(口縁部)	8.9	(11.35)	■ (14.15)					
414	116	127	B区	SDB00	中層	陶生土器	甌	9.05	15.75	4.7	■ 12.6				
415	116	127	B区	SDB00	下層 砂覆層	陶生土器	甌	11.15	20.7	5.8	■ 15.95				
416	116	126	B区 北端	SDB00	上・中層	陶生土器	甌	(17.5)	(5.95)						
417	116	127	B区	SDB00	中・上層	陶生土器	甌(底部)	(9.65)							
418	116	127	B区	SDB00	中層	陶生土器	甌(底部)	(11.0)	5.7	■ (14.9)					
419	116	127	B区	SDB00	上・中層	陶生土器	甌(口縁部)	(12.5)							

第13表 掘藏遺物一覧 土器類（7）

番号	部	文	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 形	法 算 (cm)					重 (g)
								口径	器高	底径 ■ = 肩径	長	幅	厚
420	116	127	B区	SD100 東前	上層	弦生土器	壺(体部)		(27.9)	7.7			
421	117	128	A区	SD100 南半		弦生土器	壺(口縫部)	(18.7)	(3.95)	■26.6			
422	117	128	No. 11-12	SD100		弦生土器	壺(口縫部)			(4.7)			
423	117	128	B区	SD100	中層	弦生土器	壺	(23.1)	(8.35)				
424	117	128	B区 北	SD100	上層	弦生土器	壺(口縫部)	(17.5)	(6.05)				
425	117	128	No. 10	SD100		弦生土器	壺(口縫部)	(23.4)	(4.3)				
426	117	128	B区	SD100		弦生土器	壺(口縫部)	(29.8)	(8.9)	■(29.6)			
427	117	128	B区	SD100	上・中層	弦生土器	壺(口縫部)	(19.5)	(5.65)				
428	117	128	B区 北端	SD100	上・中層	弦生土器	壺(口縫部)	(17.9)	(6.1)				
429	117	128	B区 南端	SD100	中層	弦生土器	壺	(19.3)	(7.75)	■(17.8)			
430	117	128	B区	SD100	上層	弦生土器	壺	(16.6)	(10.25)	■(16.6)			
431	117	128	SP223	柱頭		弦生土器	壺(口縫部)	(30.5)	(2.95)				
432	117	128	B区 北半中央	SD100 道面		弦生土器	壺	(20.7)	(7.55)				
433	117	128	No. 10-11	SD100	埋土	弦生土器	壺(口縫部)	(28.45)	(4.25)				
434	117	128	B区 北端	SD100	上・中層	弦生土器	壺(口縫部)	(26.6)	(6.7)				
435	117	128	B区 北端	SD100		弦生土器	壺(口縫部)	(31.3)	(6.75)				
436	117	128	A区	SD100 北半		弦生土器	壺(口縫部)	(19.3)	(5.0)				
437	117	128	No. 9+4-10	SD100		弦生土器	壺	(15.8)	(9.15)	■(18.6)			
438	118	129	B区 北端	SD100	上層	弦生土器	壺(口縫部)	(28.6)	(5.95)				
439	118	129	B区	SD100	上層	弦生土器	壺(口縫部)	(32.2)	(6.3)				
440	118	130	B区	SD100 中	上・中層	弦生土器	壺	(30.0)	(10.2)	■(35.6)			
441	118	130	B区	SD100 下層		弦生土器	壺	(43.2)	(21.1)	■(48.2)			
442	118	129	B区	SD100 上層		弦生土器	壺	(42.8)	(14.75)	■(47.9)			
443	119	129	A区	SD100 南半		弦生土器	壺(口縫部)	(14.45)	(5.1)				
444	119	129	No. 9+4-10	SD100	埋土	弦生土器	壺(口縫部)	(14.1)	(6.35)				
445	119	129	B区 北	SD100	上層	弦生土器	壺	(14.6)	(7.85)				
446	119	129	A区	SD100 北半		弦生土器	壺(口縫部)	(14.9)	(4.0)				
447	119	129	A区	SD100 南半		弦生土器	壺(口縫部)	(9.7)	(4.5)				
448	119	129	No. 9-10	SD100	埋土	弦生土器	壺(口縫部)	(14.8)	(5.3)	■(14.6)			
449	119	129	No. 9-10	SD100		弦生土器	壺	(22.0)	(8.3)				
450	119	129	No. 9+4-10	SD100		弦生土器	壺(口縫部)	(28.15)	(4.55)				
451	119	130	B区 北端	SP223(SD100上層)		弦生土器	壺(底部)			(8.6)	9.8		
452	119	130	B区	SD100	下層	弦生土器	壺(底部)			(7.65)	8.7		
453	119	130	B区	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(6.95)	9.4		
454	119	130	B区	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(12.9)	9.4		
455	119	130	B区	SD100	上・中層	弦生土器	壺(体部)			(26.55)	(13.6)		
456	120	131	B区	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(7.1)	6.3		
457	120	131	A区	SD100 南半		弦生土器	壺(底部)			(5.95)	6.45		
458	120	131	No. 12-13	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(4.95)	5.55		
459	120	131	B区	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(6.5)	5.75		
460	120	131	B区	SD100 南端附	3号	弦生土器	壺(底部) ?			(5.7)	7.0		
461	120	131	B区 北	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(5.95)	7.65		
462	120	131	B区 北端	SP223(SD100上層)		弦生土器	壺(底部)			(3.95)	6.0		
463	120	131	No. 11-12	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(6.0)	4.4		
464	120	131	A区	SD100 南半		弦生土器	壺(底部)			(5.95)	6.55		
465	120	131	B区	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(10.5)	6.1		
466	120	131	B区 北端	SD100	上層	弦生土器	壺(底部)			(7.75)	7.95		
467	120	131	B区 北	SD100	上・中層	弦生土器	壺(底部)			(10.1)	6.25		
468	120	132	B区	SP223(SD100上層)		弦生土器	杯(口縫部)	(29.7)	(7.2)				
469	120	132	No. 11-12	SD100	埋土上部	弦生土器	杯(口縫部)	(27.6)	(5.9)				
470	120	132	No. 12-13	SD100	上層	弦生土器	杯(体部) ?				(6.9)	(7.7)	
471	120	133	B区 北端	SD100	上・中層	弦生土器	杯	(30.9)	(15.15)				
472	120	133	No. 9+4-10	SD100		弦生土器	杯(口縫部)	(33.7)	(7.0)				
473	120	133	B区	SD100	上層	弦生土器	杯(底部) (底部)			(6.0)	12.2		
474	120	132	No. 11-12	SD100	上層	弦生土器	杯(底部)			(6.0)	(14.2)		
475	121	132	B区 北	SD100	上層	弦生土器	高环(坏部)	(24.4)	(6.1)				
476	121	132	No. 9+4-10	SD100	埋土	弦生土器	杯	(27.5)	(6.8)				
477	121	132	No. 9+6-10	SD100		弦生土器	杯	(25.8)	(8.8)	(27.0)			
478	121	132	A区	SD100 南半		弦生土器	無網密	(26.7)	(5.3)				
479	121	133	No. 10-11	SD100	埋土	弦生土器	杯	(31.3)	(12.1)				
480	121	132	A区	SD100 南半		弦生土器	杯(口縫部)	(39.65)	(6.35)				
481	121	133	B区 南端	SD100 研磨部	上面	弦生土器	高环(坏部)	(24.2)	(9.7)				
482	121	133	No. 10-11	SD100	埋土	弦生土器	高环(坏部)	(22.2)	(4.35)				
483	121	133	No. 9-10	SD100		弦生土器	杯	(26.9)	(7.3)				
484	121	133	No. 9-10	SD100	埋土	弦生土器	高环?	(33.0)	(5.1)				
485	121	133	B区 北端	SD100	上・中層	弦生土器	高环(脚部) ?	(6.5)	(6.8)				
486	121	133	B区 北端	SD100	上・中層	弦生土器	台形脚(台脚) ?	(4.1)	(9.8)				
487	121	133	No. 11-12	SD100	埋土上部	弦生土器	台形脚(台脚) ?	(4.7)	9.9				
488	121	134	B区	SD100	中層	弦生土器	高环(脚部)	(13.5)	(15.65)				
489	121	134	B区	SD100	下層 分離部	弦生土器	高环	(18.15)	10.8				

第13表 掘載遺物一覧 土器類（B）

番号	部	文	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 形	法 算 (cm)					重 (g)			
								口径	器高	底径 ●= 軸径	長	幅	厚			
490	122	134	B区	SD000	北部	泥生土器	高环(瓣部)	(12.45)	(15.6)							
491	122	134	B区	SD000	中層	泥生土器	台形(台面)	(12.6)	14.65							
492	122	134	No. 11~12	SD000	堆土上部	泥生土器	高环(瓣部)	(9.1)								
493	122	134	B区	SD000	上層	泥生土器	高环(瓣部)	(14.6)	(14.4)							
494	122	134	No. 9+4~10	SD000	堆土	泥生土器	高环(瓣部)	(9.6)								
495	122	134	No. 10+11	SD000	堆土	泥生土器	高环(瓣部)	(9.8)	(11.45)							
496	122	135	No. 11~12	SD000	堆土上部	泥生土器	高环(瓣部)	(3.8)	(17.6)							
497	122	135	No. 13~15	SD000	上層	泥生土器	高环(瓣部)	(5.1)	(17.15)							
498	122	135	No. 11~12	SD000	堆土	泥生土器	高环(瓣部)	(5.1)	(20.0)							
499	122	135	A区	SD000	北半	泥生土器	高环(瓣部)	(5.7)	(11.55)							
500	122	135	No. 9+6~10	SD000	堆土	泥生土器	台形(台面) ?	(4.4)	(9.8)							
501	122	135	No. 11~12	SD000	堆土上部	泥生土器	高环(瓣部)	(6.6)	(15.0)							
502	122	135	No. 10+11	SD000	堆土	泥生土器	高环(瓣部)	(2.4)	7.7							
503	122	135	No. 9~10	SD000	堆土	泥生土器	高环(瓣部)	(2.7)	(11.4)							
504	122	135	No. 9~10	SD000	堆土	泥生土器	高环(瓣部)	(7.15)	(16.4)							
505	122	135	No. 9+4~10	SD000	堆土	泥生土器	高环(瓣部)	(7.25)	(19.6)							
506	122	136	A区	SD000	南半	泥生土器	高	(3.6)								
507	122	136	No. 12~13	SD000	上層	泥生土器	高	(2.9)						つまみ形 2.3		
508	122	136	No. 9+4~10	SD000	堆土	泥生土器	高	(10.1)	3.1							
509	122	136	A区	SD000	南半	泥生土器	高	(8.6)	(1.9)							
510	122	136	B区	SD000	上層	泥生土器	高	(9.4)	3.0							
511	122	136	No. 11~12	SD000	上層	泥生土器	高	(8.7)	3.3							
512	122	134	No. 9+4~10	SD000	堆土	泥生土器	分側壓土製品			(8.75)	(5.25)	1.35				
513	122	134	B区	SD000	中~南	泥生土器	口沿(口縫)	(5.0)	(3.3)	●= (5.6)						
514	123	136	SP073	全壇	泥生土器	高环(瓣部) ?	(3.1)	(10.05)								
515	123	137	SP092	全壇	泥生土器	広口(口縫部)	(18.0)	(2.85)								
516	123	136	SP126	全壇	泥生土器	高(底部)	(3.7)	(7.7)								
517	123	136	SP212	全壇	泥生土器	高(底部) ?		(1.7)								
518	123	136	SP226	全壇	泥生土器	広口(底部) ?		(7.05)								
519	123	136	SP286	堆土	泥生土器	高(底部)		(3.4)								
520	123	136	SP288	堆土	泥生土器	広口(底部)	(11.6)	(6.8)								
521	123	136	SP290	堆土	泥生土器	高	(11.4)	(7.7)								
522	123	136	SP364	堆土	泥生土器	高(底部)		(4.95)	(9.55)							
523	123	136	SP401	完壇	泥生土器	高	(15.5)	(6.2)								
524	123	137	SP405	一段下げる	泥生土器	高环		(14.8)	(11.65)							
525	123	136	SX49	上層	泥生土器	高环(瓣部)	(13.8)	(1.75)								
526	123	136	SX49	上層	泥生土器	高(底部)		(4.3)	(6.2)							
527	123	137	SP460	全壇	泥生土器	高(底部)		(4.6)	(6.1)							
528	123	137	SP709	一段下げる	泥生土器	広口(底部)	(19.5)	(5.3)								
529	123	137	SP949	全壇	泥生土器	広口(底部)		(2.45)								
530	123	137	SP949	全壇	泥生土器	高(底部) ?		(11.35)								
531	123	137	SP1007	全壇	泥生土器	高环(底部)	(16.4)	(5.9)								
532	123	137	SP1127	全壇	泥生土器	高(底部)		(3.8)	(6.0)							
533	123	137	SP1278	一段下げる	泥生土器	台形(台面) ?		(3.9)								
534	123	137	SP1357	全壇	泥生土器	高环(底部)	(25.5)	(3.8)								
535	124	138	SP1366	完壇	泥生土器	高(底部)		(4.0)	(7.4)							
536	124	138	SP1393	完壇	泥生土器	広口(底部)	(21.6)	(1.05)								
537	124	138	SP1409	完壇	泥生土器	広口(底部)	(27.6)	(6.7)								
538	124	138	SP1410	完壇	泥生土器	広口(底部)	(15.7)	(3.5)								
539	124	138	SP1410	完壇	泥生土器	高(底部)	(19.1)	(1.4)								
540	124	138	SP4145	泥生土器	高(底部)		(7.1)	(4.8)								
541	124	137	SP4149	泥生土器	高(底部)		(12.6)	(25.7)	(7.8)							
542	124	137	SP4149	泥生土器	高(底部)		(12.0)	(4.2)								
543	124	137	SP4149	泥生土器	高(底部)		(4.6)	(5.8)								
544	124	138	SK1439	泥生土器	高(底部)		(3.25)	5.1								
545	124	138	A区	SP2902	全壇	泥生土器	高(底部)	(16.6)	3.15							
546	124	138	A区	SP2907	全壇	泥生土器	高(底部)	(22.8)	(4.75)							
547	124	138	A区	SP2921	泥生土器	高(底部)		(6.55)	(7.75)							
548	124	138	A区	SP2939	泥生土器	高(底部)		(4.9)	(6.4)							
549	124	138	A区	SP2938	泥生土器	広口(底部)	(16.6)	(1.95)								
550	124	138	A区	SP2907	前方	泥生土器	高(底部)		(3.95)	(11.0)						
551	124	138	A区	SP2951	柱頭	泥生土器	高环(底部)	(22.85)	(4.5)							
552	124	138	B区	SP2332	柱頭	泥生土器	高(底部)		(2.6)	5.7						
553	125	139	SH066	堆土	泥生土器	高	(30.7)	(9.25)								
554	125	139	SH019	南半	1層	泥生土器	広口(底部)	(17.4)	(1.8)							
555	125	139	SH019	4区	側面約～5cm	泥生土器	広(口縫部)	(27.9)	(5.35)							
556	125	139	SH019	4区	二段目 積砂	泥生土器	広(口縫部)	(28.8)	(2.7)	●= (29.9)						
557	125	139	SH019	南半	1層	泥生土器	高环(底部)	(3.1)	(16.0)							
558	125	139	SH019	北岸	2層	泥生土器	高(つまみ部)		(2.6)					つまみ形 2.8		
559	125	139	SH060			泥生土器	広口(底)	(8.95)	(15.1)	5.5 ●= (15.4)						

第13表 掘藏遺物一覧 土器類（9）

番号	部類	分類	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 形	法 線 (cm)					重 (g)			
								口径	器高	底径 ●= 肩径	長	幅	厚			
560	125	139		SH900		先生土器	袋		(23.1)	●(10.3)						
561	125	139		SH900		先生土器	壺		(9.0)	3.0						
562	125	139		SH900		先生土器	杯		23.4	15.3	8.4					
563	125	140		SH900内丸土 (北西)	1層直上	先生土器	台付鉢		(22.0)	(15.3)	9.35					
564	125	139		SH1088	下層	先生土器	壺 (底部)			(2.45)	(6.1)					
565	126	140		SH1105	1区	先生土器	壺 (口縁部)		(12.7)	(2.9)						
566	126	140		SH1105	1区	先生土器	杯 (口縁部)		(20.1)	(4.4)						
567	126	140		SH1105	2区	宋前粗陶	杯		(27.3)	(8.0)						
568	126	140		SH1105	1区	先生土器	壺 (底部)			(5.9)	(12.6)					
569	126	140	A区	SP2052	1段下付	先生土器	壺 (底部) ?			(6.5)						
570	126	140	A区	SH2033	2区北東隅	宋前粗土	先生土器	壺 (口縁部)		(20.7)	(18.55)					
571	126	140	A区	SH2033	2区	宋前粗陶	先生土器	壺		(15.8)	(5.35)					
572	126	140	A区	SH2033	2区	宋前粗陶	先生土器	壺		(18.6)	(6.45)					
573	126	140	A区	SH2033	2区	宋前粗陶	先生土器	壺 (底部) ?		(4.2)	(6.6)					
574	126	140	A区	SH2033	1区	宋前粗陶	先生土器	壺 (底部) ?		(4.15)	(14.4)					
575	126	140	A区	SH2033	2-3层間	先生土器	竹刷毛 (使用?)					2,80.7	4.45	4.6	1.45	
576	126	140		SX1004	1区	先生土器	口口壺 (口縁部)		(17.0)	(6.7)						
577	126	140		SX1004	2区	先生土器	口口壺 (口縁部)		(17.0)	(6.1)						
578	126	141		SX1004	4区	先生土器	壺 (口縁部)		(14.4)	(5.15)						
579	126	141		SX1004	4区	先生土器	壺		(21.65)	(4.8)						
580	126	141		SX1004	2区	先生土器	二ニチユア士器 (底部)			(2.5)	3.65					
581	126	141		SX1004	4区	先生土器	壺 (底部)			(5.0)	(5.9)					
582	126	141		SX1004	4区	先生土器	壺 (底部)			(5.8)	(13.8)					
583	127	141	A区	SK2001	北東	先生土器	壺 (体部)					(3.8)	(4.3)	0.5		
584	127	141	A区	SK2055	西半	上面付近	先生土器	台付鉢 (合部)		(13.8)	(12.4)					
585	127	141	B区	SK2599	南手	先生土器	口口壺 (口縁部) ?		(6.8)	(1.8)						
586	127	141	B区	SK2599	南手	先生土器	壺 (底部)			(8.1)	(11.7)					
587	127	141		SD41-142	西半	黃褐色砂	先生土器	刮削器 (口縁部)		(16.7)	(6.3)					
588	127	141		SP208	一段下付	先生土器	高环 (脚部)			(2.5)	(16.5)					
589	127	141		SP130	全周	先生土器	壺 (底部)			(3.4)	(5.3)					
590	127	141		SP153	全周	先生土器	壺 (底部)			(2.65)	(6.1)					
591	127	141		SP217	全周	先生土器	壺 (底部)			(3.2)	(9.2)					
592	127	141		SP225		先生土器	壺 (底部)			(3.75)	5.95					
593	127	141		SP280		先生土器	壺 (底部)			(11.0)	8.4					
594	127	141		SP261		先生土器	台付鉢 (合部) ?			(5.35)	(10.2)					
595	127	141		SP266	一段下付	先生土器	壺 (体部)			(2.4)						
596	127	142		SP277	全周	先生土器	壺 (口縁部)		(32.4)	(4.3)						
597	127	142		SP279	全周	先生土器	口口壺 (口縁部)		(27.8)	(4.4)						
598	127	142		SP282	全周	先生土器	壺 (底部)			(7.1)	(10.4)					
599	127	142		SP917	全周	先生土器	壺 (底部)			(6.9)	(12.0)					
600	127	142		SP948		先生土器	壺 (体部)					(3.35)	(2.72)	0.4		
601	127	142		SP1108		先生土器	壺 (底部)			(6.3)	(7.3)					
602	127	142		SP1431	一段下付	先生土器	壺 (口縁部) ?		(13.25)	(4.3)						
603	127	142		SP1522	全周	先生土器	口口壺 (口縁部)		(18.1)	(2.1)						
604	127	142		SP917	全周	先生土器	台付鉢 (合部) ?			(2.1)	(12.2)					
605	127	142		SP1140	全周	先生土器	壺 (底部)			(3.5)	(6.1)					
606	127	142		SP1601		先生土器	口口壺 (口縁部)		(25.2)	(3.0)						
607	127	142		SP1607		先生土器	壺 (底部)			(7.8)	(9.5)					
608	127	142		SP1607		先生土器	口口壺 (口縁部) ?		(14.8)	(9.2)						
609	128	143	B区	南面 トレンチ		先生土器	壺 (口縁部)			(19.1)						
610	128	143	A区	SD2092	下層	先生土器	口口壺 (口縁部)									
611	128	144	No. 14-15北東			精査面	先生土器	口口壺 (口縁部)		(16.7)	(2.15)					
612	128	143	B区	北東		含蓋面	先生土器	口口壺 (口縁部)		(17.2)	(5.7)					
613	128	144	B区	南東		黒褐色シルト	先生土器	刮削器 (口縁部)		(16.3)	(10.55)					
614	128	144	No. 11-12			3~4層	先生土器	刮削器 (口縁部)		(11.65)	(10.6)					
615	128	143	No. 7~8			溝内汚れ陶器	先生土器	口口壺 (口縁部)		(25.5)	(9.6)					
616	128	144	No. 7~9&10~中央			精査面	先生土器	刮削器 (口縁部)		(13.7)	(6.75)					
617	128	143	B区	北東		含蓋面	先生土器	刮削器 (体部) ?		(19.65)	●(36.8)					
618	128	144				精査面	先生土器	壺 (底部)		(6.4)	(7.0)					
619	128	143	B区	南面 トレンチ		精査面	先生土器	壺 (底部)		(10.3)	9.2					
620	129	144	No. 8~9			精査面	先生土器	口口壺 (口縁部)		(41.0)	(6.85)					
621	129	144	No. 12~13			精査面	先生土器	壺 (口縁部)		(22.8)	(6.7)					
622	129	144	No. 11~12			3~4層	先生土器	壺 (口縁部)		(24.2)	(3.5)					
623	129	144	No. 5~6			前層査	先生土器	壺 (口縁部)		(33.0)	(3.8)					
624	129	144	B区			精査面	先生土器	壺		(31.15)	(8.9)					
625	129	144	B区			含蓋面	先生土器	壺 (口縁部)		(30.9)	(5.45)					
626	129	144	No. 9~6~9			3~4層	先生土器	壺 (口縁部)		(15.4)	(4.7)					
627	129	144	B区	中央		下面	先生土器	壺 (口縁部)		(24.2)	(6.6)					
628	129	145	No. 5~6			裏面清	先生土器	壺		(14.2)	(30.5)	●(5.5)	●(16.2)			
629	129	145	No. 5(0)~10			サブトレ	先生土器	壺 (底部)		(4.3)	6.85					

第13表 掘載遺物一覧 土器類（10）

番号	固有 名	年 代	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 種	法 算 (cm)					重 (g)	
								口径	器高	底径 ■ = 頂径	長	幅	厚	
630	129	145	No. 5~6		縦剖面	泥生土器	甕 (底部)	(7.5)	6.4					
631	129	145	No. 4~5~5		縦剖面	泥生土器	甕 (底部)	(6.4)	8.0					
632	129	145	No. 5~6 西部		縦剖面	泥生土器	甕	(6.7)	3.15					
633	129	145	A区		縦剖面	泥生土器	甕	(10.7)	3.0					
634	129	145	B区 南西		縦剖面中段	泥生土器	甕	(8.4)	4.5					
635	129	145	No. 15~16+8	3~4層		泥生土器	甕	9.3	(2.25)					
636	130	146	No. 12~13 イン 東西トレンチ			泥生土器	把手付鉢	(30.25)	(8.5)					
637	130	146	No. 15~16+8		縦剖面	泥生土器	盆	(29.7)	(6.1)					
638	130	146	渓谷北			泥生土器	甕	(18.9)	(7.7)	■ (18.4)				
639	130	146	No. 5	由帶東西トレンチ		泥生土器	盆	(17.9)	14.6	(10.0)				
640	130	146	B区 西隅			泥生土器	甕 (底部)	(28.1)	(6.8)					
641	130	146	B区 北東		包含層 下面	泥生土器	高环 (环部)	(28.4)	(3.2)					
642	130	146	No. 13~14層	包含層 溝南側斜面		泥生土器	高环 (环部) ?		(6.75)					
643	130	146	B区			泥生土器	無環 (合部) ?		(10.3)	13.6				
644	130	146	B区			泥生土器	竹节脚 (合部) ?		(6.4)	(9.1)				
645	130	147	B区	大挖孔底部		泥生土器	高环 (脚部) ?		(5.7)	10.4				
646	130	147	No. 11~12層前半	柱脚 溝南側斜面		泥生土器	高环 (脚部)		(14.75)	(18.2)				
647	130	147	B区 南端	水田面		泥生土器	盆	(12.3)	(3.4)					
648	130	147	B区 南西端	水田土堆内		泥生土器	甕 (全体)		(4.6)					
649	130	147	B区 南端	水田面		泥生土器	盆		(3.7)					
650	130	147	B区 南西端	水田土堆内		泥生土器	甕 (口部部)		(15.0)	(1.9)				
651	130	147	B区 南端	水田面		泥生土器	甕 (口部部)		(17.6)	(4.5)				
652	130	147	B区 南端	水田面		泥生土器	盆		(3.9)	(11.0)				
653	130	147	B区 南端	水田面		泥生土器	甕 (底部)		(1.7)	(6.5)				
654	130	147	B区 南端	水田面		泥生土器	甕 (底部)		(3.7)	(6.0)				
655	130	147	B区 南西端	水田土堆内		泥生土器	甕 (底部)		(2.8)	(5.9)				
656	131	148	SH006 4区	砂質土 - 2cm 土堆表面部		灰土器	环茎		(2.25)					
657	131	148	SH006 1区	砂質土 - 10cm 土堆表面部		土師器	甕 (口部部)	(12.85)	(2.7)					
658	131	149	SH006 3区	米面		土師器	小罐	6.1	7.5	4.1 ■ 7.6				
659	131	148	SH006			土師器	高环 (脚部)		(6.3)	(7.4)				
660	131	148	SH006 3区			土師器	高环 (脚部)		(3.05)					
661	131	148	SP008 (SH006)	一段下F		土師器	高环 (脚部)		(2.45)	(8.95)				
662	131	148	SK006 (SH006)	埋土		土師器	高环 (脚部)		(7.4)	(10.4)				
663	131	149	SH007 4区			灰土器	环茎		(11.0)	4.2				
664	131	148	SH007 4区	米面稍含		灰土器	环茎		(10.3)	(3.6)				
665	131	148	SH007 1区	段下F 2回目 被削面 - 2~3cm		灰土器	环茎		(10.9)	(3.3)				
666	131	148	SH007 4区	二段下F ~ 1回目 被削面 - 2~3cm		灰土器	环茎		(4.5)	(3.65)				
667	131	149	SH007 4区			灰土器	环身		(11.0)	5.1				
668	131	148	SH007 4区			灰土器	环身		(11.9)	(3.3)				
669	131	148	SH007 4区	二段下F		灰土器	环身		(2.2)					
670	131	148	SH007 1区	二段下F ~ 1回目 土師器		土師器	高环 (环部)		(1.9)					
671	131	148	SH007 1区	二段下F ~ 1回目 土師器		土師器	甕 (肥脚部)							
672	131	148	SH005 3区	砂質土 - 2cm		土師器	甕 (口部部)		(10.65)	(3.95)				
673	131	148	SH005 3区	西岬	2等	土師器	甕 (口部部)		(18.15)	(4.7)				
674	131	149	SP007			土師器	甕	15.5	(19.7)	*23.9				
675	131	149	SH005 3区	被削面 - 5cm		土師器	片口盆	(28.1)	(8.5)					
676	131	149	SH005			土師器	甕	(26.8)	(16.25)	* (25.0)				
677	131	148	SH005 3区	被削面 - 5cm		土師器	甕		(5.8)					
678	131	148	SH005			灰土器	不明			(5.65)	(5.5)	0.75		
679	132	149	SH005			土師器	甕	(27.6)	(20.35)					
680	132	150	SH005 4区	被削面 - 5cm - 土面		土師器	高环 (环部)		(3.45)					
681	132	150	SH005			土師器	高环 (脚部)		(4.1)					
682	132	150	SH005 2区	被削面 - 5cm		土師器	高环 (脚部)		(2.2)	(13.8)				
683	132	149	SP004			土師器	高环 (脚部)		(7.15)	(10.3)				
684	132	150	SH005 3区	被削面 - 5cm		土師器	高环 (脚部)		(6.6)					
685	132	150	SH005 4区	被削面 - 5cm		土師器	环茎		(12.5)	(3.8)				
686	132	150	SH005 4区	被削面 - 5cm		土師器	甕 (口部部)		(19.8)	(2.25)				
687	132	150	SH007 4区	被削面 - 5cm		土師器	甕 (脚部)		(4.15)	(17.7)				
688	132	150	SH007 2区	一段下F		土師器	高环 (脚部)		(3.45)					
689	132	150	SH007 (SH206内)			土師器	甕	(16.6)	(5.05)					
690	132	149	SH005 1区			土師器	甕	15.4	(28.75)	* (31.4)				
691	132	150	SH007 (SH206内)			土師器	甕 (底部) ?		(4.5)					
692	132	150	SH005 4区	- 5cm - 陶面		土師器	甕 (底部)		(3.2)	(5.0)				
693	132	150	SH005 3区	- 5cm - 陶面		土師器	高环 (环部)		(12.65)	(4.35)				
694	132	150	SH007 (SH206内)			土師器	高环 (脚部)		(15.5)	(4.4)				
695	132	150	SH005 3区	- 5cm - 陶面		土師器	高环 (脚部)		(2.1)					
696	132	150	SH005 3区	- 5cm - 陶面		土師器	高环 (脚部)		(5.85)					
697	132	149	SH007 (SH206内)			土師器	高环 (脚部)		(7.2)	(10.2)				
698	133	151	SH048			土師器	甕	9.4	13.85	丸底				
699	133	151	SH048			土師器	甕	(17.8)		丸底				

第13表 掘藏遺物一覧 土器類 (11)

番号	部	分類	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 形	法 尺 (cm)					重 (g)	
								口径	器高	底径 ■=腹径	長	幅	厚	
700	133	151		SH438		土師器	高环(坏部)	13.9	(4.95)					
701	133	151		SH438		土師器	瓶(把手部)							
702	133	151		SH438		土師器	甕		(27.8)	■(25.6)				
703	133	151	SH800	4区	二段下付	灰陶器	环甕	(11.8)	4.0					
704	133	151	SH800	3区	側面削一痕下付	灰陶器	环甕	(12.5)	(4.6)					
705	133	151	SH800	3区		灰陶器	环甕	(12.9)	(5.6)					
706	133	151	SH800	3区	朱面	灰陶器	环甕		(2.9)					
707	133	151	SH800	2区	二段下付	灰陶器	环甕	(12.9)	(3.1)					
708	133	151	SH800	3区		灰陶器	环甕	(11.4)	(4.45)					
709	133	151	SH800	3区	朱面	灰陶器	甕?	(16.7)	(2.7)					
710	133	151	SH800	1区	側面削一痕下付	灰陶器	高环(坏部)	(17.9)	(5.55)					
711	133	152	SH800	3区		灰陶器	高环(坏部)	(16.3)	(6.8)					
712	133	152	SH800	3区	朱面	土師器	甕		■(24.4)					
713	133	152	SH800	3区		土師器	甕(口縫部)	(18.8)	(7.6)					
714	133	152	SH800	3区		土師器	甕(口縫部)	(19.1)	(4.6)					
715	133	152	SH800	4区	一段下付	土師器	甕	(18.7)	(5.9)					
716	134	152	SH800	3区		土師器	甕	(17.45)	■(18.2)					
717	134	152	SH800	4区	二段下付	土師器	甕(口縫部)	(15.45)	(4.5)					
718	134	152	SH800	東西等?	1層	土師器	甕(縫隙)		(4.95)					
719	134	152	SH800	前面削		土師器	瓶		(2.15)					
720	134	152	SH800	朱面		土師器	圓錐旋紋	(20.4)	■(21.0)					
721	134	152	SH800	前面削		土師器	瓶	(24.2)	(8.7)					
722	134	152	SH800	1区	朱面	土師器	高环	(15.7)	(3.95)					
723	134	152	SH800	4区	一段下付	土師器	高环		(6.1)					
724	134	153	SH804	北半		土師器	甕	(14.1)	(7.4)					
725	134	153	SH804	北半		土師器	甕	(17.3)	(7.2)					
726	134	153	SK1066	全體		土師器	甕	(18.2)	(9.3)					
727	134	153	SH804	北半		土師器	瓶	(21.3)	(6.8)					
728	134	153	SH804	北半		土師器	高环(坏部)	(17.3)	(5.2)					
729	134	153	SK1066	全體		土師器	高环(坏部)	(16.8)	(4.7)					
730	134	153	SH804	北半		土師器	高环	(13.4)	11.05	(10.2)				
731	134	153	SH804	南半		土師器	八二子?77番(口縫部)	(4.6)	2.0					
732	134	153	SH804	北半		土製品	土瓶			毛(10.2)	(4.15)	1.45	(0.9)	4.4
733	134	153	SH804	北半		土師器	高环(脚部)		(5.2)					
734	135	153	SH880	1層		灰陶器	高环(坏部)	(13.5)	(5.25)					
735	135	154	SH880	1層		灰陶器	甕	(13.65)	(4.0)					
736	135	154	SH880	側面削北半	2層~底座	灰陶器	甕	(21.4)	(3.4)					
737	135	154	SH880	1層		灰陶器	影合		(5.6)					
738	135	153	SH880	朱面		土師器	高环(坏部)	(16.65)	(4.9)					
739	135	154	SH880	側面削南半	2層~底座	土師器	高环(坏部)	(13.5)	(4.6)					
740	135	154	SH880	1層		土師器	高环(脚部)		(8.2)					
741	135	154	SH880	側面削南半	2層~底座	土師器	高环(脚部)		(6.75)	10.0				
742	135	154	SH880	2層		土師器	高环(坏部)		(2.2)					
743	135	154	SH880	1層		土師器	高环(坏部)		(1.9)					
744	135	154	SH880	侧面削		土師器	高环(坏部)		(1.3)					
745	135	154	SH880	1層		土師器	高环(脚部)		(6.8)					
746	135	154	SH880	2層		土師器	高环(脚部)		(5.2)					
747	135	154	SH880	1層		土師器	高环(坏部)		(2.6)					
748	135	154	SH880	2層		土師器	高环(坏部)		(2.2)					
749	135	154	SH880	1層		土師器	高环(脚部)		(5.2)	10.0				
750	135	154	SH880	1層		土師器	高环(脚部)		(5.5)	10.1				
751	135	154	SH880	2層		土師器	高环(脚部)		(1.6)	(11.0)				
752	135	155	SH890			灰陶器	环身	10.75	4.7	9.5				
753	135	154	SH890	3区	二段下付	灰陶器	甕(口縫部)	(16.3)	(4.1)					
754	135	154	SH890	3-4区周間	1層	土師器	甕	(11.8)	(3.45)					
755	135	155	SH890			土師器	甕		11.4	5.45				
756	135	155	SH890			土師器	甕		(11.2)	4.6				
757	135	154	SH890	3区	側面削一痕下付	前式土器	甕?			(4.8)				
758	136	155	SH890			土師器	甕	(10.0)	(16.25)	丸底 ■16.0				
759	136	155	SH890	3区	-5cm#△	土師器	甕	(12.2)	(14.1)	■(14.45)				
760	136	155	SH890	3区		土師器	甕	(14.7)	17.7	■(17.95)				
761	136	155	SH890	3区		土師器	甕	(17.5)	(11.5)					
762	136	156	SH890			土師器	甕	(21.1)	(10.05)					
763	136	155	SH890			土師器	甕	15.5	(19.2)	■(25.0)				
764	136	155	SH890	3区	朱面	土師器	甕	(23.6)	(10.7)	■(26.6)				
765	136	155	SH890			土師器	高环	13.1	(9.0)					
766	136	156	SH890	1-4区周間	1层	土師器	高环(坏部)		(2.9)					
767	136	156	SH890	1区		土師器	高环(脚部)		(5.95)					
768	136	156	SH890	3区	朱面	土師器	高环(坏部)		(2.7)					
769	136	156	SH890	3区		土師器	高环(坏部)		(1.6)					

第13表 掘藏遺物一覧 土器類(12)

番号	固有	文種	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 形	法 算 (cm)					重 (g)
								口径	器高	底径 ■=板型	長	幅	
770	136	155		SH890		土師器	ミニチュア高杯	2.7	2.6	2.9			
771	137	156		SH890 3区		土師器	瓶	(25.8)	(21.6)	(8.8)	更手合24.8		
772	137	156		SH890 3区		土師器	瓶	(26.7)	(23.85)	(11.6)	更手合23.6		
773	137	156		SP915	全體	土師器	瓶(把手付)						
774	138	157		SK830	2層	灰陶器	甕(口縫部)	(24.9)	(4.2)				
775	138	157		SH895 2区	宋服	土師器	甕(口縫部)	(17.0)	(4.2)				
776	138	157		SH895 2区	宋服	土師器	高杯(外茎)		(2.1)				
777	138	157		SH895 4区		土師器	高杯(内茎)		(2.9)				
778	138	157		SH895		土師器	甕(把手付)				(16.8)	(3.4)	1.4
779	138	157		SH898 3区	側面削~一段下付	土師器	甕(口縫部)	(17.1)	(3.05)				
780	138	157		SH898 2区	宋服	土師器	甕(片口)	(21.6)	(2.8)	■(24.2)			
781	138	157		SH898 3区	側面削~一段下付	土師器	削底土釜	(4.8)	(4.55)	■(5.5)			
782	138	157		SH898 1区	側面削~一段下付	土師器	甕(把手付)						
783	138	157		SP984 (SH1956)		土師器	高杯(外茎)	(20.3)	(6.15)				
784	138	157		SH898 1~2区剥離		土師器	高杯(内茎)	(13.2)	(3.8)				
785	138	157		SP984 (SH1956)		土師器	高杯(外縫)	(15.8)	(3.65)				
786	138	157		SH898 2区	側面削~一段下付	土師器	高杯(内縫)	(15.65)	(5.35)				
787	138	157		SH898 3区	二段下付	土師器	高杯(齊縫)		(2.45)	■(10.55)			
788	138	158		SH897 3区	側面削~一段下付	土師器	甕(口縫部)	(11.4)	(3.9)	■(10.5)			
789	138	158		SP980	一段下付	土師器	甕(口縫部)	(15.8)	(4.9)				
790	138	158		SH897 3区	宋服	土師器	甕(口縫部)	(20.6)	(4.45)				
791	138	158	1~2区剥離	SH897 1~2区剥離		土師器	甕(口縫部)	8.0	(4.35)	7.2			
792	138	158		SP980	全體	土師器	甕(脚部)		(7.25)	(10.0)			
793	138	158		SH897 2区	二段下付~米面	土師器	高杯(脚部)		(7.9)	■(10.4)			
794	138	158		SH897 2区	側面削~一段下付	灰陶器	刮合(口縫部)	(36.6)	(14.0)				
795	139	158		SH897 3区	側面削~一段下付	灰陶器	刮合(口縫部)		(9.7)				
796	139	159		SH1040		灰陶器	甕(多脚)		(12.8)	丸底 ■(17.9)			
797	139	158		SH1043 集	上面剥離	鐵式土釜	甕(多脚)						
798	139	158		SH1043	宋服	土師器	製造土釜		(8.1)	■(5.1)			
799	139	159		SH1040		土師器	甕	(16.4)	(8.2)				
800	139	159		SH1043	地土内	土師器	甕	6.8	5.6	2.95			
801	139	159		SH1043		土師器	甕	(10.8)	10.85	丸底 ■(11.0)			
802	139	159		SH1043	地土内	土師器	甕	26.7	(16.0)				
803	139	158		SH1043 3区	宋服	土師器	甕(口縫部)	(21.1)	(7.3)				
804	139	158		SH1043		土師器	甕(底部)		(7.15)	(5.0)			
805	140	158		SH1088 1区	-5cm~床面	灰陶器	环身		(2.95)				
806	140	158		SH1088	西北部	灰陶器	甕(体部)			(8.15)	(7.35)	0.65	
807	140	158		SH1088 1区	側面削~-5cm	灰陶器	甕(体部)			(9.95)	(6.7)	0.25	
808	140	158		SH1088		土師器	甕	(15.0)	(15.4)	■(22.8)			
809	140	158		SH1088		土師器	甕	(11.7)	4.0				
810	140	158		SH1088		土師器	甕	(14.8)	(1.9)				
811	140	158		SH1088 2区	-5cm~床面	土師器	刮削面		丸底0.5	3.4	3.2	0.65	
812	140	158		SH1088 2区	-5cm~床面	土師器	高杯(内縫)		(2.5)				
813	140	158		SH1088 2区	側面削~-5cm	土師器	高杯(内縫)		(2.1)				
814	140	158		SH1088 2区	側面削~-5cm	土師器	高杯(脚部)		(4.35)				
815	140	158		SP1112 (SH1088)	一段下付	土師器	高杯(脚部)		(4.4)				
816	140	158		SH1088 3区	-5cm~床面	土師器	板(口縫部)	(29.1)	(5.3)				
817	140	160		SP105 (SH1105内)	一段下付	土師器	高杯(内縫)	(15.6)	(4.3)				
818	140	160		SH1105 1区		土師器	高杯(内縫)	(25.2)	(6.35)				
819	140	160		SP909 (SH1105)		土師器	高杯(脚部)		(6.3)				
820	140	160		SH1105 3区		土師器	高杯(脚部)		(7.3)				
821	140	160		SH1105 4区		土師器	高杯(脚部)		(7.05)				
822	140	160		SH1105 4区		土師器	高杯(脚部)		(3.0)	(14.0)			
823	140	160		SP509 (SH1105)	手載	土師器	甕(口縫部)	(11.65)	(5.2)				
824	140	160		SP554 (SH1245)	一段下付	土師器	板	(30.4)	(3.9)				
825	140	160		SH1245 2区		土師器	高杯(内縫)		(2.25)				
826	140	160		SP567 (SH1245内)		土師器	高杯(脚部)		(8.85)				
827	140	160		SP951 (SH1245内)		土師器	高杯(内縫)		(2.35)				
828	141	161		SP1296 (SH1247内)		灰陶器	甕	(13.0)	(3.65)				
829	141	161		SH1247 4区		灰陶器	甕	(17.5)	(11.7)	12.0			
830	141	161		SH1247 4区		土師器	甕(底部)		(6.8)				
831	141	161		SH1247 3区	側面削~-5cm	土師器	高杯(口縫部)	(13.8)	(2.3)				
832	141	161		SH1247 4区	側面削~-5cm	土師器	甕(口縫部)	(19.0)	(5.75)				
833	141	161		SH1247 4区		土師器	甕(口縫部)	(17.25)	(4.5)				
834	141	161	1~4区剥離	SH1247 4区		土師器	甕(口縫部)	(17.7)	(5.1)				
835	141	161		SH1247 2区	-5cm~宋服1~2区	土師器	高杯(内縫)	(13.7)	(3.35)				
836	141	161		SP165 (SH1247)		土師器	高杯(脚部)		(6.05)	(10.1)			
837	141	161		SP163 (SH1247内)		土師器	削底土釜	(5.3)	(3.7)				
838	141	162		SH1266 壁面	燒造面	灰陶器	甕	(11.9)	(1.8)				
839	141	162		SP123 (SH1266内)	全體	灰陶器	高杯(脚部)	(3.3)	(10.2)				

第13表 掘載遺物一覧 土器類(13)

番号	固有	文真	地区	出土遺物	層位	種別	器種	法算(cm)					重(g)	
								口径	器高	底径	幅	幅		
840	141	162		SH1298		土師器	瓶	(24.0)	(3.7)					
841	141	161		SK1200 (SH1280)		土師器	高环(环底)	(17.1)	(6.3)					
842	141	161		SK1200 (SH1280)		土師器	高环(环底)	14.05	(5.3)					
843	141	161		SK1200 (SH1280)		土師器	高环	(14.8)	12.4	(9.9)				
844	141	162		SH1298 2区		土師器	高环(环底)	(13.1)	(3.25)	(9.5)				
845	141	162		SH1298 2区		土師器	高环(脚部)		(2.2)	(9.3)				
846	141	162		SH1299 3区		陶器器	高环(脚部)		(4.6)	(9.35)				
847	141	162		SH1299 4区		土師器	瓶(把手)							
848	141	162		SH1299 5区		土師器	高环(脚部)		(1.55)	(10.0)				
849	141	161		SH1302 3区		陶器器	高环壶	12.8	5.6			つまみ筋 3.6		
850	141	162		SH1302 2区		陶器器	高环(脚部)		(5.1)	(9.35)				
851	141	162		SH1302 1区		陶器器	高环(脚部)		(5.2)	(8.0)				
852	142	162		SH1302 3区		陶生器	陶の器	(15.4)	(8.15)	*(15.4)				
853	142	162		SH1302 1区		土師器	瓶(把手)					6.25		
854	142	162		SH1302 1区		土師器	高环(脚部)		(6.55)					
855	142	162		SH1302 1区		土師器	瓶		(26.0)	(9.25)				
856	142	163		SH1422 1区	出土物面~5cm	陶器器	环壶	(14.1)	(3.5)					
857	142	162		SH1422 3区	朱面	陶器器	环尊	(12.4)	(5.0)					
858	142	162		SH1422		陶器器	环身	14.5	4.9					
859	142	163		SH1422	朱面	土師器	颈足	(29.0)	*(21.9)			筒形 25.2		
860	142	163		SH1422	朱面	土師器	高环(环底)	(13.8)	(5.0)					
861	142	163		SH1422	朱面	土師器	高环(环底)	(14.6)	(5.0)					
862	142	163		SH1422 2区	出土物面~5cm	陶器器	高环(环底)		(2.35)					
863	142	163		SH1422 (SK272)		土師器	瓶		(14.7)	(8.8)				
864	143	163		SH1423 2区	朱面	陶器器	环壶	(12.35)	4.0					
865	143	164		SP1456 (SH1423)	一段下汚	陶器器	瓶?	(9.95)	(3.5)					
866	143	164		SH1423 3区		陶器器	甕(口縫部)		(2.9)					
867	143	164		SH1423 3区	朱面	陶器器	甕(全体)		(16.5)					
868	143	164		SH1423 4区	出土物面~10cm	土師器	甕	(12.3)	(4.4)					
869	143	163		SH1423		土師器	瓶or瓶	(39.2)	(8.65)					
870	143	163		SH1423		土師器	甕	(18.3)	(7.45)					
871	143	164		SH1423 3区	朱面	土師器	甕	(15.6)	(14.2)	*(21.6)				
872	143	164		SH1423 1~2区	出土埋土	土師器	瓶(把手)					(6.1)		
873	143	164		SH1423 3区	出土物面~5cm	土師器	高环(环底)		(3.1)					
874	143	164		SH1423 3区	朱面	土師器	高环(脚部)		(7.4)	(10.2)				
875	143	164		SH1424 1区	埋土	陶器器	瓶	(9.15)	(14.8)	*(17.4)				
876	143	164	A区	SH1422~1424	上面稍斜	土師器	瓶	(11.0)	(3.4)					
877	143	164	A区	SK2655 (SH2033%)		土師器	甕	9.45	13.3			丸茎 *14.2		
878	143	164	A区	SK2655 (SH2033%)		土師器	高环(环底)	(16.1)	(4.7)					
879	144	165	B区	SH2148		土師器	甕(口縫部)	(22.8)	(4.2)					
880	144	164	B区	SH2148		土師器	甕	(13.3)	(21.85)					
881	144	165	B区	SH2148		土師器	高环(脚部)		(5.85)					
882	144	165	B区	SH2148 3区	朱面	土師器	高环(脚部)		(7.3)					
883	144	165	B区	SH2148 2区		土師器	高环(脚部)		(6.6)					
884	144	165	B区	SH2148 1区		土師器	高环(脚部)		(7.4)					
885	144	165	B区	SH2148		土師器	高环(脚部)		(10.15)					
886	144	165		SP1205 (SB13)	一段下汚	土師器	甕	(11.9)	(3.9)					
887	144	165		SP556 (SB13)		土師器	高环(环底)	(13.7)	(3.8)					
888	144	165		SP556 (SB13)		土師器	高环(脚部)		(2.8)	(10.6)				
889	144	165		SP4944 (SB13)		土師器	瓶(把手)					(11.7)	0.65	
890	144	165		SP1206 (SB13)		土師器	瓶(把手)							
891	144	166		SK021	一段下汚	土師器	甕(脚部)		(6.45)					
892	144	166		SK029		土師器	甕	(17.0)	(14.95)					
893	144	166		SK029		土師器	甕?	(5.5)	3.7					
894	144	166		SK029		土師器	高环(环底) ?	(10.8)	(3.25)					
895	144	166		SK029		土師器	甕	(10.9)	4.55					
896	144	166		SK029		土師器	瓶(把手)							
897	145	166		SK029		土師器	高环(环底)	(14.1)	(3.3)					
898	145	166		SK029		土師器	高环(环底)	(14.8)	(3.45)					
899	145	166		SK029		土師器	高环(环底)	(14.8)	(2.95)					
900	145	166		SK029		土師器	高环(环底)	(15.7)	(3.0)					
901	145	166		SK029		土師器	高环(环底)	(15.4)	(3.3)					
902	145	166		SK029		土師器	高环(环底)	(14.5)	(3.15)					
903	145	166		SK029		土師器	高环(环底)		(1.95)					
904	145	166		SK029		土師器	高环(脚部)		(6.3)	(9.8)				
905	145	166		SK029		土師器	高环(脚部)		(7.2)					
906	145	166		SK029		土師器	高环(脚部)		(5.85)					
907	145	166		SK029		土師器	高环(脚部)		(5.3)					
908	145	166		SK029		土師器	高环(脚部)		(7.0)	(10.2)				
909	145	166		SK029		土師器	高环(脚部)		(1.9)	(14.0)				

第13表 掘藏遺物一覧 土器類(14)

番号	固有	文真	地区	出土遺物	層位	種別	器種	法算(cm)					重(g)	
								口径	器高	底径 ■=腹径	長	幅	厚	
910	145	166		SK029		土師器	高环(脚部)	(1.7)	(11.4)					
911	145	166		SK029		土師器	高环(脚部)	(3.2)	(10.0)					
912	145	167		SK064		灰陶器	甕	(11.5)						
913	145	167		SK064 西半		灰陶器	釜台	(5.15)						
914	145	167		SK064		土師器	瓶(把手部)							
915	145	167		SK064 東半		土師器	甕(口縫部)	(15.8)	(2.75)					
916	145	167		SK064		土師器	甕(口縫部)	(15.8)	(4.15)					
917	145	167		SK064		土師器	甕(口縫部)	(13.65)	(7.95)					
918	145	167		SK064		土師器	高环(脚部)	(15.4)	(10.4)	(11.1)				
919	145	167		SK064		土師器	高环	(15.0)	(9.8)	10.7				
920	145	167		SK064		土師器	高环		(7.6)					
921	145	167		SK064		土師器	高环(脚部)		(5.7)					
922	145	167		SK064		土師器	高环(脚部)		(5.1)	(9.25)				
923	145	167	横河原～5cm 昭和砂	SK064 西半		土師器	高环(脚部)		(1.95)	(10.4)				
924	145	167		SK064		土師器	高环(脚部)		(4.55)	(9.7)				
925	146	168	南半	昭和砂		土師器	高环(坏部)		(2.1)					
926	146	168		SK063		土師器	高环(坏部)	(14.6)	(5.4)					
927	146	168		SK063		土師器	高环(脚部)		(2.55)	(9.8)				
928	146	168		SK085 東半		土師器	高环(坏部)	(13.3)	(4.85)					
929	146	168		SK090		灰陶器	把手付大甕	(6.2)	6.0	(5.6)				
930	146	169		SK090		土師器	甕(口縫部)	(21.2)	(6.2)					
931	146	169		SK090		土師器	高环(坏部)	(13.5)	(5.1)					
932	146	168		SK090		土師器	高环(坏部)	(14.1)	(5.6)					
933	146	168		SK090		土師器	高环	(13.0)	10.85	(9.9)				
934	146	168		SK090		土師器	高环(脚部)		(5.8)	(10.7)				
935	146	168		SK090		土師器	高环(脚部)		(5.4)	10.05				
936	146	169		SK090		土師器	高环(脚部)		(2.2)	(10.4)				
937	146	169	4区	一段下付		土師器	高环(坏部)		(2.1)					
938	146	169		SK090		土師器	高环(坏部)	(19.8)	(6.1)					
939	146	168		SK090		土師器	高环(脚部)		(9.15)	(13.85)				
940	146	169		SK106 北半		土師器	高环(坏部)	(21.1)	(6.6)					
941	146	169		SK120		灰陶器	甕	10.4	9.75	8.75				
942	146	169		SK120		灰陶器	高环(脚部)		(6.5)	9.7				
943	146	169		SK120 上半		灰陶器	甕(体部)		(11.2)					
944	146	169		SK120		土師器	甕	(17.7)	(7.8)	■(19.2)				
945	147	170		SK128 一段下付		土師器	高环(脚部)		(4.6)					
946	147	170	A区	SK128 上部		土師器	高环(脚部)		(2.05)	(11.2)				
947	147	170		SK128 西半		土師器	高环	(9.6)	9.25	(8.8)				
948	147	170		SK128 西半		土師器	高环	12.6	(8.1)					
949	147	170		SK128 東半		灰陶器	环?(脚部)		(2.0)	(10.65)				
950	147	170		SK1509		土師器	高环(脚部)		(8.1)					
951	147	170		SK200 北半		灰陶器	环身		(10.7)	5.3	13.3			
952	147	170	AIR	SK200 北半		土師器	甕		(10.3)	(4.5)				
953	147	170	AIR	SK200 北半		土師器	小型丸足甕		(7.3)	■(9.2)				
954	147	170	AIR	SK200 北半		土師器	甕(口縫部)	(14.8)	(3.1)					
955	147	170	AIR	SK200 北半		土師器	瓶(肥手部)							
956	147	170	AIR	SK200		土師器	高环(坏部)	(18.9)	(5.3)					
957	147	170	AIR	SK200 北半		土師器	高环(脚部)		(6.8)					
958	147	170	AIR	SK200 南半		土師器	高环(脚部)		(6.5)					
959	147	170	AIR	SK200 北半		土師器	高环(脚部)		(5.1)					
960	147	170	AIR	SK200 北半		土師器	高环(脚部)		(7.6)					
961	147	171	AIR	SK205 (SH2033)		土師器	甕(体部)		(5.8)	■(15.0)				
962	147	171	AIR	SK205 (SH2033)		土師器	高环(坏部)	16.6	(5.6)					
963	147	170	BK	SK249 南半		土師器	高环(脚部)		(4.05)					
964	147	171		SP220 全體		土師器	有孔土製品		孔徑0.5	2.65	3.1	0.5		
965	147	170		SP425 一段下付		灰陶器	环身		(3.8)					
966	147	171		SP465 一段下付		土製品	有孔土製品		孔徑0.7	3.8	2.1	1.9	11.4	
967	147	171		SP466 全體		土師器	高环(脚部)		(7.1)	10.2				
968	147	170		SP496		土師器	高环(脚部)		(4.3)					
969	147	170		SP895 全體		土師器	高环(脚部)		(4.85)					
970	147	170		SP899		灰陶器	甕		(3.8)					
971	148	171		SP1114 全體		土師器	瓶(肥手部)		(2.3)					
972	148	171		SP126 一段下付		土師器	甕?		(2.3)					
973	148	171		SP411 全體		土製品	土罐		孔徑0.4	4.2	1.6	1.4	9.4	
974	148	171		SP139		土師器	高环(坏部)	14.85	(5.05)					
975	148	171		SP106 全體		土師器	甕(口縫部)	(20.5)	(5.35)					
976	148	171	BK	SP206 安掘		土師器	甕(口縫部)	(14.6)	(4.6)					
977	148	171	BK	SP227 安掘		灰陶器	环身		(2.7)	■(15.0)				
978	148	171	BK	SP228 上層		灰陶器	环身	(14.4)	(3.4)					
979	148	171		SP127 全體		土師器	甕		(10.4)	(8.8)				

第13表 掘藏遺物一覧 土器類（15）

番号	固有	文真	地区	出土遺物	層位	種別	器種	法算(cm)					重(g)	
								口径	器高	底径 mm-底径	長	幅	厚	
980	148	172		SK209		土師器	高杯	(21.35)	18.85	(14.45)				
981	148	172		SK209		土師器	甌		(11.0)	(9.45)				
982	148	172		SK206		灰陶器	环甌		(12.3)	3.3				
983	148	172		SK1148	安掘	灰陶器	甌?		(5.6)	* (15.0)				
984	148	172		SP95	一段下下	土師器	瓶(把手部)							
985	148	172		SP225		灰陶器	甌	(9.8)	(9.65)	* (14.2)				
986	148	172		SP225		土師器	高杯(脚部)		(6.35)	10.7				
987	148	172		SP225		土師器	高杯(脚部)		(5.95)	(9.45)				
988	148	172		SP291	一段下下	灰陶器	甌(口縫部)		(18.85)	(1.45)				
989	148	172		SP291	一段下下	灰陶器	甌(断面)		(3.6)					
990	148	172		SP1307		土師器	瓶		(21.0)	(7.0)				
991	149	172		SP1631(SH124)	上部精査	土師器	甌		(22.0)	(15.9)				
992	149	172	No. 5~6			土師器	甌			(9.4)				
993	149	173	No. 12-13胸西半		3号-复合型 兩輪(鉢形)上部	灰陶器	环甌		(12.2)	3.9				
994	149	173	No. 11~12		西輪溝	灰陶器	环甌		(12.6)	(4.0)				
995	149	173	No. 13~14		3~4号	灰陶器	环身		(9.7)	(4.35)				
996	149	173	西輪10號		灰陶器	环身		(10.5)	5.6					
997	149	173	No. 9~6~10		精査面	灰陶器	高杯堆		(2.7)					つまみ様 3.2
998	149	173	No. 5~6		精査面	灰陶器	高杯堆		(13.0)	5.6				
999	149	173	No. 15~ 斷点		此七-合金型	灰陶器	甌		(7.9)	(6.65)	* (10.4)			
1000	149	173	No. 9~6~10		精査面	灰陶器	高杯(脚部)		(5.7)	(9.45)				
1001	149	173	No. 13~14胸		台金型	精式土系 (堅密な色)	盤(体部)			(3.1)				
1002	149	173	No. 13~14		3~4号	生土	甌		(22.4)	(20.9)				
1003	149	173	No. 10~11		盆形I-3~4号	土師器	高杯(环部)		(24.3)	(8.4)				
1004	149	173	No. 10~11		盆形I-3~4号	土師器	高杯			(11.9)				
1005	149	173	A区 蓋面		燒土	土師質	的麻革			8.09	4.2	2.3	0.45	
1006	149	173	No. 14~15西側		3~4号	土師質	的麻革			8.09	4.8	2.0	0.65	
1007	149	173	No. 9~6~10		3~4号	土師器	高杯(脚部)		(9.2)	(13.4)				
1008	150	174		SP76	粗(SB04)	一段下下	灰陶器	甌		(13.0)	(3.7)			
1009	150	174		SP291(SB06)	全査	灰陶器	甌			(14.0)	(2.5)			
1010	150	174		SP713(SB06)	全査	灰陶器	甌			(14.7)	(3.6)			
1011	150	174		SP292(SB06)	全査	灰陶器	甌			(17.7)	(4.5)			
1012	150	174		SP762(SB04)	一段下下	土師器	甌			(12.7)	(3.45)			
1013	150	174		SP206(SB06)	瓦器	瓦器	甌				(13.75)	(1.75)		
1014	150	174		SP279(SB06)		土師器	小甌			(9.6)	(1.4)			
1015	150	174		SP206(SB06)	全査	土師器	小甌			(8.5)	1.55			
1016	150	174		SP208(SB06)	一段下下	土師器	甌			(1.6)	(6.1)			
1017	150	174		SP281(SB06)		土師器	羽釜			(2.7)				
1018	150	174		SP207(SB06)	一段下下	灰陶器	甌			(17.7)	(2.7)			
1019	150	174		SP247(SB06)	全査	灰陶器	甌(底部)			(2.4)	(6.0)			
1020	150	174		SP292(SB06)	全査	灰陶器	甌(底部)			(0.95)	(6.9)			
1021	150	174		SP207(SB06)	全査	羽釜	甌(底部)			(11.0)				
1022	150	174		SP207(SB06)		土師器	小甌			(8.75)	(1.6)	(8.0)		
1023	150	174		SP207(SB06)	全査	土師器	甌			(35.2)	(4.35)			
1024	150	174		SP207(SB06)	全査	瓦器	甌			(15.7)	(5.4)			
1025	150	174		SP712(SB06)	全査	白磁	甌			(15.8)	(4.7)			
1026	150	174		SP712(SB06)	全査	白磁	甌			(2.0)				
1027	150	174		SP712(SB06)	全査	白磁	甌(底部)			(1.7)				
1028	150	175		SP110(SB06)	半段完無	土師器	甌			(14.9)	(4.0)			
1029	150	175		SP126(SB06)	半段完無	灰陶器	甌			(13.6)	(3.3)			
1030	150	176		SP1606(SB07)		土師器	甌			(13.4)	2.9	(2.45)		
1031	150	175		SP137 粗(SB07)		土師器	甌			(14.65)	(2.8)	(11.4)		
1032	150	175		SP117 粗(SB07)		土師器	甌			(13.75)	(2.2)			
1033	150	175		SP1604(SB07)		瓦器	甌			(14.8)	(1.7)			
1034	150	175		SP123(SB07)	全査	灰陶器	甌			(15.4)	(3.6)			
1035	151	175		SP102 粗陶(S33)	一段下下	瓦器	甌			(15.5)	(4.8)			
1036	151	175		SP1601(SB08)		白磁	甌			(17.0)	(4.3)			
1037	151	175		SP1601(SB08)		土師器	甌			(31.1)	(6.5)			
1038	151	176		SP125(SB08)	全査	土師器	甌			(35.0)	(17.3)			
1039	151	175		SP120(SB09)		灰陶器	甌(口縫部)			(13.3)	(2.45)			
1040	151	175		SP121(SB09)		瓦器	小甌			(8.65)	(1.8)			
1041	151	175		SP121(SB09)		瓦器	甌(底部)			(1.5)	(4.2)			
1042	151	175	B区	SP230 仕組(S24)		灰陶器	甌(底部)			(1.95)	(5.4)			
1043	151	175	B区	SP204 仕組(S24)		灰陶器	甌(底部)			(1.3)	(6.0)			
1044	151	175	B区	SP293 仕組(S24)	上層	土師器	小甌			(7.75)	(0.95)	(6.50)		
1045	151	175	B区	SP2113(SB06)	東風たわり	灰陶器	甌			(13.3)	(4.3)	5.4		
1046	151	175	B区	SP2110 仕組(S26)		灰陶器	甌(口縫部)			(13.0)	(2.45)			
1047	151	175	B区	SP205 亂2 (SB26)		灰陶器	甌(口縫部)			(14.6)	(2.1)			
1048	151	175	B区	SP2144 (SB26)		灰陶器	甌(底部)			(3.2)	(6.75)			
1049	151	175	B区	SP215 亂2 (SB26)		灰陶器	甌(口縫部)			(13.7)	(2.45)			

第13表 掘藏遺物一覽 土器類 (16)

番 号	部 分	文 真	地 区	出土遺物	層 位	種 別	器 種	法 算 (cm)					重 (g)	
								口径	器高	底径 ■ = 頂徑	長	幅	厚	
1050	151	175	B区	SP210 (SB20)	底	吸匙器	筒?	(5.6)						
1051	151	175	B区	SP212 (SB20)	土師器	小皿	(8.6)	1.35	(7.1)					
1052	151	175	B区	SP212 (SB20)	土師器	小皿	(8.7)	1.9	(6.2)					
1053	151	175	B区	SP210 磁鐵 (SB20)	土師器	筒?			(4.4)					
1054	151	176	B区	燒土面 (SB20)	土師器	碗	(31.25)	(6.7)						
1055	151	176	B区	燒土面 (SB20)	土師器	碗	(32.25)	(6.3)						
1056	152	176	B区	燒土面 (SB20)	土師器	羽量	(23.2)	(11.0)						
1057	152	176	B区	SP228 心社 (SB20)	土師器	羽量	(22.6)	(5.6)						
1058	152	177	B区	SP221 住敷 (SA1)	吸匙器	筒	(15.6)	(4.2)						
1059	152	177		SP210 全期	吸匙器	筒 (底部)?	(13.6)	(2.2)						
1060	152	176		SP220 全期	吸匙器	筒	(15.4)	5.3	(6.1)					
1061	152	177		SP225 全期	吸匙器	筒 (底部)?		(1.9)	(4.8)					
1062	152	177		SP226 全期	吸匙器	筒	(15.6)	(3.6)						
1063	152	177		SP225 一段下付	吸匙器	筒	(13.8)	(3.8)						
1064	152	177		SP225 附近	吸匙器	筒 (口縫部)		(2.8)						
1065	152	177		SP942 全期	吸匙器	筒	(15.6)	(2.9)						
1066	152	177		SP256 全期	吸匙器	筒	(15.7)	(3.2)						
1067	152	177		SP109 全期	吸匙器	筒 (口縫部)	(24.15)	(6.5)						
1068	152	176		SP557 全期	吸匙器	筒 (口縫部)	(30.05)	11.65	IL 7					
1069	152	177		SP226 一段下付	吸匙器	筒 (口縫部)	(23.6)	(6.4)						
1070	152	177		SP225 一段下付	吸匙器	筒	(14.4)	(4.1)						
1071	152	177		SP257 全期	器蓋	蓋 (底部)				(11.7)	(12.2)	1.2		
1072	153	178		SP280 一段下付	吸匙器	筒 (口縫部)	(15.6)	(3.45)						
1073	153	178		SP295 球土	吸匙器	筒 (口縫部)	(15.15)	(1.2)						
1074	153	178		SP288 一段下付	吸匙器	筒 (底部)?		(1.7)	(8.0)					
1075	153	178		SP280 桂瓶	白磁	筒	(16.8)	(6.25)	(5.4)					
1076	153	178		SP285 球土	吸匙器	筒	(15.1)	(3.7)						
1077	153	178		SP271 一段下付	吸匙器	筒	(14.0)	(5.95)	(6.15)					
1078	153	178		SP280 桂瓶	白磁	筒	(16.0)	(6.0)	(5.6)					
1079	153	178		SP299 全期	瓦器	筒	(15.7)	(3.7)						
1080	153	178		SP371 一段下付	土師器	小皿	(7.8)	(1.1)						
1081	153	178		SP372 一段下付	吸匙器	筒	(19.7)	(4.7)						
1082	153	178		SP934 桂瓶 上部	吸匙器	筒	(14.8)	(4.7)						
1083	153	176		SP961 全期	吸匙器	筒 (口縫部)	(13.8)	4.45	5.6					
1084	153	178		SP1468 全期	吸匙器	筒 (口縫部)	(14.5)	(2.2)						
1085	153	178		SP1501 全期	白磁	筒 (底部)		(2.2)	(6.3)					
1086	153	178		SP1510 全期	吸匙器	筒	(13.5)	(3.8)						
1087	153	179		SP1542 全期	吸匙器	筒	(14.6)	(4.65)						
1088	153	179		SP1542 全期	吸匙器	筒 (底部)			(1.25)	(6.0)				
1089	153	176		SP1542 全期	土師器	小皿	(8.2)	(1.8)	(6.2)					
1090	153	179		SP1542 全期	土師器	裏	(11.3)	1.9						
1091	153	179		SP1542 全期	土師器	裏	(12.0)	2.55	7.15					
1092	153	179		SP1542 全期	土師器	裏	(13.5)	(2.0)						
1093	153	179		SP1542 全期	吸匙器	舌跡		(28.1)	(4.7)					
1094	153	179		SP1542 全期	吸匙器	舌跡		(32.3)	(5.0)					
1095	153	178		SP1542 全期	白磁	筒	(15.2)	(4.4)						
1096	153	179		SP1543 全期	吸匙器	筒	(14.6)	(4.25)						
1097	153	179		SP1579 全期	吸匙器	筒 (底部)?		(3.0)	(6.1)					
1098	153	179		SP1297 全期	吸匙器	筒 (底部)?		(2.4)	(8.2)					
1099	153	179	B区	SP239 粗直	吸匙器	筒 (底部)		(2.6)						
1100	154	179		SK209 球土	吸匙器	筒	(15.6)	4.6	(6.1)					
1101	154	179		SK209 球土	吸匙器	筒	(15.5)	(3.15)						
1102	154	179		SK209 球土	吸匙器	筒	(15.4)	(4.1)						
1103	154	179		SK209 半手 下唇	吸匙器	筒	(15.8)	(3.7)						
1104	154	179		SK209 半手	吸匙器	筒	(15.3)	(3.4)						
1105	154	179		SK209 半手 下唇	吸匙器	筒	(15.5)	(3.2)						
1106	154	179		SK209 半手	吸匙器	筒	(15.1)	(3.6)						
1107	154	179		SK209 下唇	吸匙器	筒	(1.8)	(7.1)						
1108	154	179		SK209 下唇	吸匙器	筒 (底部)		(3.5)	(6.55)					
1109	154	179		SK209 下唇	吸匙器	筒 (底部)		(2.8)	6.4					
1110	154	179		SK209 下唇	吸匙器	筒 (底部)		(1.25)	5.95					
1111	154	179		SK209 球土	吸匙器	筒 (底部)		(1.2)	(7.2)					
1112	154	180		SK209 球土	吸匙器	裏	(21.5)	(7.5)						
1113	154	180		SK209 球土	吸匙器	舌跡	(25.5)	(6.95)						
1114	154	180		SK209 球土	吸匙器	舌跡	(33.6)	(6.4)						
1115	154	180		SK209 球土	吸匙器	舌跡	(38.7)	(3.9)						
1116	154	180		SK209 球土	土師器	裏	(11.8)	(2.35)						
1117	154	180		SK209 球土	土師器	筒 (底部)?		(1.3)	(6.8)					
1118	154	180		SK209 下唇	土師器	小皿	(7.3)	1.7						
1119	154	181		SK209 下唇	土師器	托	(8.0)	3.85	(5.55)					

第13表 掘藏遺物一覧 土器類 (17)

番号	固有	文真	地区	出土遺物	層位	種別	器種	法算 (cm)					重(g)		
								口径	器高	底径 ■ = 頂径	長	幅	厚		
1120	154	180		SK209		土師器	刷	(32.6)	(5.25)						
1121	154	180		SK209		土師器	羽釜	(21.5)	(3.3)						
1122	154	180		SK209		土師器	三足鍋(脚部) ?			(9.7)					
1123	154	180		SK209		土師器	三足鍋(脚部) ?			(8.0)					
1124	155	180		SK209	埋土	瓦器	鉢	(29.8)	(2.65)						
1125	155	180		SK209		瓦質土器	鉢?	(36.4)	(15.05)						
1126	155	181		SK209		瓦器	碗	(15.2)	(5.0)	(3.9)					
1127	155	180		SK209		瓦器	碗	(13.55)	(2.6)						
1128	155	180		SK209		瓦器	碗	(15.7)	(3.5)						
1129	155	180		SK209	埋土	瓦器	碗(口縫部)	(15.7)	(1.85)						
1130	155	180		SK209		瓦器	碗	(14.9)	(3.1)						
1131	155	180		SK209		瓦器	碗	(15.1)	(4.05)						
1132	155	180		SK209		瓦器	碗	(15.8)	(3.6)						
1133	155	181		SK209		瓦器	小皿	8.6	1.9						
1134	155	181		SK209		瓦器	小皿	8.6	1.85	6.15					
1135	155	180		SK209	西半 下層	瓦器	小皿	(8.2)	1.25	(7.4)					
1136	155	181		SK209		瓦器	小皿	8.7	1.7	8.1					
1137	155	181		SK209		白磁	碗	(15.2)	(6.0)	(7.1)					
1138	155	181		SK209	下層	白磁	碗	(16.35)	(6.32)						
1139	155	181		SK209	埋土	白磁	碗	(14.3)	(2.65)						
1140	155	182		SK209		灰陶器	碗			(5.9)	(3.80)	1.7			
1141	155	182		SK205		灰陶器	甕	(29.6)	(9.1)						
1142	155	182		SK205		土師器	碗	(32.3)	(9.8)						
1143	156	182		SK209	埋土	灰陶器	碗(口縫部)	(12.8)	(2.1)						
1144	156	182		SK209	埋土	灰陶器	碗(口縫部)	(15.0)	(2.7)						
1145	156	182		SK201	一段下付	灰陶器	碗(底部)		(1.95)	(5.9)					
1146	156	182		SP296	北半	灰陶器	碗(底部)		(1.05)	(5.4)					
1147	156	182		SP296	埋土	土師器	小皿	(7.9)	(1.2)						
1148	156	182		SP296	埋土	土師器	皿	(10.5)	(1.6)						
1149	156	182		SK209	埋土	青磁	碗	(14.8)	(2.7)						
1150	156	182		SP296	北半	土製品	土盤			孔径(0.3)	(3.4)	0.9	(0.75)	3.5	
1151	156	182		SP251	南北	一段下付-完削	灰陶器	板(口縫部)	(14.0)	(2.25)					
1152	156	182		SP251	下層(第2層)	灰陶器	板(口縫部)	(13.4)	(1.7)						
1153	156	182		SP251	下層(第2層)	灰陶器	板(底部)		(1.6)	(5.4)					
1154	156	182		SK700		灰陶器	板(口縫部)	(14.2)	(1.5)						
1155	156	182		SK830	手取	灰陶器	板(口縫部)	(15.8)	(3.2)						
1156	156	182		SK1570		土師器	小皿	(7.9)	(1.35)						
1157	156	182		SK830		土師器	托	(9.2)	2.45	5.65					
1158	156	182		SK830		瓦器	碗(口縫部)	(15.8)	(2.25)						
1159	156	182		SK830		瓦器	小皿	8.6	1.9						
1160	156	182		SK830		土師器	托		(2.4)	5.6					
1161	156	182		SK830		土師器	小皿(底部)		(1.2)						
1162	156	183		SK837	手取	灰陶器	碗	(15.1)	(5.35)	(5.1)					
1163	156	183		SK837		灰陶器	碗(底部)		(2.5)	(6.2)					
1164	156	183	北区	SK2121	東半	灰陶器	碗(口縫部)	(17.0)	(1.8)						
1165	156	183	北区	SK2130		灰陶器	碗(口縫部)	(30.2)	(3.25)						
1166	156	183	北区	SD41-142	東半	黄灰色色	白磁	碗	(17.1)	(6.05)					
1167	156	183	北区	SK2426		灰陶器	碗	(14.4)	(5.1)						
1168	156	183	北区	SK2426	集石	灰陶器	碗(底部)		(2.7)	(6.1)					
1169	156	183	北区	SD2357	董里	灰陶器	碗(底部)		(1.5)	5.6					
1170	157	184	No. 10-11中央		燒青面	灰陶器	碗	(9.9)	3.8	4.8					
1171	157	184	No. 10-11		泥割削-3-4層	灰陶器	碗	(13.4)	5.05	5.7					
1172	157	183	No. 10-11		3-4層	灰陶器	碗(底部)		(3.0)	6.5					
1173	157	183	No. 10-11		燒青面	灰陶器	玲鉢	(28.5)	(5.6)						
1174	157	184	No. 10-11		泥割削-3-4層	瓦器	小皿	8.6	1.8						
1175	157	183	No. 10-11		泥割削-3-4層	灰陶器	碗	(11.2)	(4.3)						
1176	157	183	北区			土師器	杯	(11.75)	(3.7)	5.95					
1177	157	184	北区			土師器	杯	(11.1)	3.7	5.6					
1178	157	183	北区			土師器	杯	(10.8)	3.5	(6.4)					
1179	157	183	北区			土師器	杯	(10.8)	(2.95)	(6.2)					
1180	157	183	No. 9+~10		3-4層	白磁	碗	(16.8)	(4.3)						
1181	157	184	No. 11-12		3-4層	土師器	羽釜	(25.75)	(22.3)						
1182	157	184	No. 11-12		3-4層	土師器	羽釜	(18.0)	(7.1)						
1183	157	184	No. 11-12		3-4層	土師器	羽釜	18.85	(12.0)		(23.2)				
1184	157	184	No. 11-12		3-4層	瓦	平瓦			(14.5)	(12.3)	3.3			
1185	157	184	No. 11+5~12		下層	黄褐色色	瓦	平瓦			(10.9)	(6.5)	3.4		
1186	157	184	浮真1	北区	東北部	下層	褐褐色色	生土器	甕		(3.2)				

第14表 掘載遺物一覧 金属器

番号	図版	写真	地区	出土遺物	着位	種別	器種	法 葉 (cm)			重 (g)
								長	幅	厚	
M 1	158	185		SH1250 2~3区		鉄製品	不明	(2.5)	3.7	0.6	
M 2	158	185		SH1250 3区		鉄製品	鍔斧	4.85	2.2	0.7	
M 3	158	185		SH1254 2区		鉄製品	不明	(2.5)	(3.3)	0.4	
M 4	158	185		SH1302 家庭		鉄製品	釘 or 鋼葉部	(5.0)	0.75	0.6	
M 5	158	185		SH1423		鉄製品	轍	(5.35)	1.4	0.6	
M 6	158	185		SH880	1層	鉄製品	鐵塊	3.4	1.9	0.8	
M 7	158	185		SH880	2層	鉄製品	刀	(18.7)	2.05	0.35	
M 8	158	185		SP979 (SH974)	一段下1F	鉄製品	鏃	(7.7)	(2.9)	0.3	
M 9	158	185		SK810	埋土	鉄製品	釘	(3.7)	0.75	0.5	
M10	158	185		SK810		鉄製品	釘	(2.3)	0.45	0.4	
M11	158	185		SK810		鉄製品	不明	3.8	2.5	0.75	
M12	158	185	B区	SP2304 (SH24)		鉄製品	楔	(3.6)	1.35	0.7	
M13	158	185		SK014下底		鉄製品	留め金具	5.15	1.85	0.45	
M14	158	185	B区北	SP2450東		鉄製品	麻糸部	(4.4)	0.7	0.6	
M15	158	185		SD1262		鉄製品	角釘	(3.4)	0.7	0.5	
M16	158	185	No.5~6			鉄製品	舟り金具	6.85	余部 (3.0) 鐵帶部 (0.9)	0.9	
M17	158	185		SP772	一段下1F	鉄製品	釘?	(4.6)	1.0	0.75	
M18	158	185		SK209 土器部1内		鉄製品	釘?	(4.8)	0.95	0.95	
M19	158	185				銅製品	鉄 (束永通商)				
M20	158	185		SP857	全集	鉄製品	スラッグ				9.0g

第15表 掘載遺物一覧 石器 (1)

番号	図版	写真	地区	出土遺物	着位	器種	石 材	法 葉 (cm)			重 (g)
								長	幅	厚	
S1	159	186		SH1251		AH	SN	19.4	14.6	2.0	0.7
S2	159	186		SH998 3区	椚出面——一段下1F	AH	SN	20.7	13.8	3.0	0.8
S3	159	186		SD100		AH	SN	(19.7)	12.6	4.0	0.9
S4	159	186		SD100		AH	SN	19.9	15.2	3.9	0.9
S5	159	186	No.10~11	SD100	埋土	AH	SN	(21.9)	17.9	3.2	1.2
S6	159	186	A区	SD100 北半		AH	SN	(21.0)	14.8	3.0	0.8
S7	159	186		SH1247 3区	椚出面～5cm	AH	SN	22.2	13.5	2.2	0.8
S8	159	186		SH1423 1~2区	前埋土	AH	SN	21.8	15.3	3.1	1.1
S9	159	186	No.14~15周		椎骨面	AH	SN	25.1	13.2	3.4	1.0
S10	159	186		SH1250 3~4区	床面下1F内椚出	AH	SN	24.9	11.8	3.9	1.0
S11	159	186	B区	SD100	中層	AH	SN	(25.0)	13.0	3.8	1.2
S12	159	186		SX1089	曲界面	AH	SN	24.0	(15.9)	2.5	1.3
S13	159	186		SK035 南半		AH	SN	22.5	15.5	4.0	1.5
S14	159	186		SP119より西側		AH	SN	(20.3)	14.1	9.2	1.3
S15	159	186	A区	SD100	上面付添	AH	SN	21.6	17.1	4.0	1.7
S16	159	186		SP282	全周	AH	SN	(21.7)	17.5	3.2	1.6
S17	159	186		SP288	全周	AH	SN	23.1	20.2	3.4	1.5
S18	159	186	No.12~13		椎骨面	AH	SN	24.8	17.8	4.0	1.7
S19	159	186		SH1250 4区	~5cm~底面	AH	SN	(27.3)	(21.8)	4.5	2.2
S20	159	186	No.5~6 西側		下層側面	AH	SN	27.2	20.0	3.5	1.8
S21	159	186	B区 北端	SD100		AH	SN	29.0	16.4	3.0	1.1
S22	159	186	A区			AH	SN	30.0	20.8	4.7	2.1
S23	159	186				AH	SN	28.3	21.0	3.5	2.0
S24	159	186	No.11~12	SD100	上面	AH	SN	(26.0)	19.7	3.1	1.8
S25	159	186	No.11~12	SD100	上面	AH	SN	(25.0)	19.3	3.0	1.6
S26	159	186		SH1422 4区	椚出面～5cm	AH	SN	(27.3)	17.5	5.0	2.3
S27	159	186	No.10~11	SD100	埋土	AH	SN	(28.6)	17.1	3.2	1.5
S28	159	186	No.9~9+6中央~西半		椎骨面	AH	SN	32.0	17.4	4.9	2.2
S29	159	186	A区	SD100 南半		AH	SN	(30.1)	20.1	4.3	2.7
S30	159	186	B区	SD100 南端	中・上層	AH	SN	31.1	19.9	3.1	2.0
S31	159	186	No.5~6 西側		下層側面	AH	SN	34.0	22.2	4.0	3.0
S32	159	186		SH1251	埋土	AH	SN	35.5	16.2	4.0	2.0
S33	159	186		SX1089	東3層 2~1	AH	SN	(22.4)	21.5	4.0	2.4
S34	159	186		SH319 4区	椚出面～5cm	AH	SN	(19.0)	17.1	3.5	0.8

第15表 掘載遺物一覧 石器 (2)

番号	図版	写真	地 区	出土遺物	場 位	器 樹	石 材	法 寸 (mm)			重 (g)
								長	幅	厚	
S35	159	186		SK302	8 番(灰基)	AH	SN	(14.0)	14.6	3.0	0.7
S36	159	186		SK437 南端		AH	SN	(16.9)	16.0	3.5	1.1
S37	159	186		SP105	一段下げ	AH	SN	16.1	(13.5)	3.1	0.6
S38	159	186	A区	SD100 南半	下底	AH	SN	20.6	14.0	2.5	0.7
S39	159	186		SH319 2区	二段下げ	AH	SN	(21.0)	20.6	2.3	0.9
S40	159	187	A区	SD400 南半		AH	SN	(16.7)	(15.5)	3.0	0.9
S41	159	187		SH1424 4区	側面面～5cm	AH	SN	18.6	14.4	3.5	0.9
S42	159	187		SP727	一段下げ	AH	SN	17.7	14.2	3.0	0.7
S43	159	187		SH958 2区	側面面～一段下げ	AH	SN	19.2	15.4	3.2	0.8
S44	159	187		SK296 北半		AH	SN	19.8	(15.0)	3.0	0.7
S45	159	187	No. 10-11	画面査		AH	SN	18.4	(14.4)	2.9	0.7
S46	159	187	No. 13-14(南東半)	包含層(珊瑚色鉛)		AH	SN	20.9	16.3	3.8	1.0
S47	159	187	No. 12-13	弓形合精		AH	SN	33.1	16.1	4.4	1.9
S48	159	187	No. 9+4-10	SD100	埋土	AH	SN	34.7	(20.8)	2.8	1.6
S49	159	187	A区 西部		埋土	AH	SN	30.7	(18.5)	3.0	1.7
S50	159	187		埋瓦土		AH	SN	30.5	(19.5)	3.0	1.7
S51	159	187	A区	SD100 南半		AH	SN	25.7	20.5	3.7	1.5
S52	159	187	A区	SD100 南半		AH	SN	(23.5)	20.7	5.1	2.1
S53	159	187		SP1142		AH	SN	21.8	18.3	2.3	0.8
S54	159	187		SP1263	一段下げ	AH	SN	21.6	(16.1)	3.5	0.9
S55	160	187		SK992	一段下げ	AH	SN	(29.2)	22.0	5.0	2.1
S56	160	187		SH319	側面面	AH	SN	(21.5)	14.0	3.2	0.8
S57	160	187	No. 13-14	写真前清掃		AH	SN	19.5	(15.0)	2.5	0.5
S58	160	187		SH905 西畔	2番	AH	SN	18.0	12.4	2.3	0.4
S59	160	187		SK664 西半		AH	SN	17.9	12.4	2.5	0.5
S60	160	187	A区	SD100 南半	下底	AH	SN	(19.8)	10.7	2.7	0.5
S61	160	187	No. 12-13	SD100	上部	AH	SN	23.9	12.8	3.1	1.2
S62	160	187	No. 11-12	SD100	埋土上部	AH	SN	(24.1)	10.5	2.9	0.8
S63	160	187	A区	SD100 南半		AH	SN	25.0	13.2	3.2	0.9
S64	160	187		SH1424 4区	側面面～5cm～底面	AH	SN	27.9	13.8	3.5	1.2
S65	160	187		SX1004 3-4区西畔	1番	AH	SN	(32.0)	12.5	4.0	1.4
S66	160	187	No. 6-7		東側面溝	AH	SN	43.0	18.5	5.2	4.4
S67	160	187	No. 14-15		前面斜	AH	SN	21.0	9.2	2.4	0.6
S68	160	187		SP1514	全側	AH	SN	35.0	13.9	4.5	2.3
S69	160	187	A区	SX221		AH	SN	(21.9)	13.0	3.0	0.8
S70	160	187				AH	SN	(14.5)	9.4	3.0	0.4
S71	160	187		SH1289 4区		AH	SN	(15.4)	13.9	2.0	0.5
S72	160	187		SH1422 南東隅	床面査	AH	SN	(21.0)	19.3	3.0	1.2
S73	160	187		SH319 3区	2番	AH	SN	(20.4)	17.4	6.0	2.0
S74	160	187		SP1385		AH	SN	(18.8)	14.5	3.1	0.8
S75	160	187		SH1250 1-2区	床面下げ西側虎跡	AH	SN	(23.7)	10.5	2.5	0.7
S76	160	188	No. 14-14+5 等		5番(追跡面直上)	AH未	SN	(32.3)	17.8	3.2	2.3
S77	160	188	No. 13-14		5番直上	AH未	SN	29.3	(24.1)	5.5	3.5
S78	160	188		SK996	一段下げ	AH未	SN	42.8	26.9	6.0	7.6
S79	160	188	A区	SD3942	2番	AH	SN	(24.0)	22.2	3.1	1.9
S80	160	188		SH958 2区	二段下げ	AH未	SN	25.3	20.8	2.5	1.4
S81	161	188				AH	SN	(35.4)	(21.8)	4.2	2.7
S82	161	188	A区	SD100 南半		DR	SN	40.4	(12.7)	3.1	1.1
S83	161	188		SX1004	西1番目	DR	SN	42.2	15.3	6.5	2.5
S84	161	188	A区	SD100 南半	下底	DR	SN	34.3	12.2	4.2	2.3
S85	161	188	B区 南端	SD2907 東端	中・下部 鋸櫛	DR	SN	(28.8)	13.9	3.1	1.0
S86	161	188	B区	SD100 中・南	上・中層	DR	SN	(32.3)	22.0	5.5	2.8
S87	161	188	A区	SD100 南半		DR	SN	32.5	20.5	4.5	2.5
S88	161	188	B区 北東	SP2081		DR	SN	50.3	(25.8)	8.2	6.5
S89	161	188	A区	SD100 南半		DR	SN	40.4	26.2	3.3	3.4
S90	161	188				DR	SN	44.4	26.3	4.5	5.6
S91	161	188		SD293 南半		DR	SN	32.5	33.0	7.1	6.1
S92	161	188		SH1424 1区		DR	SN	21.6	19.1	4.2	1.3
S93	161	188	No. 9+4-10		上層	DR	SN	43.0	27.0	7.5	8.8
S94	161	188		SH905 4区	側面面～5cm～底面	DR	SN	41.5	43.6	8.5	13.1
S95	161	189		SH328 3区	-5cm～底面	DR	SN	36.4	9.0	5.6	1.7
S96	161	189		SH1251 1区	埋土	DR	SN	29.5	8.5	3.9	0.8
S97	161	189	No. 5-6		前下げ	DR	SN	(41.2)	10.6	5.9	2.5
S98	161	189	A区	SD100 南半		DR	SN	(27.0)	4	5.8	1.4
S99	161	189		SH326 4区	一段下げ	DR	SN	(32.6)	17.4	4.6	3.0
S100	161	189	No. 7~8		遺物検出	DR	SN	(30.5)	14.8	5.1	2.4
S101	161	189	A区	SD100 南半		DR	SN	(21.2)	22.5	5.0	1.9
S102	161	189	No. 9+6-10		画面査	DR	SN	(28.1)	21.9	4.5	3.0
S103	161	189	No. 11-12	SD400	埋土	DR	SN	(22.5)	29.9	4.5	3.4
S104	161	189	No. 14-14+5 等		5番(追跡面直上)	DR	SN	(25.3)	13.2	3.3	1.3

第15表 掘載遺物一覧 石器 (3)

番号	国版	写真	地 区	出土遺物	場 位	器 標	石 材	法 寸 (mm)			重 (g)	
								長	幅	厚		
S105	161	189	No. 9 + 6 ~ 10		面端査	DR	SN	(23.9)	(12.2)	4.0	1.4	
S106	161	189		SH910	1・4区界 物土	DR	SN	(20.0)	15.9	7.1	2.0	
S107	161	189		SH974	2区	DR	SN	(26.9)	10.2	4.2	1.2	
S108	161	189		SH1422	4区	椎面部～5cm	DR	SN	(18.7)	9.2	2.7	0.6
S109	161	189		SH319	床面精査	DR	SN	(19.0)	9.6	5.0	1.2	
S110	161	189	A区	SK2055	复手	DR	SN	(21.3)	6.9	3.8	0.5	
S111	162	189		SH1251	2区	SS	SN	70.7	29.2	6.8	14.8	
S112	162	189	B区 龍塚	SD100	上・中層	SS	SN	(60.6)	36.9	13.8	41.2	
S113	162	189	B区	SH2148	1区	SS	SN	(27.3)	(32.9)	7.7	9.4	
S114	162	189	B区	SD2092 (効果?)	复手	SS	SN	(39.5)	(30.2)	14.5	21.0	
S115	162	190		SH1422-1424	上面精査	SS未	SN	69.8	32.6	16.9	29.5	
S116	162	190	A区	SD100	南半	石鍬	SN	33.6	(40.3)	8.4	11.1	
S117	162	190		No. 12~13	包含層 (3~4層)	RK	SN	(66.1)	51.2	8.0	31.2	
S118	162	190	B区 南	水田		RK	SN	(79.0)	(40.5)	10.9	38.1	
S119	163	190	B区 龍塚	SD100		RK	SN	(59.3)	45.8	9.8	36.8	
S120	163	190		SK449	檢査	RK	SN	(60.3)	(48.0)	9.7	29.2	
S121	163	190	A区	SD100	南半	RK	SN	(70.0)	(34.6)	8.8	23.9	
S122	163	190	B区	SD100-2506合流	下層・砂礫	RK	SN	65.0	37.9	8.5	28.5	
S123	163	191	A区	SD100	北半	RK	SN	68.0	32.2	9.2	14.7	
S124	163	191	A区	SD100	南半	RK	SN	(50.9)	37.3	9.9	22.4	
S125	163	191	B区 北塚	SD100	上・中層	RK	SN	(59.3)	34.7	9.0	36.3	
S126	163	191	No. 12~13	SD100	上面	RK	SN	68.0	25.5	6.1	11.0	
S127	163	191		SH968	4区	RK	SN	36.5	26.8	7.0	6.9	
S128	164	191	No. 9 + 4~10	SD100		RK	SN	(69.8)	35.8	11.1	33.5	
S129	164	191	No. 15~14		写真前清掃	RK	SN	(57.9)	22.1	6.7	10.5	
S130	164	191	No. 9~10	SD100	理土	RK	SN	(60.5)	25.7	8.5	21.4	
S131	164	191	No. 9~9 + 6		面端査	RK	SN	62.0	39.9	10.0	33.7	
S132	164	191	A区	SD100	南半	RK	SN	(61.2)	33.9	9.0	16.7	
S133	164	191		SH319	3区	一段下下f	RK	SN	41.4	24.0	7.0	7.3
S134	164	191	A区	SD100	北半	RK	SN	36.5	(64.1)	9.8	22.6	
S135	164	191	A区	SD2042	北半	2~3層	RK	SN	35.5	35.5	12.0	18.9
S136	164	192	No. 12~13	SD100	上面	RK	SN	36.0	(48.0)	7.5	15.6	
S137	164	192				RK	SN	(40.9)	34.8	7.0	12.2	
S138	164	192	No. 5~6 西側		下層清掃所	RK	SN	(51.8)	49.5	12.0	34.7	
S139	164	192	A	SD100	北半	RK	SN	26.7	34.0	4.5	5.5	
S140	165	192	No. 11~12	SD100	上面	RK	SN	27.6	27.2	9.0	7.4	
S141	165	192	B区	SD2258	上層	EX	SN	16.9	14.7	6.7	1.7	
S142	165	192		SH319	3区	2層	RK	SN	27.0	13.0	7.0	2.0
S143	165	192	No. 9 + 6~10中央		粗査面	EX	SN	35.0	21.3	6.1	4.9	
S144	165	192		SK029		SC	SN	123.0	42.9	10.5	44.6	
S145	165	192		SH1423	4区	椎面部～10cm	SC	SN	58.0	25.0	5.0	7.6
S146	165	192	No. 5~6 西側		下層清掃所	SC	SN	66.0	33.2	6.0	13.6	
S147	165	192	No. 5~6 西側		下層清掃所	SC	SN	48.2	42.4	10.3	21.7	
S148	165	192		SH1424	1区	SC	SN	46.9	67.6	5.5	23.3	
S149	165	192		SH1424	4区	椎面部～5cm・底面	SC	SN	65.2	37.1	12.0	31.6
S150	165	193				SC	SN	52.6	25.5	7.9	11.1	
S151	165	193		SK003	南半	SC	SN	(46.0)	(28.8)	5.0	8.4	
S152	166	193	No. 12~13	SD100	上面	SC	SN	81.7	58.9	8.0	45.9	
S153	166	193	B区 南塚	SD100-2507-2506合流層	中・下層	SC	SN	82.5	45.3	11.0	37.0	
S154	166	193	No. 9~9 + 6		精査面	SC	SN	(46.1)	(35.8)	8.5	15.2	
S155	166	193		SD420	理土	SC	SN	53.3	50.5	8.0	20.1	
S156	166	193	No. 9 + 4~10	SD100	上層	SC	SN	43.8	38.6	8.0	12.8	
S157	166	193		SH1424	■	SC	SN	43.0	50.3	8.0	19.4	
S158	166	193		SH1424	3区	椎面部～15cm	SC	SN	35.6	19.8	3.5	3.7
S159	166	193	No. 13~14			SC	SN	(23.7)	30.5	5.8	4.4	
S160	166	193	B区	SD2521		SC	SN	41.5	(21.6)	7.6	5.3	
S161	166	193	No. 13~14		3~4層	SC	SN	27.6	26.0	4.7	3.5	
S162	166	193		SK302	7層	SC	SN	27.9	25.0	4.5	3.4	
S163	167	194		SH1250	1~2区	底面下下層・底面	SC	SN	(56.5)	31.0	5.0	8.5
S164	167	194		SK751	南半	一段下下f~完層	SC	SN	49.5	25.7	5.0	8.2
S165	167	194		SK992	細内	SC	SN	48.4	23.0	7.0	6.8	
S166	167	194	B区 南塚	SD1248	7層	灰色小標・細鉈	SC	SN	(41.1)	36.2	7.5	13.9
S167	167	194		SX992	床面精査	SC	SN	32.0	25.6	7.0	5.3	
S168	167	194		SH1247	床面精査	SC	SN	33.9	14.5	5.0	2.9	
S169	167	194	No. 12~13	SD100	上面	SC	SN	34.5	20.9	5.1	3.2	
S170	167	194		SK302	7層	SC	SN	42.9	23.5	4.0	5.9	
S171	167	194		SK751	北半	一段下下f~完層	SC	SN	34.7	24.6	7.0	6.2
S172	167	194	A区	SD100	南半	SC	SN	(34.0)	(28.9)	6.8	6.5	
S173	167	194		SH328	3区	-5cm・表面	SC	SN	34.7	25.7	8.0	5.3
S174	167	194		SH1250	1~2区	床面下下層・底面	SC	SN	(27.6)	25.5	5.0	3.7

第15表 掲載遺物一覧 石器（4）

番号	国版	写真	地 区	出土遺物	場 位	器 様	石 材	法 量 (mm)			重 (g)
								長	幅	厚	
S175	167	194		SH1538 1区		SC	SN	43.2	33.1	11.0	12.3
S176	167	194		SH1910 3区	床面	SC	SN	35.0	24.9	0	2.7
S177	167	194	No. 6~7		精き面	SC	SN	34.0	24.8	8.2	5.2
S178	167	194		SK992	一段下げ	SC	SN	(28.1)	19.3	4.5	2.8
S179	167	194	A区	SD100 南半		SC	SN	(28.6)	18.4	6.2	3.2
S180	167	194				SC	SN	(29.7)	22.3	3.5	2.8
S181	168	194	No. 6~7		精き面	SC	SN	(43.9)	16.8	7.2	6.8
S182	168	194		SH884 西西群	1層	SC	SN	38.0	17.2	5.0	3.2
S183	168	194		SH1422 2区	執面部～5cm	SC	SN	32.5	24.0	3.6	4.4
S184	168	195	No. 9+4~10	SD100	理土	SC	SN	49.9	37.2	5.0	12.3
S185	168	195	No. 11~12	SD100	理土上部	SC	SN	43.7	32.8	7.5	12.7
S186	168	195	B区	SD100 南	中・下層	SC	SN	50.9	(58.4)	9.2	21.2
S187	168	195		SH1422 2区	面精査	SC	SN	44.4	23.0	10.2	7.8
S188	168	195	B区	SD100 南	中・下層	PS	SN	25.7	32.6	6.7	7.8
S189	168	195		SP949		PS	SN	40.3	45.5	9.6	20.7
S190	168	195	No. 6~7		精き面	PS	SN	18.9	18.8	5.0	2.2
S191	168	195		SP280	全側	PS	SN	39.9	24.8	6.1	3.2
S192	168	195	No. 11~12	SD100	理土上部	PS	SN	16.8	26.5	4.0	2.5
S193	168	195	B区 南端	SD2507	下層 沙層	PS	SN	22.2	17.0	5.2	2.1
S194	168	195		SH1217	床面下げ(再検出)	PS	SN	23.4	25.8	6.5	4.6
S195	168	195	No. 12ライン 西西レンチ			PS	SN	27.8	31.0	7.0	6.1
169	195	195	A区	SD100 南半	下底	PS	SN	21.5	21.7	5.5	3.5

第15表 掘藏遺物一覧 石器 (5)

番号	図版	写真	地 区	出土遺物	場 位	器 様	石 材	法 寸 (mm)			重 (g)
								長	幅	厚	
S245	172	198		SH1424 4区	同壁溝	SP	SN	21.0	31.9	6.5	3.2
S246	172	198		SP1364		SP	SN	35.0	32.6	7.1	5.4
S247	172	198	No. 10~11		精舍面	SP	SN	38.6	33.9	7.1	7.5
S248	172	198		SP1271	全觀	SP	SN	35.0	36.2	12.5	12.6
S249	172	198		SP1067	一段下げ	SP	SN	27.7	37.2	9.8	13.2
S250	172	198	B区	SD100	下端	SP	SN	58.6	42.0	15.9	41.0
S251	172	199		SH005 4区	精舍面~5cm	SP	SN	25.1	27.7	6.8	5.2
S252	173	199		SH1068	南北坪	SP	SN	27.8	28.5	4.0	3.2
S253	173	199	No. 10~11	SD100	埋土	SP	SN	25.7	35.8	9.6	14.7
S254	173	199	No. 9~10	SD100	埋土	SP	SN	31.2	37.6	8.0	9.6
S255	173	199	No. 11~12	SD100	埋土	SP	SN	37.2	11.1	8.9	5.0
S256	173	199	No. 9~4~10	SD100	埋土	SP	SN	29.9	20.8	8.0	3.9
S257	173	199	No. 9~4~10	SD100	埋土	SP	SN	45.1	12.9	6.9	4.7
S258	173	199	No. 5		南壁裏西側削面	SP	SN	44.8	22.2	12.0	11.7
S259	173	199		SH965 1区	床面	SP	SN	65.6	19.0	8.5	4.4
S260	173	199	No. 9~10	SD100	埋土	SP	SN	66.2	17.0	11.0	8.5
S261	173	199	No. 9~4~10		SP	SN	53.2	20.8	8.0	7.7	
S262	173	199	A区	SD100 南半		SP	SN	78.2	19.3	10.6	14.3
S263	173	199		SD100北端部	埋土	SP	SN	71.3	31.9	17.2	30.4
S264	174	200		SX768 南	RF	SN	116.7	70.2	14.8	91.8	
S265	174	200	B区 北西隅		RF	SN	52.1	39.2	7.5	16.0	
S266	174	200	No. 9~6~10		追削面直上	RF	SN	71.8	57.1	18.5	67.6
S267	174	200	A区	SD100 南半	RF	SN	43.0	40.7	8.0	15.5	
S268	174	200	No. 4~5		包含層	RF	SN	65.0	47.0	7.4	22.2
S269	174	200		SP369	全觀	RF	SN	60.5	55.7	8.3	27.5
S270	174	200	A区	SD100 南半	下延	RF	SN	31.8	37.3	8.5	10.8
S271	174	200	No. 10~11	SD100	埋土	RF	SN	(54.4)	(42.9)	11.5	23.0
S272	175	201	No. 8~9		面削査	RF	SN	67.0	29.7	15.5	17.9
S273	175	201	No. 8~9		面削査	RF	SN	54.5	21.4	9.0	7.9
S274	175	201		SK1258	RF	SN	37.1	24.9	4.0	4.7	
S275	175	201		SH319 1区	2~床面	RF	SN	39.9	33.2	7.0	9.3
S276	175	201		SH1250 1区	秋赤面~10cm	RF	SN	34.1	41.6	4.5	5.1
S277	175	201	A区	SX2001 北半	RF	SN	32.0	38.0	6.7	8.8	
S278	175	201	No. 10~11	SD100	埋土	UF	SN	28.7	35.2	8.5	8.3
S279	175	201	B区 北端	SD100	上端	RF	SN	32.0	(23.2)	7.0	2.9
S280	175	201		SH319 3区	2等	RF	SN	31.7	20.5	4.5	2.5
S281	175	201	SH1250 3~4区		床面下打丙被出し	RF	SN	(27.0)	(12.5)	3.0	1.0
S282	175	201		SH1422 3区	秋赤面~5cm	UF	SN	69.3	26.6	6.4	9.0
S283	175	201	No. 8~5~9 中央付近		精舍面	UF	SN	66.0	37.9	8.8	16.
S284	175	201		SD100北端部	埋土	UF	SN	42.1	41.7	6.5	13.4
S285	175	201		SP949	UF	SN	40.0	27.0	5.7	5.1	
S286	175	201		SH1424 3区	床面	UF	SN	(38.2)	29.0	6.2	6.5
S287	176	202	No. 9~4~10	SD100	埋土	WF	SN	58.0	26.9	9.5	14.8
S288	176	202	No. 14~15 西部		精舍面	FL	SN	61.0	33.1	6.5	13.2
S289	176	202		SD100 北端部	埋土	FL	SN	(49.0)	19.2	8.0	9.9
S290	176	202		SH1422 2区	秋赤面~5cm	FL	SN	67.5	53.2	7.9	33.5
S291	176	202	B区 南端	SD2458	丁字 灰色小粒~細砂	RF	SN	37.4	32.9	9.0	9.0
S292	176	202	B区	SD100		FL	SN	56.8	43.9	10.8	26.0
S293	176	202		SP1417		FL	SN	58.0	39.2	10.2	21.6
S294	176	202	B区	SD100	上端	FL	SN	(53.2)	(39.0)	8.7	21.0
S295	176	202	No. 14~15 西部		精舍面	FL	SN	39.0	40.4	10.3	13.1
S296	176	202	No. 5~6 豊手		精舍面	FL	SN	32.6	25.2	4.8	4.5
S297	176	202		SP1546	全觀	FL	SN	31.7	(31.1)	4.7	4.5
S298	176	203	No. 12~13	SD100	上端	FL	SN	43.9	31.0	7.5	6.0
S299	176	203	A区	SD100 南半		FL	SN	48.1	32.4	5.5	7.9
S300	177	203	B区	SD2092 (周唐?)	束手	EX	XS	54.1	40.0	6.5	12.1
S301	177	203	A区	SD100 北半		FL	SN	53.8	32.9	8.5	13.5
S302	177	203	B区 北	SD100	上端	FL	SN	62.2	31.0	4.2	6.6
S303	177	203		SD100	中端	FL	SN	51.2	52.8	11.2	24.4
S304	177	203		SX1089 3区	床面	FL	SN	46.9	54.5	9.0	22.3
S305	177	203	No. 5~6		面削査	FL	SN	59.8	68.3	12.3	33.4
S306	177	204		SD681		FL	SN	30.9	29.9	6.0	5.2
S307	177	204		SH1250 1区	秋赤面~10cm	FL	SN	29.8	37.9	5.5	5.5
S308	177	204	A区	SD100	上端付着	CR	SN	53.6	54.3	32.4	73.3
S309	178	204	No. 14~14~5 東		5等 (追削面直上)	CR	SN	69.0	48.3	20.5	71.6
S310	178	204		SD681	秋赤面~5cm	CR	SN	36.9	34.8	9.9	17.0
S311	178	204		SH1422 4区		CR	SN	31.2	49.0	17.0	23.8
S312	178	204	No. 9~9~6 中央~西半	SD100 北端部	埋土	DM	SN	57.8	47.3	18.2	65.1
S313	178	204	No. 9~6 夏西水路		精舍面	EX	SL	55.3	43.2	4.0	11.4
S314	178	204		SK014		EX	SL	67.2	31.5	4.0	10.4

第15表 掲載遺物一覧 石器 (6)

番号	図版	写真	地 区	出土遺物	場 位	器 標	石 材	法 寸 (mm)			重 (g)
								長	幅	厚	
S315	—	204	No.5~6 西側		下層清創面	FL	X5	104.7	63.2	5.0	30.2
S316	179	205	2区	SX1089	南北野 前内中位	小玉		5.2	5.4	2.0	0.08
S317	179	206	A	SX2004	昭和色移	勾玉		36.3	21.7	6.1	6.4
S318	179	206	4区	SH005		SB		40.7	41.4	11.1	24.1
S319	179	206		SP1465		SW		84.0	55.5	8.8	66.0
S320	179	206		SP1465		SW		92.5	65.3	13.8	112.1
S321	179	206		SP1465		SW		80.6	72.8	19.0	109.5
S322	180	205	B	SD100	下層	石棒		(93.8)	(32.3)	(19.6)	83.6
S323	180	205	A区	SD100	南半	AX		114.2	60.4	12.8	476.2
S324	180	206		SD100		AX		160.9	83.7	70.2	1340
S325	180	205	南北10分位	SD100		AX		(81.1)	66.9	(42.7)	333.3
S326	181	206	B		下層木柵?	AX未		159.2	96.5	57.5	1375
S327	181	206	No.11~12	SD100	上層	WS		75.1	45.1	35.2	115.2
S328	181	206	No.12~13	SD100	上層	WS		57.9	27.9	51.5	49.7
S329	181	206	B	SD100	上層	WS		(66.7)	(65.1)	(69.0)	175.4
S330	181	206	4区	SH005	検出面~5cm~床面	WS		(99.8)	45.2	29.5	130.8
S331	182	207		SK1296-E		WS		(258.1)	(192.7)	(161.6)	9100
S332	182	207		SH880	床面	WS		252.4	112.0	82.7	2500
S333	183	206	No.9+4~10	SD100		SH		(100.0)	46.0	39.0	250.1
S334	183	206	2区	SH800	東壁部	SH		130.1	80.2	65.0	980.8
S335	183	208		SH1422		SH		174.5	89.6	80.2	1830
S336	183	208		SP1227とSP1231の間		GS		123.8	117.0	78.9	1810
S337	183	208		SH900		GS		116.5	90.4	46.9	1112.5
S338	183	208		SK1258	下層	GS		73.3	57.2	46.9	259.5
S339	184	209	B	SD100	上層	SI		165.3	145.2	62.0	2500
S340	184	209	B地区北東			DS		156.5	129.3	116.9	3980
S341	184	209		SH1423		DS		203.1	161.2	51.9	2400
S342	184	207		SP1465		EX		76.8	67.2	13.9	87.2
S343	185	209		SH1425		DS?		260.5	204.0	114.1	11850
S344	186	209	B	SD100	上・中層	DSorWS		(259.0)	(190.8)	75.0	3970
S345	186	209		SH910		DS		194.6	223.0	90.9	9970

第16表 穴穴建物および付随土坑一覧

弥生時代

建物番号	形式	直径(cm)	周壁厚	地土	主柱穴数	中央土坑	主柱穴(可燃性があるもの含む)	土坑	地土	備考
1070	円	6.5	なし	2	6以上?	3	780-1049-1050-1051-1055-1057	1062-1063-1064-1071	1639-1640	西半調査区所
1538	円	4.3	あり	3	不明	不明	745-774-781-1448-1634-1635		1636-1637-1638	南半破壊
1424	円	7.85	あり	3	6	2	1535-1617-1621-1624-1625-1649	1532-1533	1630-1648-1649	
1246	円	6.65+	なし	なし	?					東半区外 柱穴不明
1250	円	7.9	あり	2	6	2	1314-1328-1409-1430-1433-1436	1383-1427	1660-1661	
1425	円	5.4?	あり			1?	肯定できない	1448d?		
1254	円	7.5				1?	肯定できない	1448d?		
1438-1439	円	—					肯定できない			SH1254と同一か
1251	円	5.6	あり			1?	肯定できない	1494d?	1667d?	
2090	円	6.35	なし				肯定できない			
1252	直径で ない?	?	—	なし	—	—				

建物跡内土坑(中央土坑以外も含む)

建物番号	形式	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	建物番号	形式	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
1070	1062	68.0	60.0	12.5	1250	1383	174.0	64.0	29.0
1070	1063	88.0	75.0	26.0	1250	1427	176.0	30.0	14.0
1070	1064	(130)	50.0	14.0	1425	1449	93.0	68.0	28.0
1070	1071	160.0	115.0	12.0	1251	1448	130.0	112.0	11.0
1424	1532	168.0	32.0	6.0	1251	1494	67.5	65.0	20.0
1424	1533	172.0	104.0	26.0	1251	1667	52.0	40.0	41.0

古墳時代

建物番号	形式	長辺(m)	短辺(m)	周壁厚	壁の有無	壁の位置	主柱穴数	主柱穴間	主柱穴間	方室	主柱穴	土坑	備考
2033	方形	5.5	4.9	有	有	北辺中央	4	2.25	1.65	N18.7' W	2054-2056-2057-2059	2055	
974	方形	5.5	4.55	無	無		4	2.15	2.35	N29.9' E	978-979-980-981		床面に土壌小所
16	方形	4.5	3.65	無	—		2?			N5.3' E	20	26	南側約50%破壊
438	方形	2.4	2.15	無	—		?	—		N12.0' E			
47	方形	7.15	?	無	無		4	3.15	—	N12.4' W	666-667	69	東側75%調査区外
55	方形	4.75	4.4	無	有	南東隅	4	2.15	2.2	N11.9' E	668-669-670-671	672-676-693	SX678N前後土
326	方形	6.55	5.4	無	有	南東隅	4	3.25	3.25	N11.2' E	698-702-704-1555		
958	方形	6.2	?	無	無		4	2.7	—	N8.0' E	983-987		西側1/4調査区 中央沈土
1043	方形	4.5	?	無	有	西辺中央	4	2	2.1	N18.4' E	1560-1561-1562-1563		南東隅に土壌(櫛か)
880	方形	5	?	—	—		4	1.95	—	N9.1' E	1522-1523		西辺寄り床面に土壌
909	方形	6.75	6.3	無	有	西辺中央	4	3.9	3.3	N21.9' E	1582-1583-1584-1585		南東隅に土壌(櫛か)
955	方形	5.3	4.8	無	無		4	2.45	2.3	N18.7' E	234-954-1528-1530		
894	方形	4.4	?	無	—		4	2.8	—	N6.5' E	1064-1065	1066	床面地土3小所
800	方形	5.7	5	無	有	東辺中央	4	2.6	2.4	N3.5' E	1079-1087-1088-1102	1044	移動式櫛か?
1423	方形	3.65	3.4	無	無		4?	1.65	1.8	N12.1' W	1406-1570-1591		西辺寄り床面に土壌
1422	方形	7.25	6.15	無	有	西辺中央	4	3.5	3.35	N2.1' E	1506-1512-1513-1514	400	
319	方形	3.6	?	?	無		4	1.8	—	N11.0' E	1711-+		東半調査区外
1088	方形	4	2.85	無	無		4	1.65	1.5	N14.8' E	1107-1108-1110-1111	1106-1113	北辺中央と南東隅に土坑
1289	方形	5	4.6	無	無		4	1.9	2.1	N10.0' E	511-1374-1375-1374		
1105	方形	5.95	6.35	無	—		4	3.35	2.85	N8.4' E	698-699-1241-309		
1245	方形	4.8	5.15	無	—		4	2.4	2.25	N2.5' W	552-554-558+		南東隅調査区外 東辺に土壌
1247	方形	6.2	—	無	—		4	—	—	N6.8' W	1645		西辺に櫛型・床面に櫛2小所
1466	方形	4.95	3.55	無	無		4	3	2.8	N1.9' W	1403-+ + + +	1492	台形
1289	方形	4.1	3	無	無		2	1.4	—	N6.4' E	1196-1219	1200	北寄りに床面地土SK1197
1302	方形	3.8	4.65	無	無		4	2	1.5	N2.4' W	1332-1336-1440-1445		
2148	方形	3.25	3.15	有	無		4	1.35	0.8	N13.5' E	2431-2432-2433-2151	2419	中央に床面地土

植物内土壤

建物番号	形式	長径(cm)	幅組(cm)	面積(cm)
3033	3065	82.5	45.0	15.0
16	26	(75.0)	70.0	17.0
47	9	50.0	42.5	16.0
55	672	136.0	90.0	42.0
55	676	95.0	52.5	10.0
55	693	140.0	(95.0)	4.0
804	1066	92.8	80.0	30.0

建物番号	形式	長径(cm)	短徑(cm)	深さ(cm)
1088	1106	64.0	48.0	24.0
1088	1113	88.0	60.0	72.0
1466	1192	96.0	56.0	15.0
1268	1290	66.0	40.0	20.0
1302	1444	45.0	30.0	13.0
2148	2619	64.0	60.0	16.0

第17表 据立柱建物一覧

- * 真北 = N0.13° W 磁北 = N7.33° W
- * 方位はSA01を除き建物跡の南北線を基準に測定

第18表 木棺墓一覧

古墳時代木棺墓

番号	墓室長さ(cm)	墓室幅(cm)	木棺長さ(cm)	木棺幅(cm)	深さ(cm)	長軸方位
SX392	240.0	78.0	165.5	46.0	53.0	W10.7 N
SX394	168.0	64.0	120.0	38.0	46.0	W10.4 N
SX1004	197.0	60.0	144.0	48.0	44.0	W20.9 N
SX1101	154.0	58.0	124.0	49.0	35.0	W8.6 N
SX1089	154.0	100.0	112.0	67.5	51.5	W20.0 N

平安時代～鎌倉時代木棺墓

番号	墓室長さ(cm)	墓室幅(cm)	木棺長さ(cm)	木棺幅(cm)	深さ(cm)	長軸方位
SX1291	152.0	70.5	111.0	59.0	37.0	WB.5 S

第19表 掘戻土坑一覧

弥生時代

番号	遺構回数	遺物回数	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
85	14	92	104	93	18
96	16	160	84	44	32
98	16	160	64	48	28
161	16	92	76	62	30
302	15	159,166,167	125	95	58
169			138	78	18
437	14	93,159	268	84	44
696	17	94~96	52	(40)	23
761	17	96	110	(85)	(7)
768	18	96,175	256	68	32
783	18	96	80	56	8
876	18	96	94	(76)	8
935	16	96	117	95	23
967	16	96	140	84	24
1045	18	97	160	100	5
1072	18	97	124	116	7
1090	18	98	124	88	12
1080	23	97,167	152	96	12
1081	19	98	106	52	30
1100	19		146	129	12
1115	5	99	(360)	(265)	5
1135	19		62	(38)	32
677	21	94	165	56	26
1081	19	98	104	56	20
1258	15	99,100,183	85	65	45
1266	15		76	66	34
1288	21		112	76	14
1290	19	99	152	128	10
1344	19	100	268	(212)	26
1492	53	100	130	70	21
1708-1709	20	101~103	110	104	58
1710	28	103	102	74	55
2093	21	104	(228)	(76)	(16)
2126	21		78	56	26
2189	21		106	68	22
2135	21		234	80	14
2333		104	122	88	29
2006	21		70	48	20
2012	21	104	98	74	32
2471	21	104,105	150	132	14
2466	21		110	65	14
2467	21	104	126	120	(52)
2565		105	-	-	-

古墳時代

番号	遺構回数	遺物	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
14	6,61	157,178	52	(36)	21
15	6,61	160,167,176	(144)	116	27
21	6,61	144	96	84	16
26	6,61		(76)	72	26
29	6,62	144,145	188	174	18
445	6,61		76	(50)	15
664	6,62	145,160,169	256	228	20
680	6,63,94		106	84	5
687	6,61	146	118	80	20
744	6,61		64	60	20
820	6,61	138	(92)	70	42
845	6,64	146	88	72	18
990	6,63	146,173	269	245	9
1230	6,63	146	102	73	25
1248	6,64	147	92	82	30
1286	6,63	147,182	77	58	24
1420	6,64		112	82	40
1499	6,64		154	88	6
1509	6,64	147	78	74	22
2459	64	147	146	137	20

平安時代～鎌倉時代

番号	遺構回数	遺物	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
299	7,77	154,155	(326)	181	16
295	7,78	155	285	210	16
296	7,78	155	(225)	208	14
361	7,78	156	60	56	12
751	7,78	156	240	(150)	24
790		156	(192)	(26)	5
810-830	7,79	156,158	290	190	20
832	7	156	(154)	152	16
1570	7,79	156	120	(30)	27
1554	7		43	30	21
2006-2097	7,80		300	210	15
2130	7,79	156	82	58	18
2134	7,78		92	54	16
2242	7,79		92	47	16
2348			96	68	(8)
2407			52	52	27
2426	7,79	156	187	40	32

報告書抄録 (Outline of the Report)				
ふりがな	かじたいせきはつくつちょうさはうこくしょ			
書名	鉢田遺跡発掘調査報告書			
副書名	(主)太子御津線社会資本整備総合交付金事業に伴う発掘調査報告書			
シリーズ名	兵庫県文化財調査報告			
シリーズ番号	第519冊			
編著者名	久保弘幸 別府洋二 西口圭介 多賀茂治 大本朝彌 桜本悠一			
編集機関	公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部			
所在地	兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1 (兵庫県立考古博物館内) TEL 079-437-5561			
発行年月日	2022(令和4)年3月25日			
所収道路名	所在地	コード		北緯
鉢田遺跡	揖保郡太子町糸井はか	市町村	遺跡番号	northern latitude
		28464	450215	east longitude
遺跡調査番号	調査の種別	調査期間		調査原因
2015050 2016003	本発掘調査	2015/5/25～2015/11/27 2016/5/25～2016/9/21		(主)太子御津線社会資本整備総合交付金事業
遺跡の種別	集落遺跡・生産遺跡(水田)	主な遺構		堅穴建物跡・方形周溝墓・木棺墓・土器陪葬墓・ 掘立柱建物跡・土坑・溝・柱穴・旧河道
遺跡の時代	・縄文時代晚期～弥生時代前期 ・弥生時代中期 ・古墳時代中期～後期 ・平安時代後期～鎌倉時代	主な遺物		縄文土器・弥生土器・石器・埴輪器・土師器・陶器・磁器・金属器・木器
要約	<p>今回の調査では、下記の各時代遺構が検出された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 縄文時代晚期～弥生時代前期：水田・旧河道 弥生時代中期：堅穴住居跡・方形周溝遺構・土器陪葬墓・土坑・旧河道 古墳時代中期～後期：堅穴住居跡・木棺墓群・土坑 平安時代後期～鎌倉時代：掘立柱建物跡・土坑・木棺墓 <p>弥生時代中期以降については、土坑・柱穴などの総数は2000基を超え、分布密度はさわめて高かった。遺物量も多く、2年度にわたる調査で、286コインテナ500箱に達した。</p> <p>鉢田遺跡は揖保川の冲積平野の微高地に位置しているが、縄文時代晚期～弥生時代前期においては埋積が進行しておらず、周辺は起伏に富んだ地形であった。当該期の水田は、このような地形の凹地部に造られている。弥生時代中期には埋積が進行して平坦化が進行するものの、調査区南部は相対的に低い状況が続き、調査区を横断して旧河道が残っていた。集落はこの旧河道を挟む東西の微高地に形成された。</p> <p>弥生時代中期の間に河道は埋積し、地形の平坦化が進行した。古墳時代中期には、微高地部の削平を含む開発がおこなわれ、弥生時代以前の古土壤層および遺構の一帯が失われた。平坦化はその後も進行したと推定され、平安時代後期以降はさらに可住域が拡大したと思われる。また奈良時代以降には、鉢田遺跡周辺の広い範囲に、条里型地割が整備された。</p>			